

# 「本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方」に関する

## アンケート調査結果報告

### 1. 調査概要

#### (1)調査目的

本庄市立小・中学校に就学している児童生徒及び、小学校未就学児（新入学児童）の保護者と教員を対象に、学校規模、学級数、通学距離及び時間、適正規模に関して重視すべき事項等の意識を把握し、集計・分析を経て「本庄市立小・中学校適正規模及び適正配置の基本的な考え方」の参考資料とするためアンケート調査を実施しました。

#### (2)調査方法

本庄市立小・中学校に協力を依頼し、小・中学校の児童・生徒保護者及び教員には、学校毎にアンケート用紙の配布・回収を行いました。

小学校未就学児については、郵送による配布・回収を行いました。

なお、いずれの場合も、インターネット接続PC及びスマートフォン等の利用による回答（Web回答）も可能としました。

#### (3)調査期間

- 配布時期：令和4年9月1日から順次配布
- 回答期限：令和4年9月20日
- 回答延長：令和4年9月30日まで

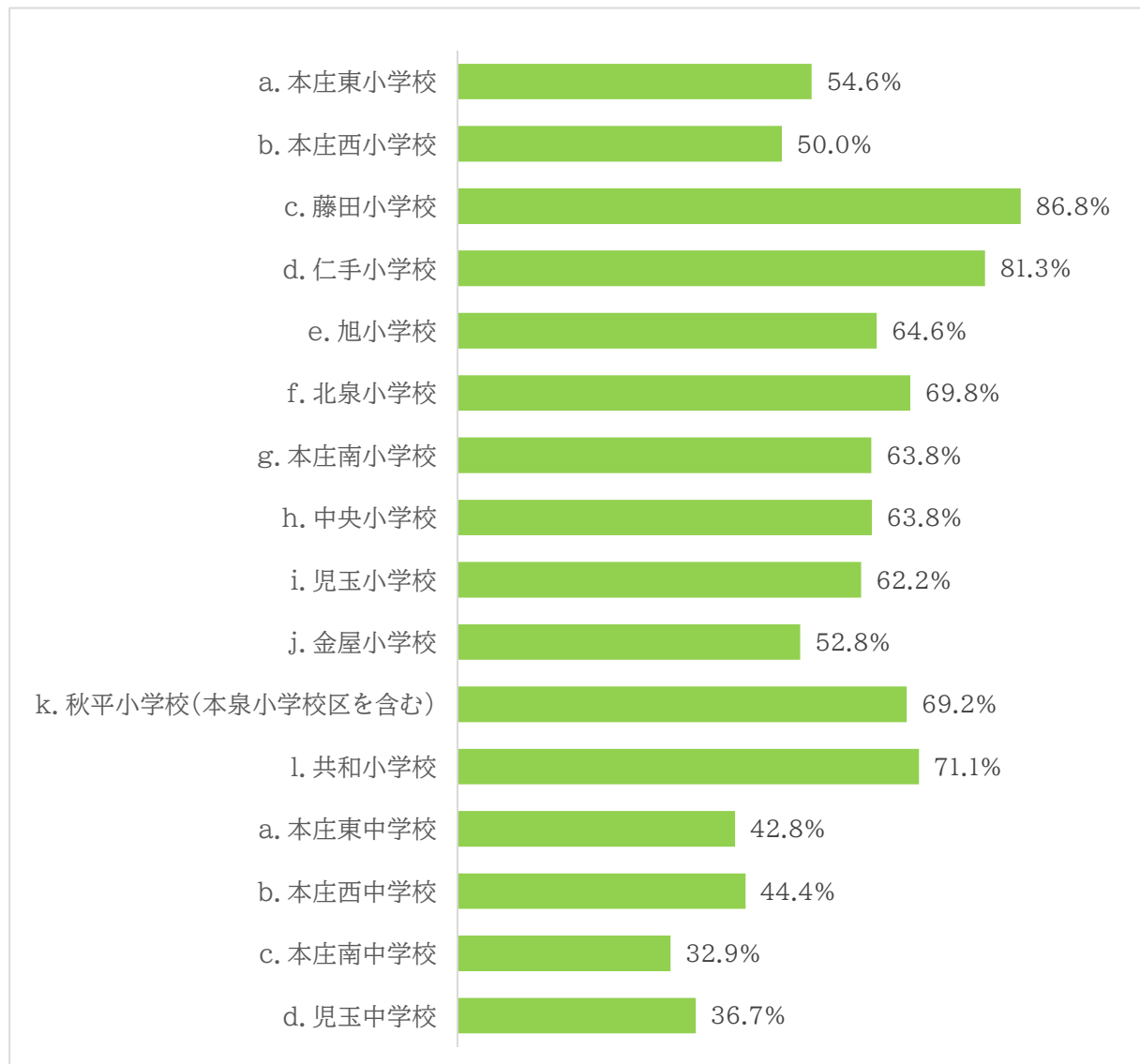
#### (4)配布数及び回答数

	教員データ	保護者データ
配布数	422	5,156
WEB アンケート回答数	241	1,585
紙面回答数	111	1,203
合計	352	2,788
WEB アンケート同士の重複数(同じ識別番号)	2つ同じ番号が1組 4つ同じ番号が1組	2つ同じ番号が4組
WEB アンケートと紙ベースの重複数	2つ同じ番号が1組	6つ同じ番号が1組 2つ同じ番号が7組
有効データ数	347	2,772
回答率	82.2%	53.8%

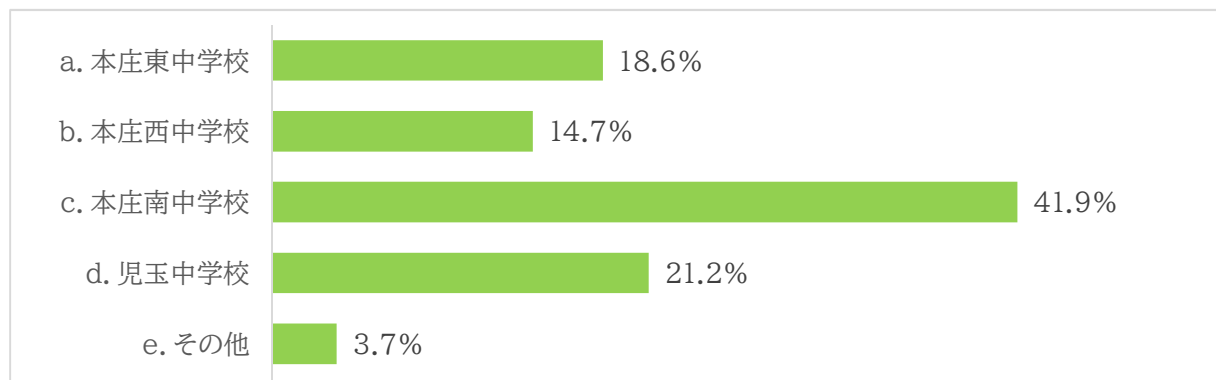
## 2.単純集計

### (1)通学中(または予定)、もしくは、勤務先の学校

【保護者】 ※配布数を分母とした、回答数の割合(学校別回答率)

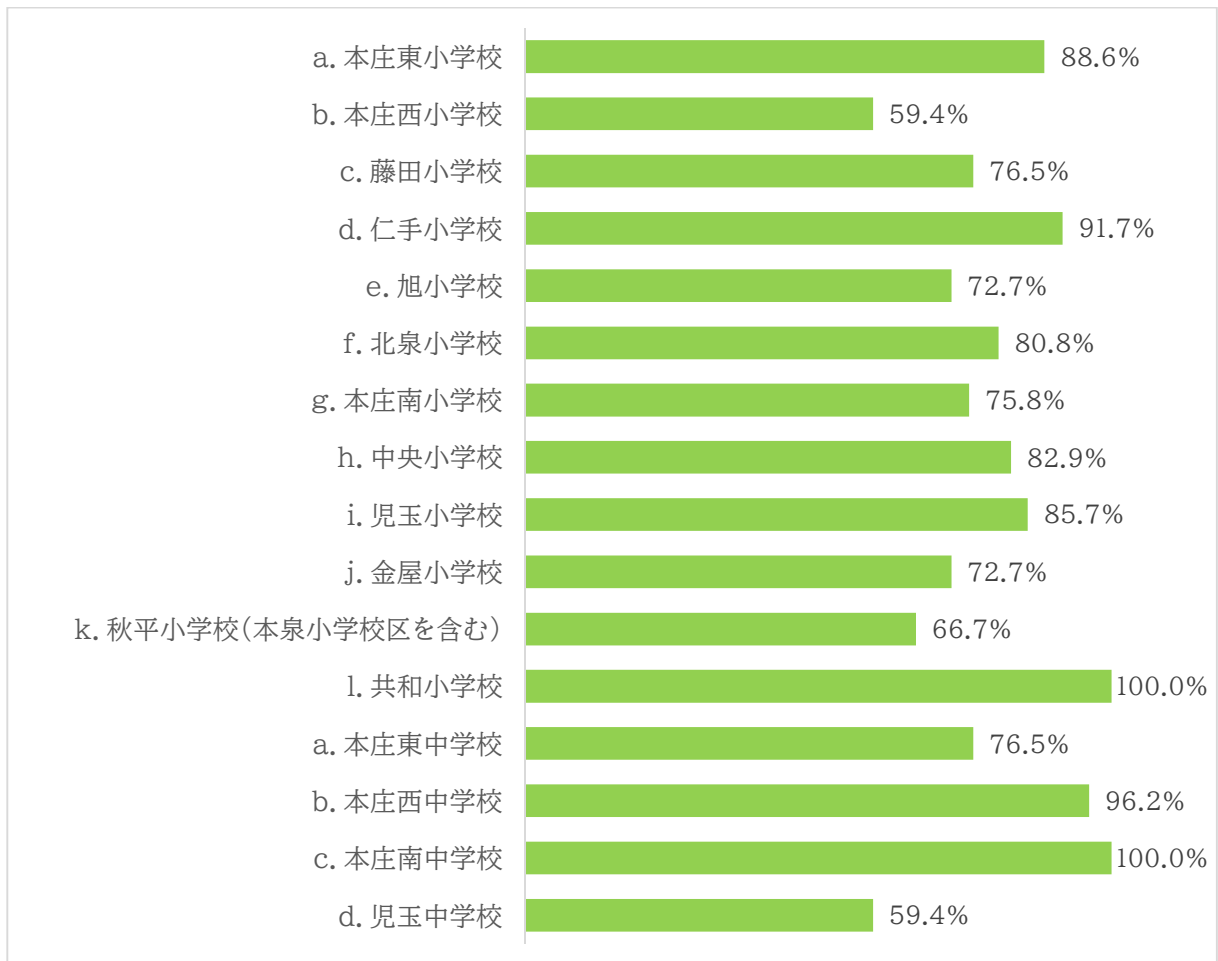


新入学児童及び小学生のお子様の場合は、通う予定の中学校についてもお答えください。



※本調査結果のグラフは、四捨五入の都合上、合計が100%にならない場合があります。

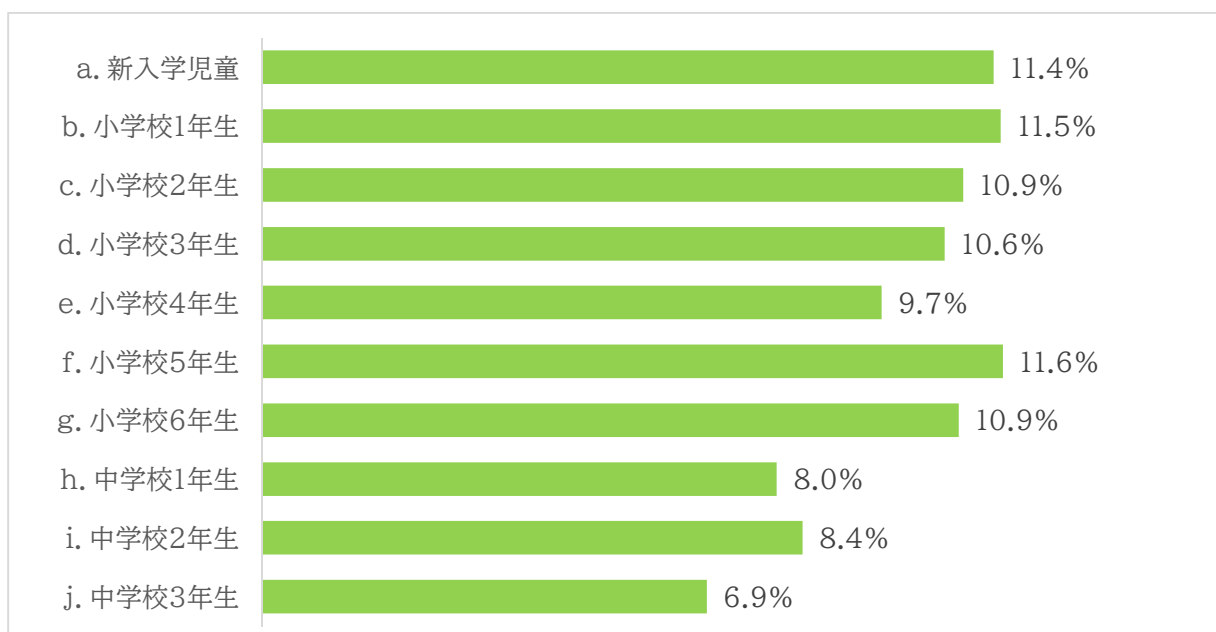
【教員】 ※配布数を分母とした、回答数の割合(学校別回答率)



(2)児童生徒の学年

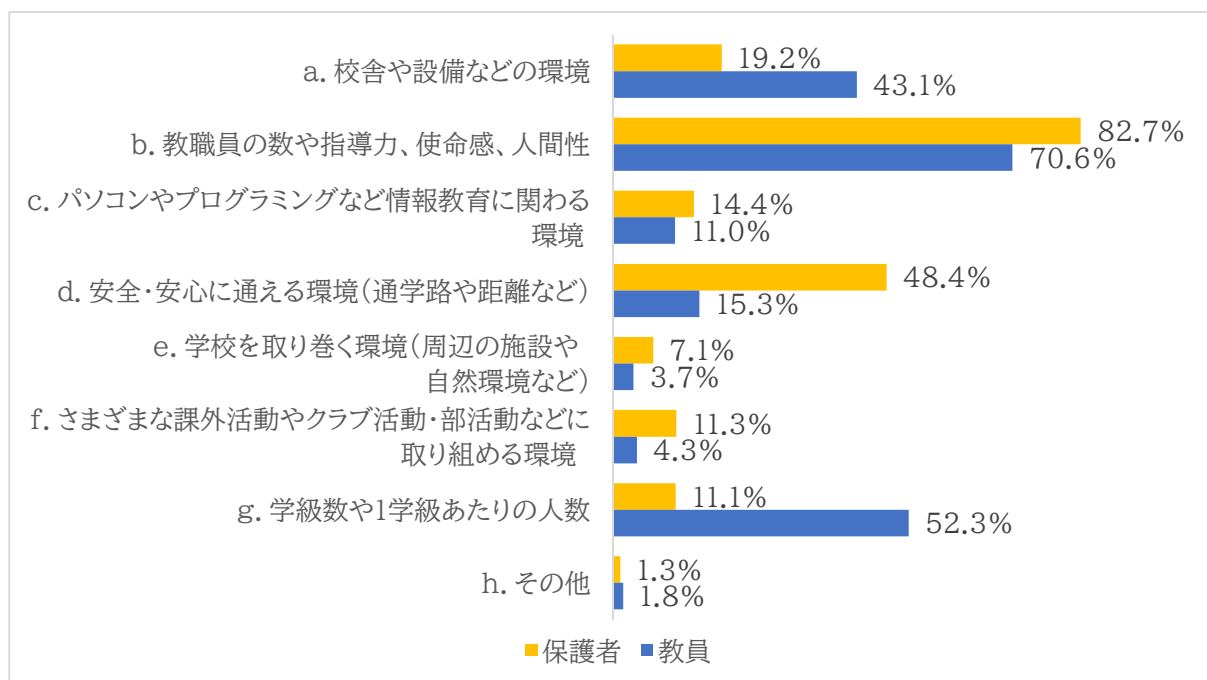
【保護者】

お子様の学年についてお答えください。(1つ選んで○をつけてください。)



### (3)教育環境で重視すべき点

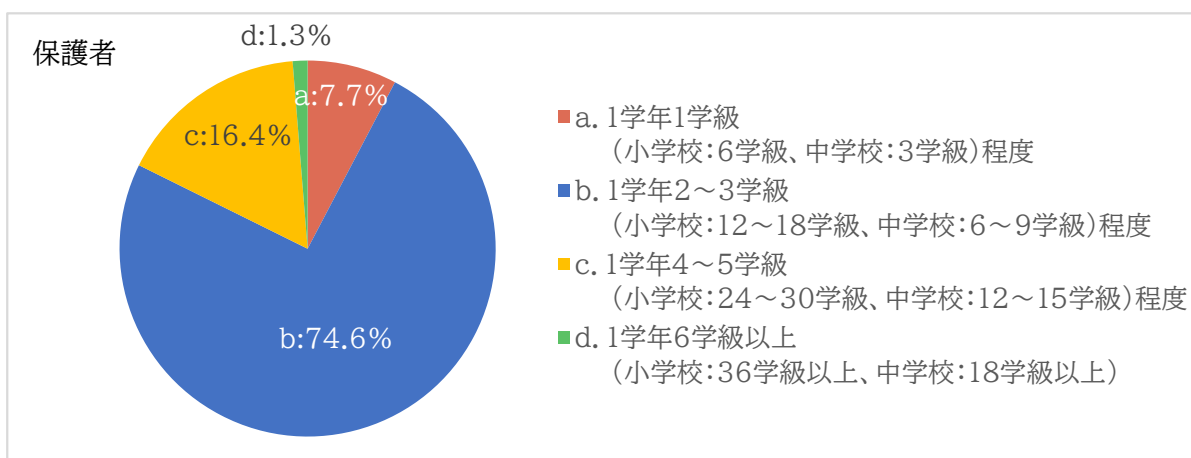
【設問3】 本庄市の子どもたちにとって、教育環境で重視すべき点はどのような点でしょうか。特に重視すべきと思われる点をお答えください。(選択肢の記号から2つまで選んで○をつけてください。)

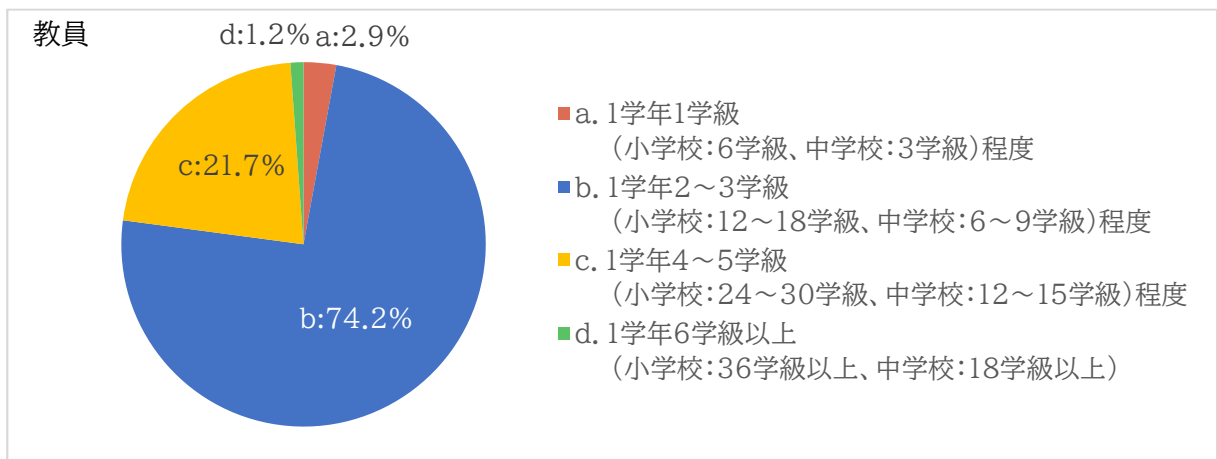


- 教育環境で重視すべき点については、保護者、教員ともに「教職員の数や指導力、使命感、人間性」の回答が最も多く、保護者では8割を超えています。
- 次いで、保護者では「安全・安心に通える環境」、教員では「学級数や1学級あたりの人数」がそれぞれ5割程度となっています。

### (4)望ましい学級数

【設問4】 国(文部科学省)は、望ましい学級数を、小学校では1学年2学級以上、中学校では学校全体で9学級以上としています。本庄市の子どもたちのより良い教育のためには、1学年あたりの学級数はどのくらいが望ましいと思いますか。(あなたのお考えにより近いと思うものを1つ選んで○をつけてください。)

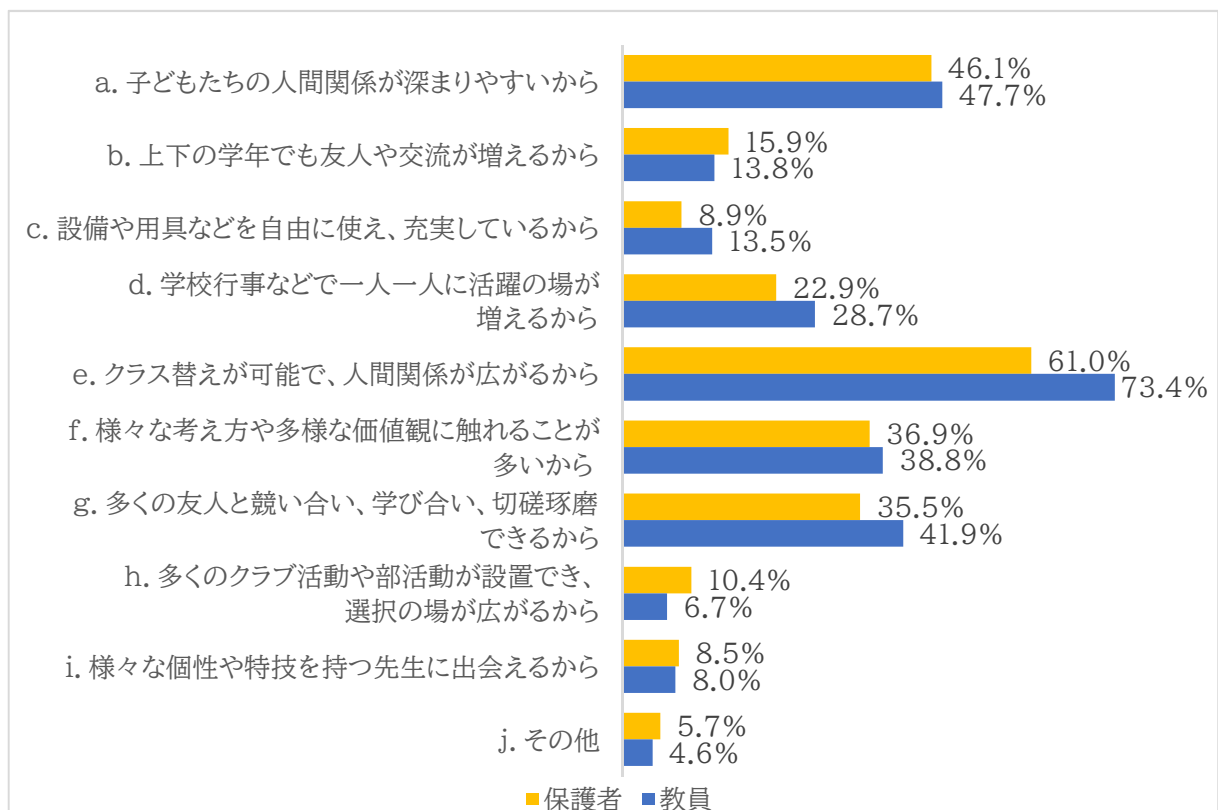




- 望ましい学級数は、保護者、教員共に「1学年2～3学級(小学校:12～18学級、中学校6～9学級)程度」が最も多く、7割を超えており、それ以上の学級数が良いと選択した人を合わせると、9割以上が標準学級は超えていたほうが良いと回答しています。

#### (5)望ましい学級数の選択理由

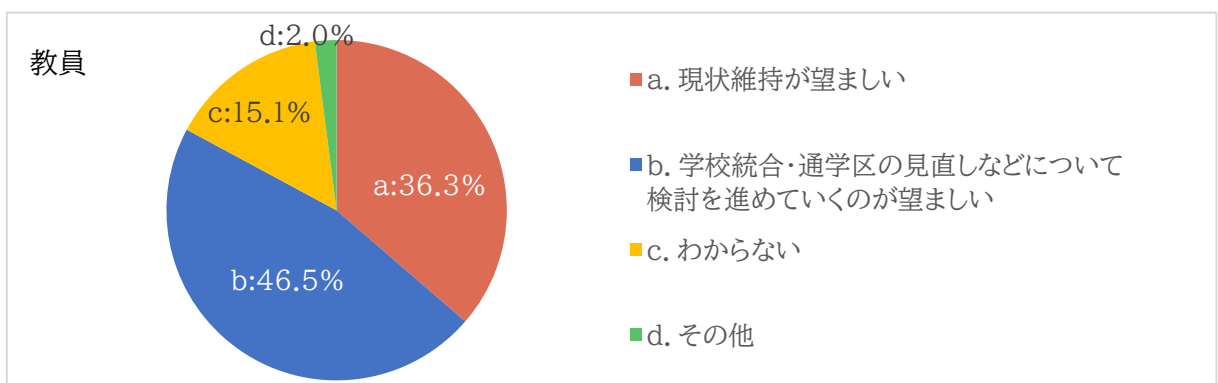
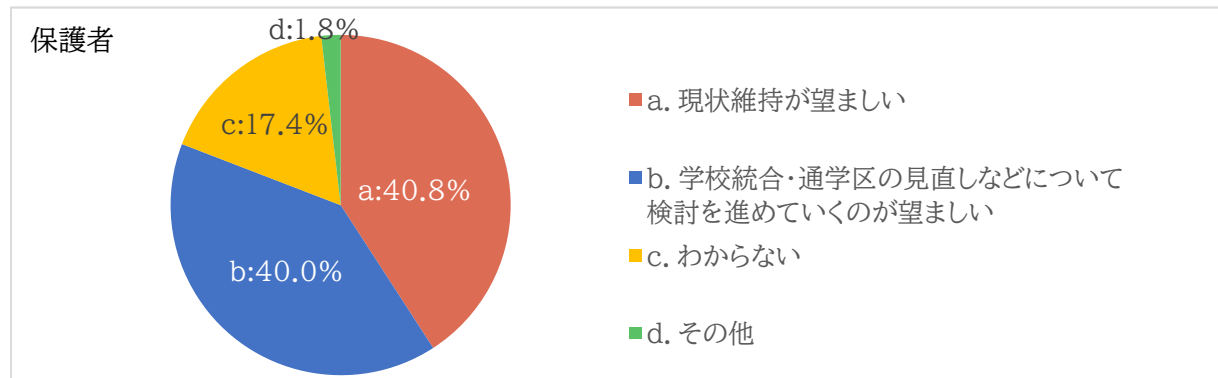
【設問5】 設問4で選んだ理由は何でしょうか。(あなたのお考えにより近いと思うものを3つまで選んで○をつけてください。)



- 望ましい学級数の選択理由は、保護者、教員共に「クラス替えが可能で、人間関係が広がるから」が最も多く、保護者では6割、教員では7割を超えており、次いで、「子どもたちの人間関係が深まりやすいから」の順となっています。

## (6)児童生徒数が減少した場合の教育環境

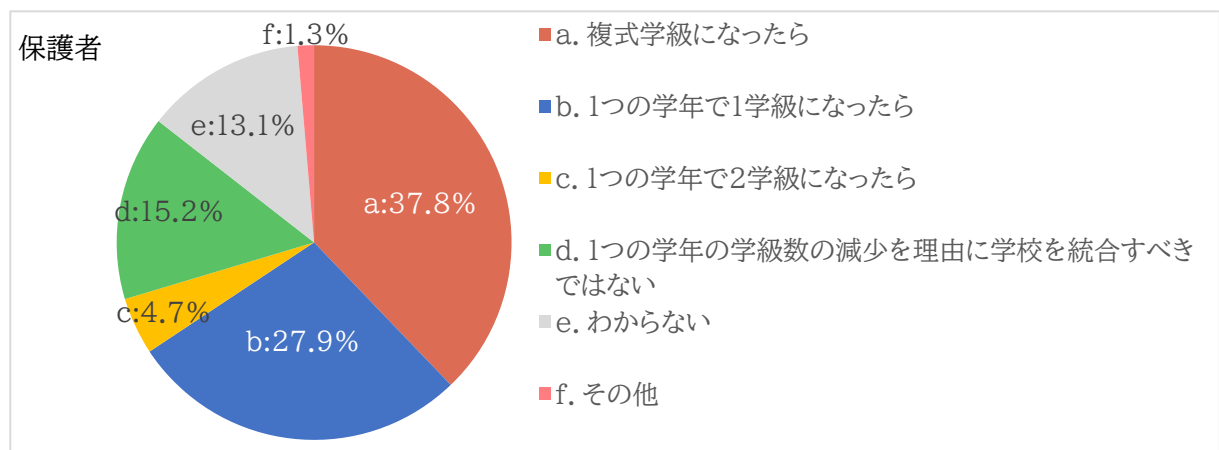
【設問6】 学校の児童生徒数が減少してきた場合、子どもの教育を考慮してどうすることが望ましいと考えますか。(あなたのお考えにより近いと思うものを1つ選んで○をつけてください。)

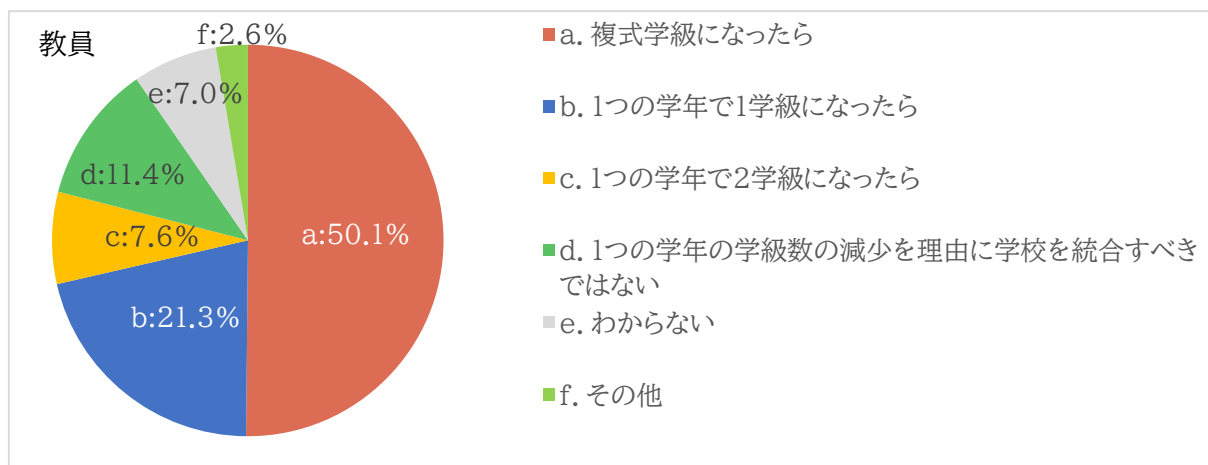


- 児童生徒数が減少した場合の教育環境については、保護者は「現状維持が望ましい」と「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」が共に4割を超えています。
- 教員では、「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」が4割を超えて最も多く、次いで「現状維持が望ましい」が3割となっています。

## (7)学校統合の検討

【設問7】 学校統合などについて検討する場合、1つの学年の学級数(特別支援学級を除く)が何学級になったら検討を進めるのが望ましいと考えますか。(あなたのお考えにより近いと思うものを1つ選んで○をつけてください。)

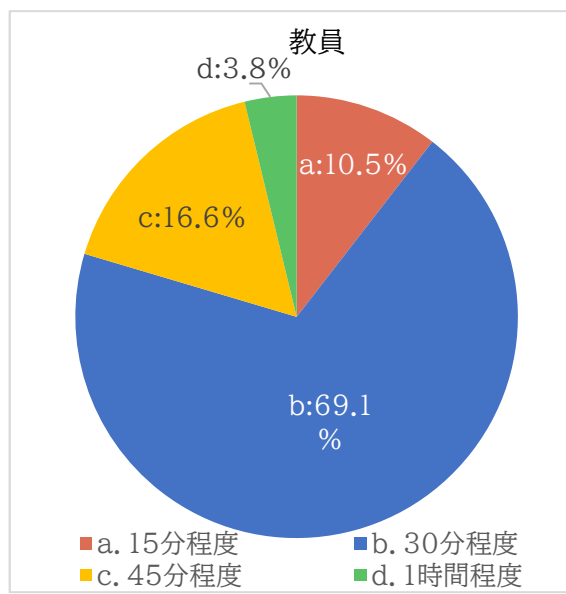
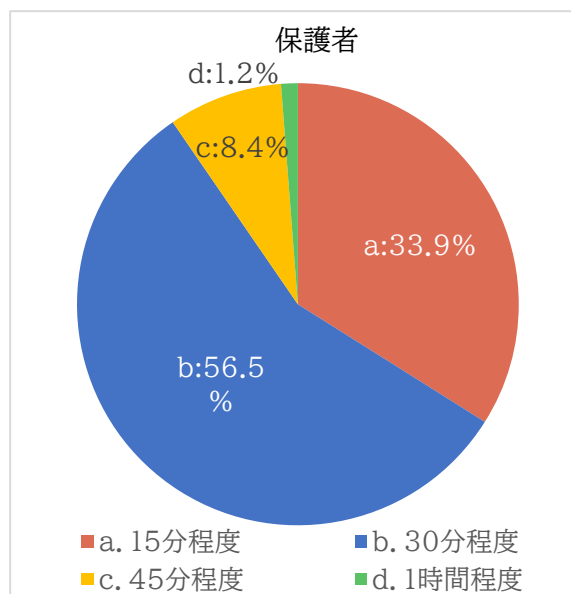




- 学校統合の検討については、保護者・教員共に「複式学級になったら」「1つの学年で1学級になったら」「1つの学年で2学級になったら」の学校統合の検討を行うべきという回答の合計が約7割となっています。また、その中でも「複式学級になったら」が最も多くなっています。

### (8)通学時間

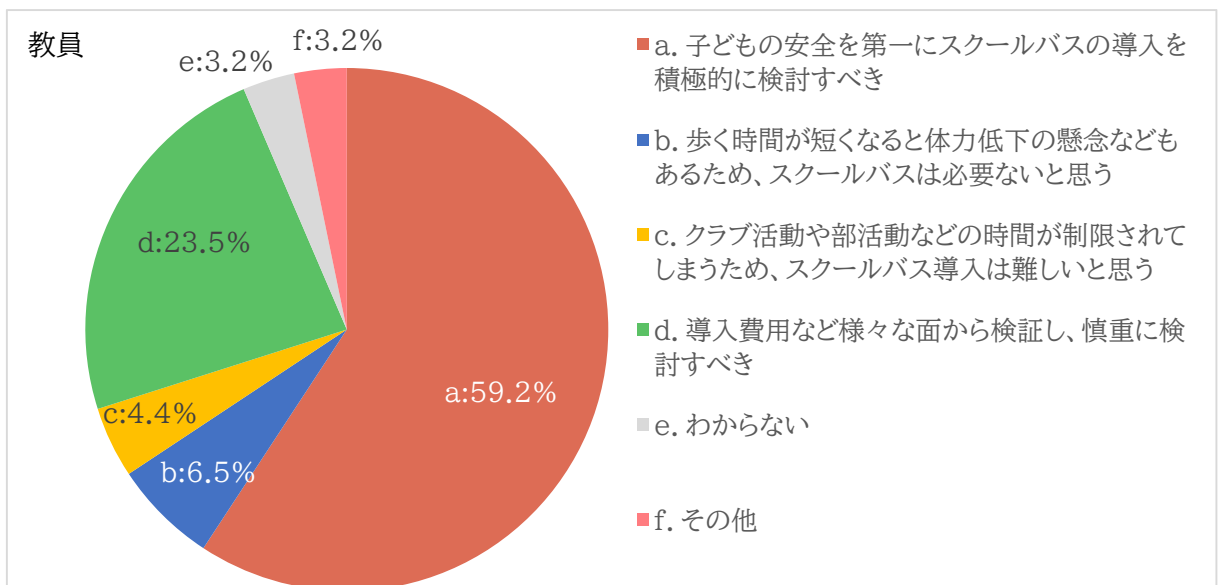
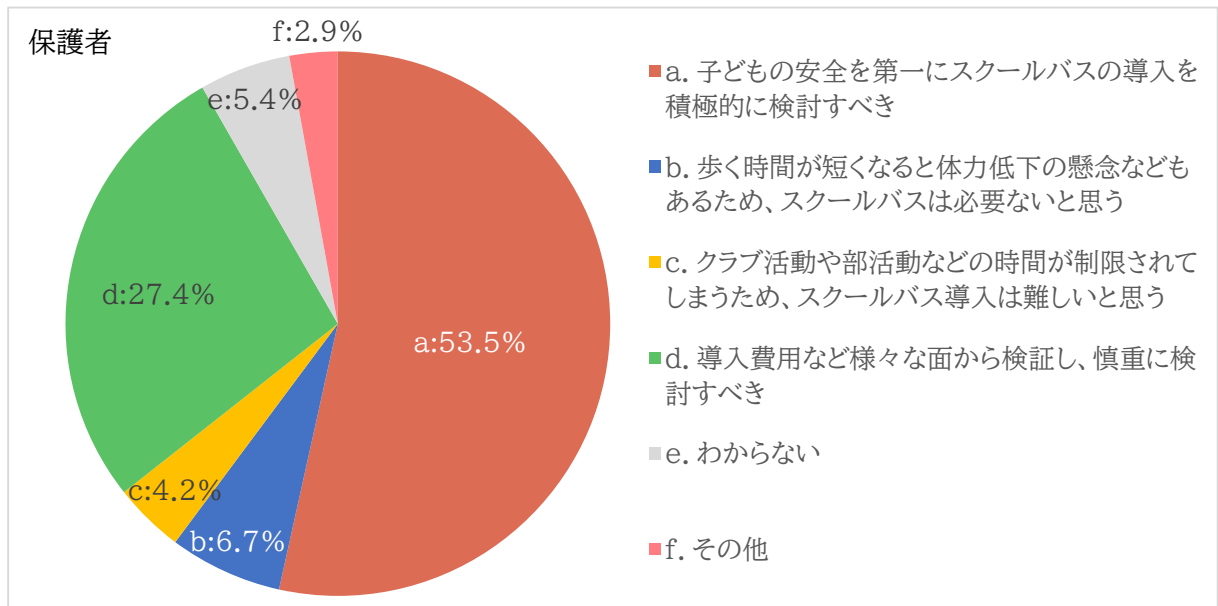
【設問8】 国(文部科学省)は、通学にかかる時間を、小学生は徒歩で中学生は自転車を利用して、おおむね1時間以内としています。子どもたちの学校までの通学に要する時間は、現在の通学方法でどのくらいの時間までが許容範囲だとお考えでしょうか。(あなたのお考えにより近いと思うものを1つ選んで○をつけてください。)



- 許容範囲と考える通学時間については、保護者・教員ともに「30分程度」が最も多くなっていますが、割合をみると、保護者では5割強、教員では6割強と差が出ています。
- なお、保護者では「15分程度」の回答が3割を超えているのに対し、教員では「15分程度」は1割となっており、逆に「45分程度」の回答が2割弱と次いで多くなっています。

### (9) スクールバスの導入

【設問9】 学校統合などを行った場合、通学距離や時間を考慮し、スクールバスの導入についても検討を進めていく必要があると考えています。お子様の通学にあたり、スクールバスの導入についてはどのようにお考えでしょうか。(あなたのお考えにより近いと思うものを1つ選んで○をつけてください。)



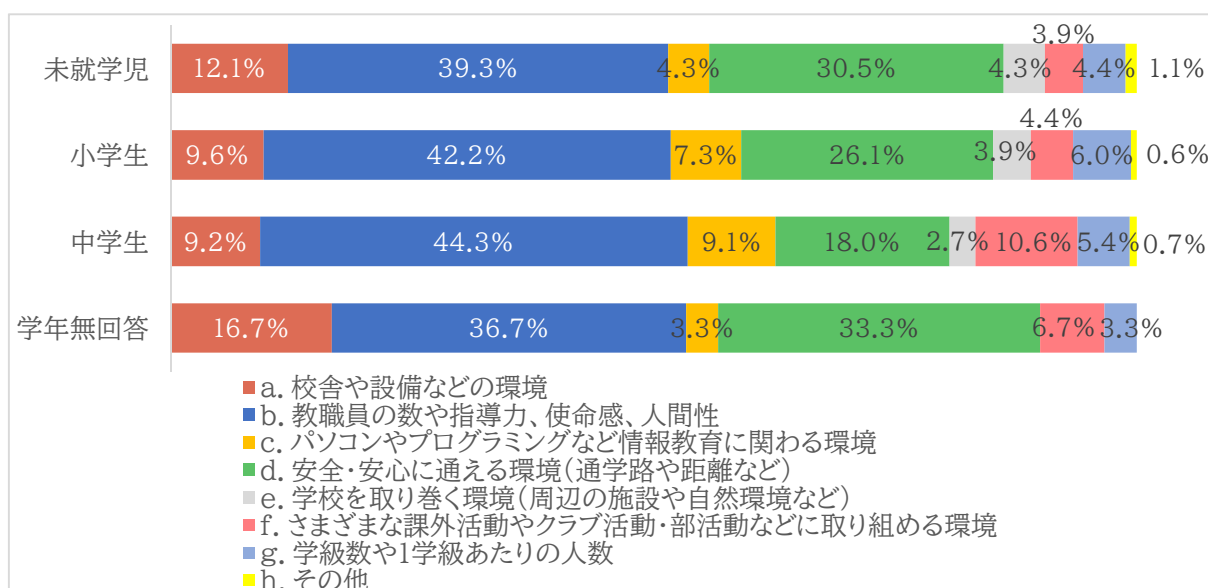
- スクールバス導入については、保護者・教員共に「子どもの安全を第一にスクールバスの導入を積極的に検討すべき」が最も多く、それぞれ5割を超えています。
- なお、保護者・教員共に「導入費用など様々な面から検証し、慎重に検討すべき」が次いで多くなっています。



### 3.クロス集計

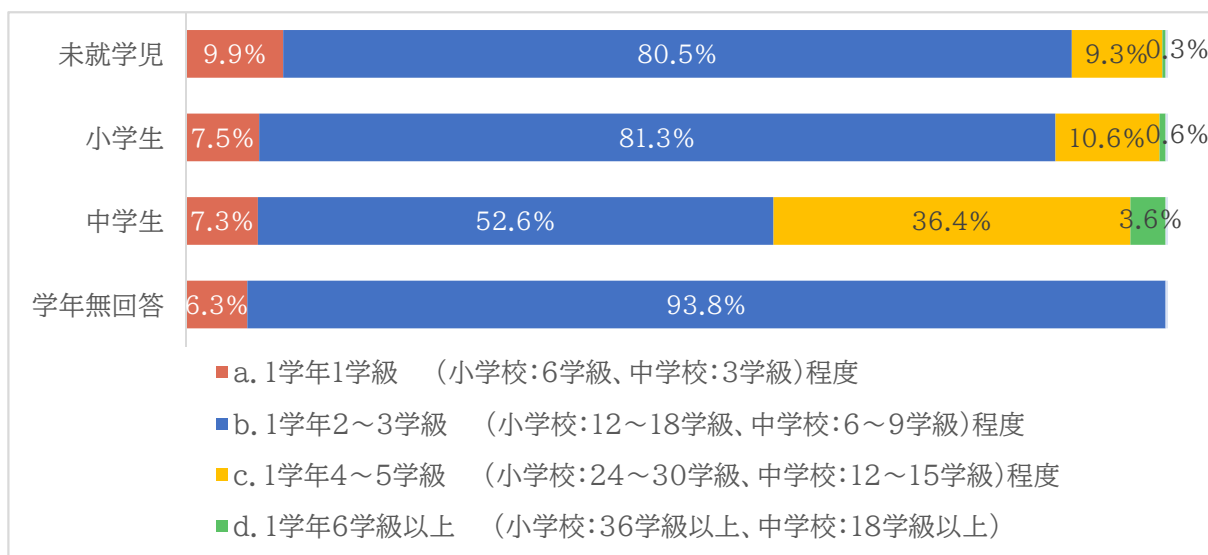
#### (1)未就学児・小学生・中学生別(保護者)

##### 1)教育環境で重視すべき点



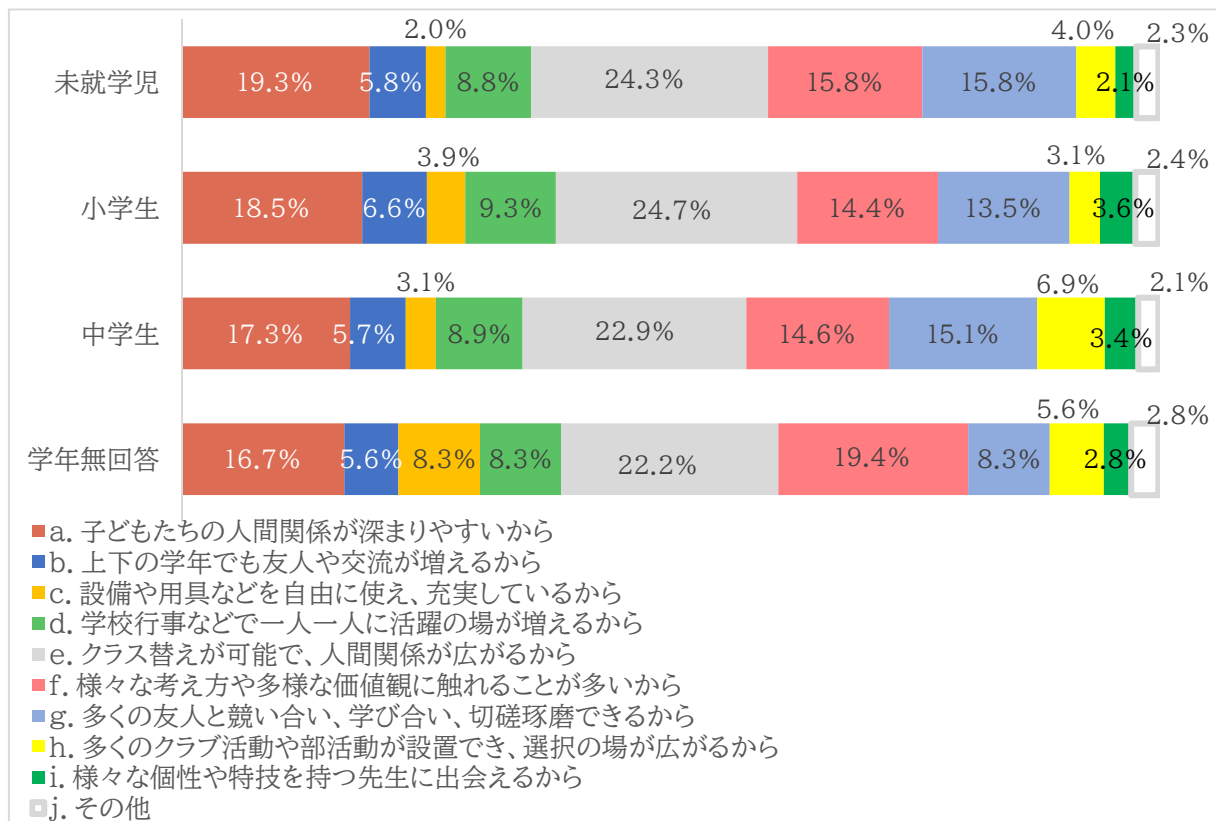
- 教育環境で重視すべき点については、未就学児・小学生・中学生の保護者ともに、「教職員の数や指導力、使命感、人間性」が最も多くなっていますが、未就学児の保護者では「安全・安心に通える環境(通学路や距離など)」が30.5%となっており、学年が下がるにつれて「安全・安心に通える環境」の割合が高くなっています。
- 中学校の保護者では「安全・安心に通える環境」の割合は2割を切っていますが、「さまざまな課外活動やクラブ活動・部活動などに取り組める環境」が1割を超えています。

##### 2)望ましい学級数



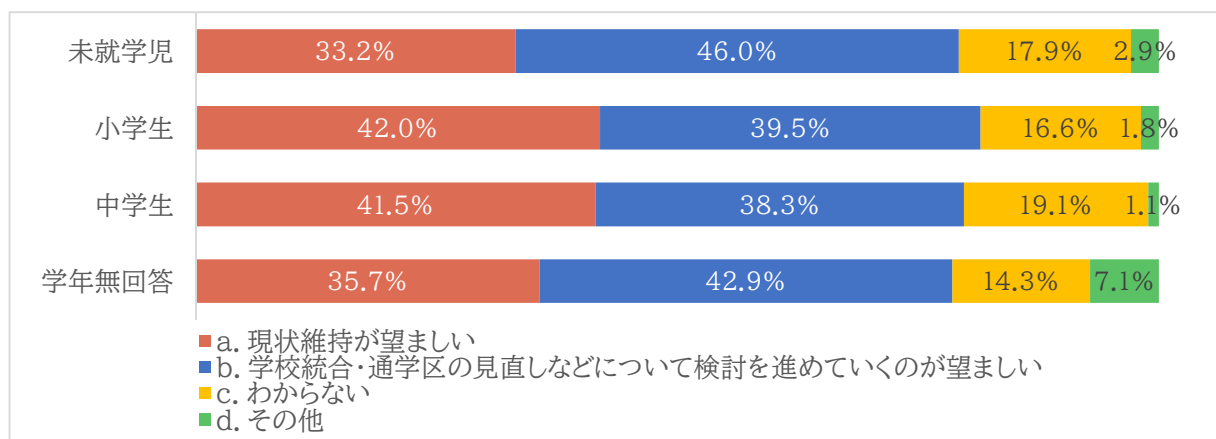
- 望ましい学級数については、9割以上が標準学級は超えていたほうが良いと回答しています。保護者の属性では、未就学児と小学校の保護者では概ね同様の傾向となっていますが、中学校の保護者では「1学年4~5学級」が36.4%と3割を超えています。

### 3)望ましい学級数の選択理由



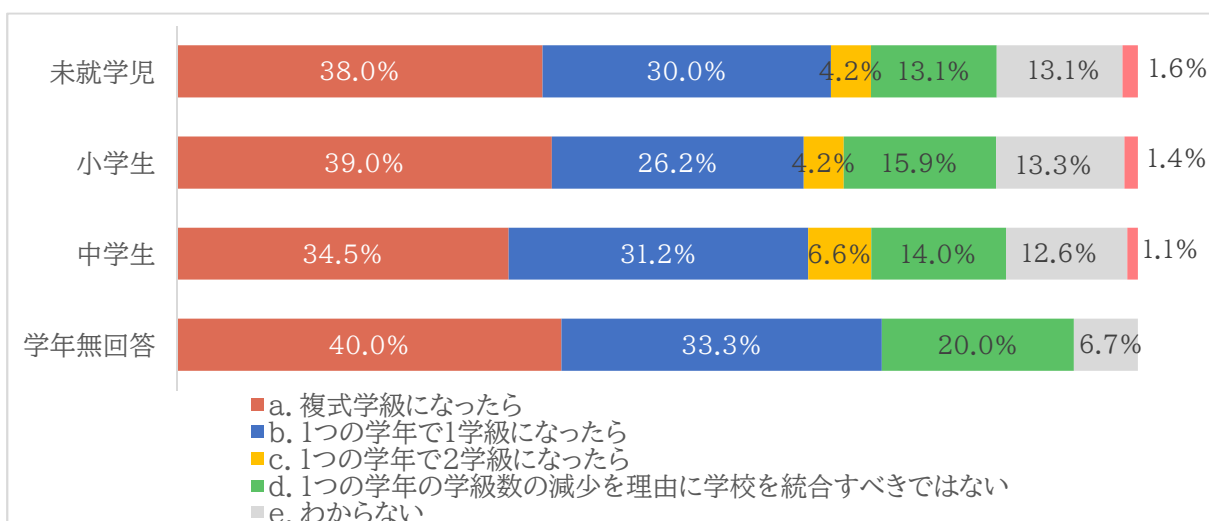
- 望ましい学級数の選択理由については、未就学児・小学生・中学生の保護者ともに同様の傾向にあり、「クラス替えが可能で、人間関係が広がるから」が最も多くなっています。

### 4)児童生徒数が減少した場合の教育環境



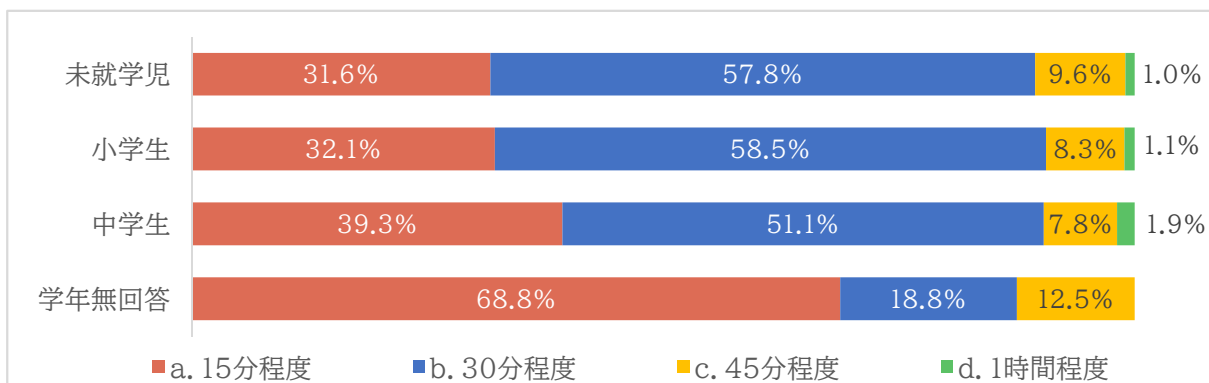
- 児童生徒数が減少した場合の教育環境については、小学生・中学生の保護者は「現状維持が望ましい」「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」が約4割となっています。
- 未就学児の保護者は「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」の割合が小学生・中学生の保護者より多くなっています。

## 5) 学校統合の検討



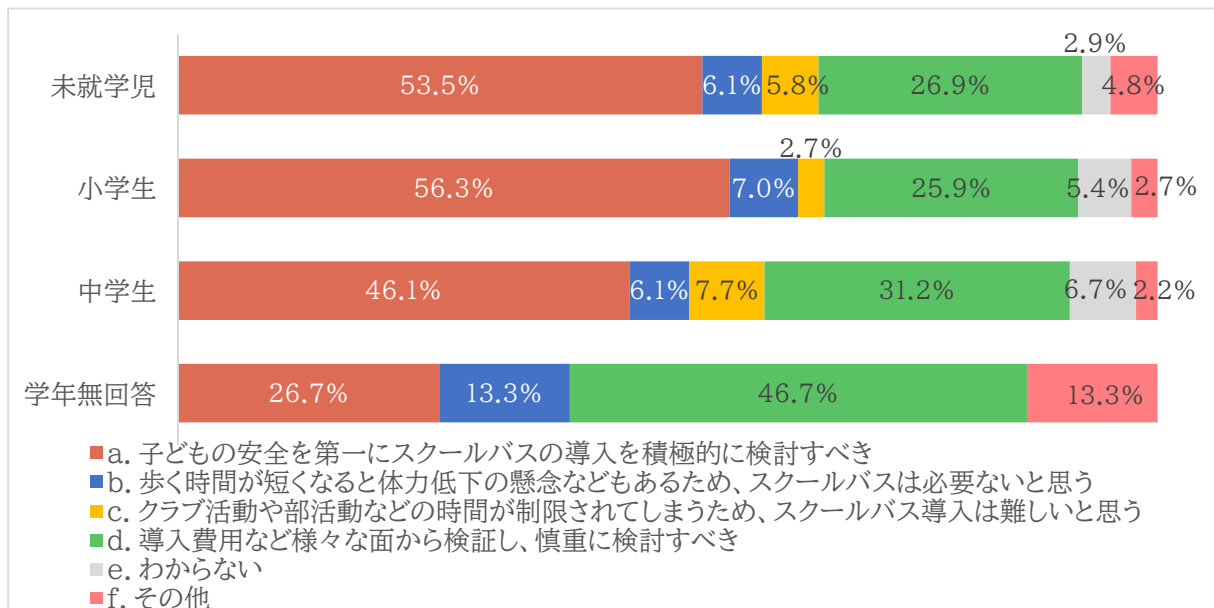
- 学校統合の検討については、未就学児・小学生・中学生の保護者ともに同様の傾向にあり、「複式学級になったら」「1つの学年で1学級になったら」「1つの学年で2学級になったら」の学校統合の検討を行うべきという回答の合計が約7割となっています。また、その中でも「複式学級になったら」が最も多くなっています。

## 6) 通学時間



- 通学時間については、未就学児・小学生・中学生の保護者ともに同様の傾向にあり、「30分程度」が最も多くなっています。
- 中学校の保護者では、「15分程度」の割合が4割弱と他に比べ多くなっています。

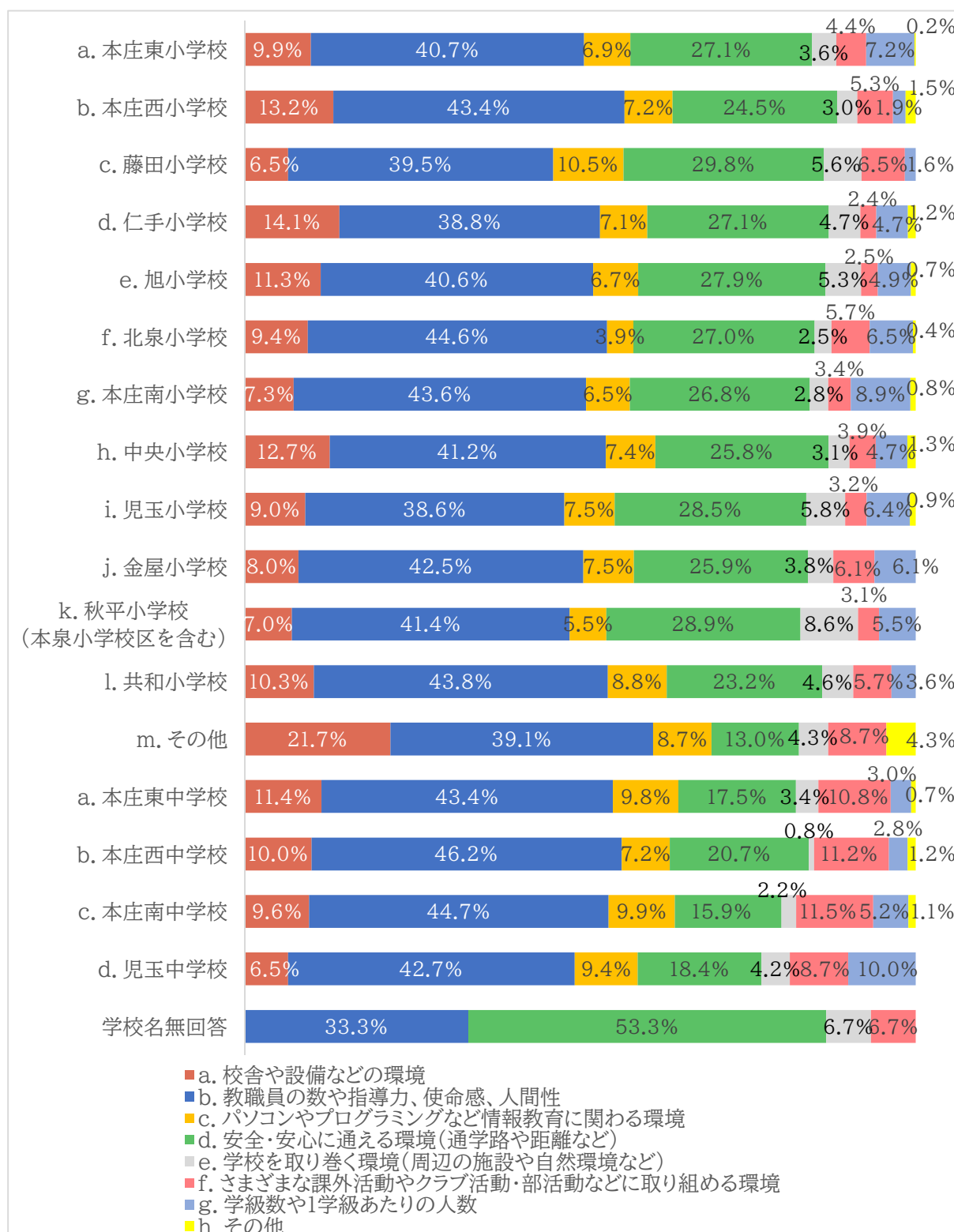
## 7) スクールバスの導入



- スクールバスの導入については、未就学児と小学生の保護者では「子どもの安全を第一にスクールバスの導入を積極的に検討すべき」が5割を上回り、最も多くなっています。
- 中学生の保護者では「子どもの安全を第一にスクールバスの導入を積極的に検討すべき」が4割強となっていますが、「導入費用など様々な面から検証し、慎重に検討すべき」も3割を超えています。

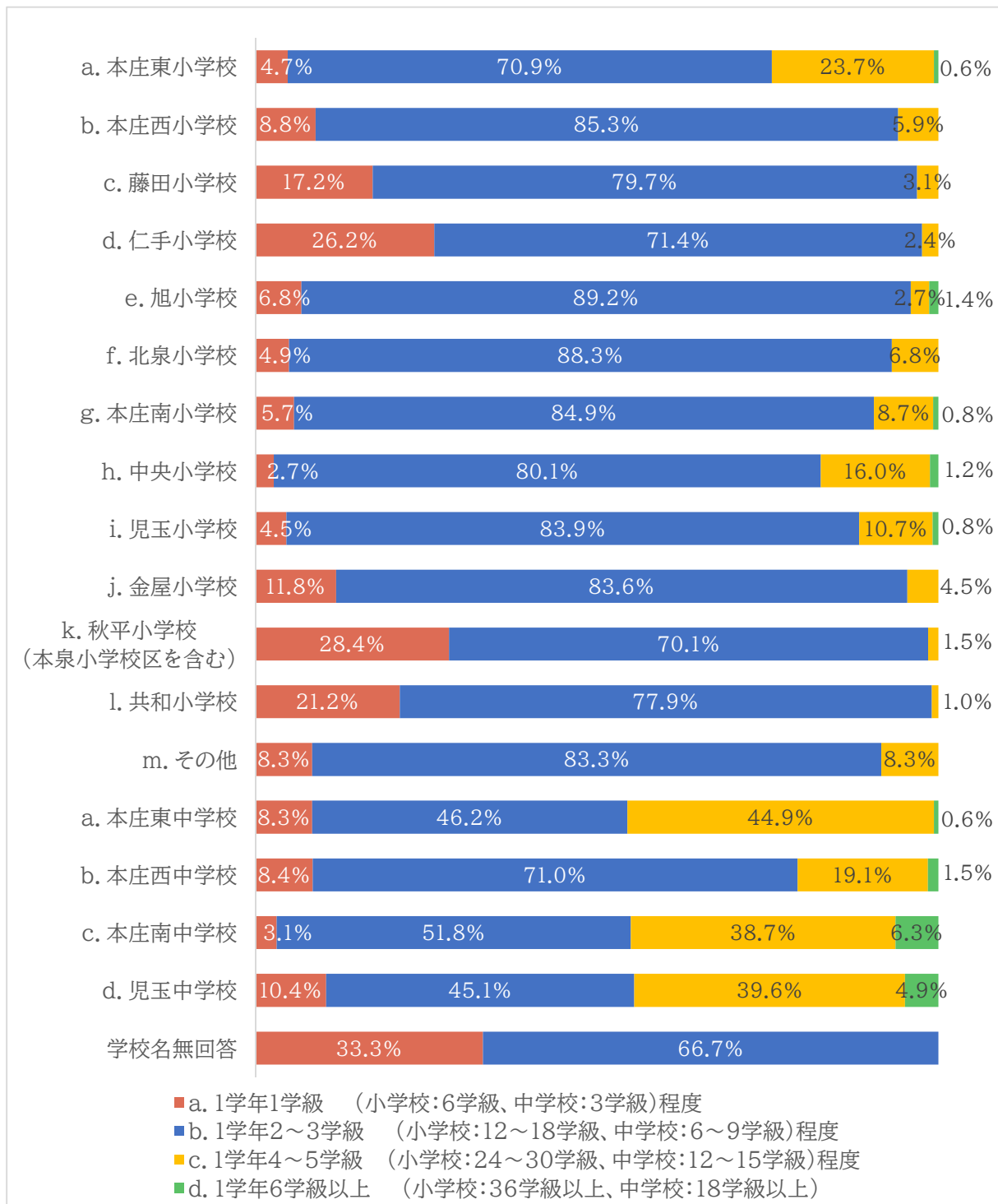
## (2)学校別(保護者)

### 1)教育環境で重視すべき点



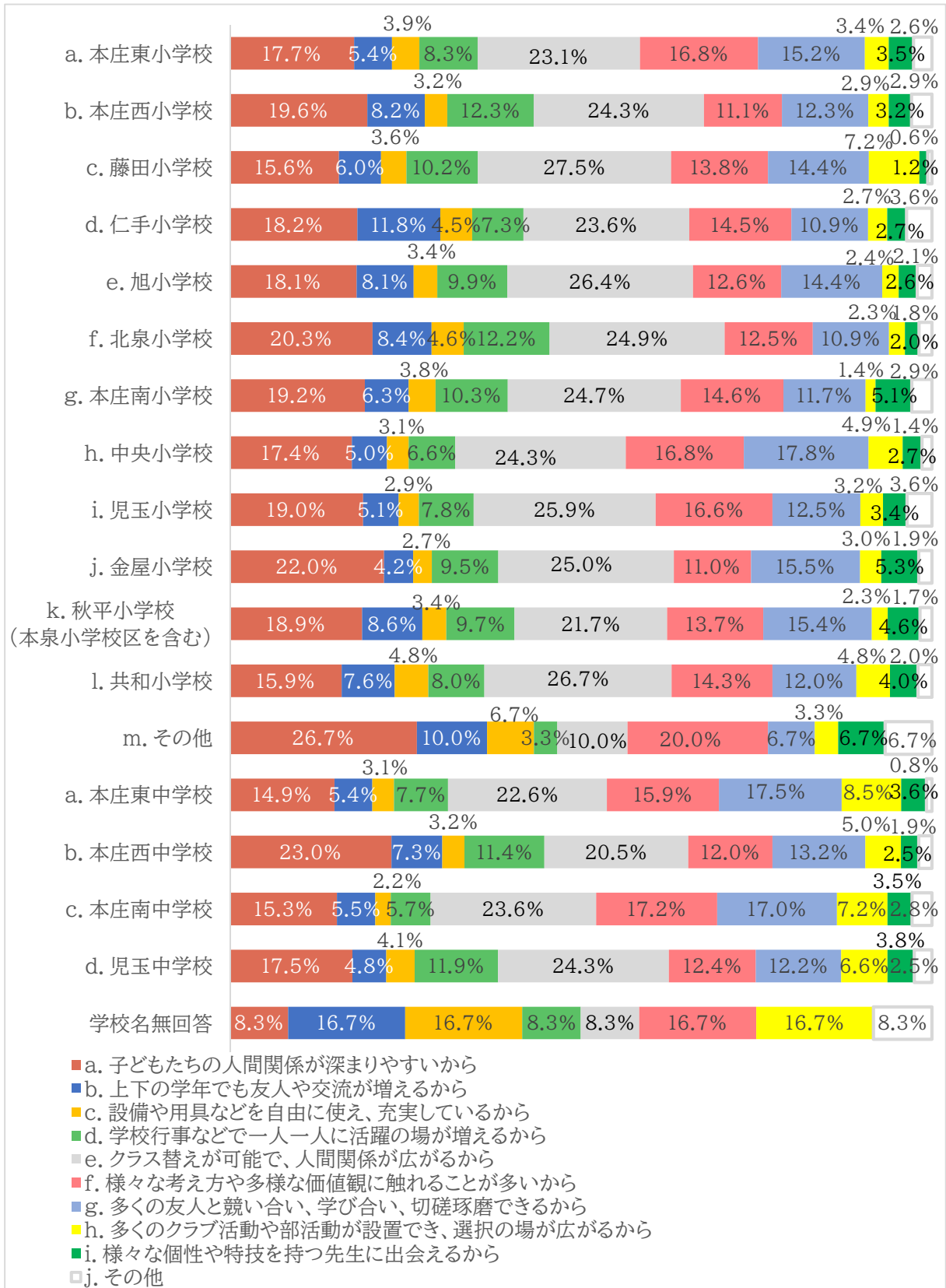
- 教育環境で重視すべき点について、学校別にみると、「教職員の数や指導力、使命感、人間性」の回答がいずれの学校でも最も多くなっていますが、藤田小学校や仁手小学校、児玉小学校では4割を切っています。

### 3)望ましい学級数



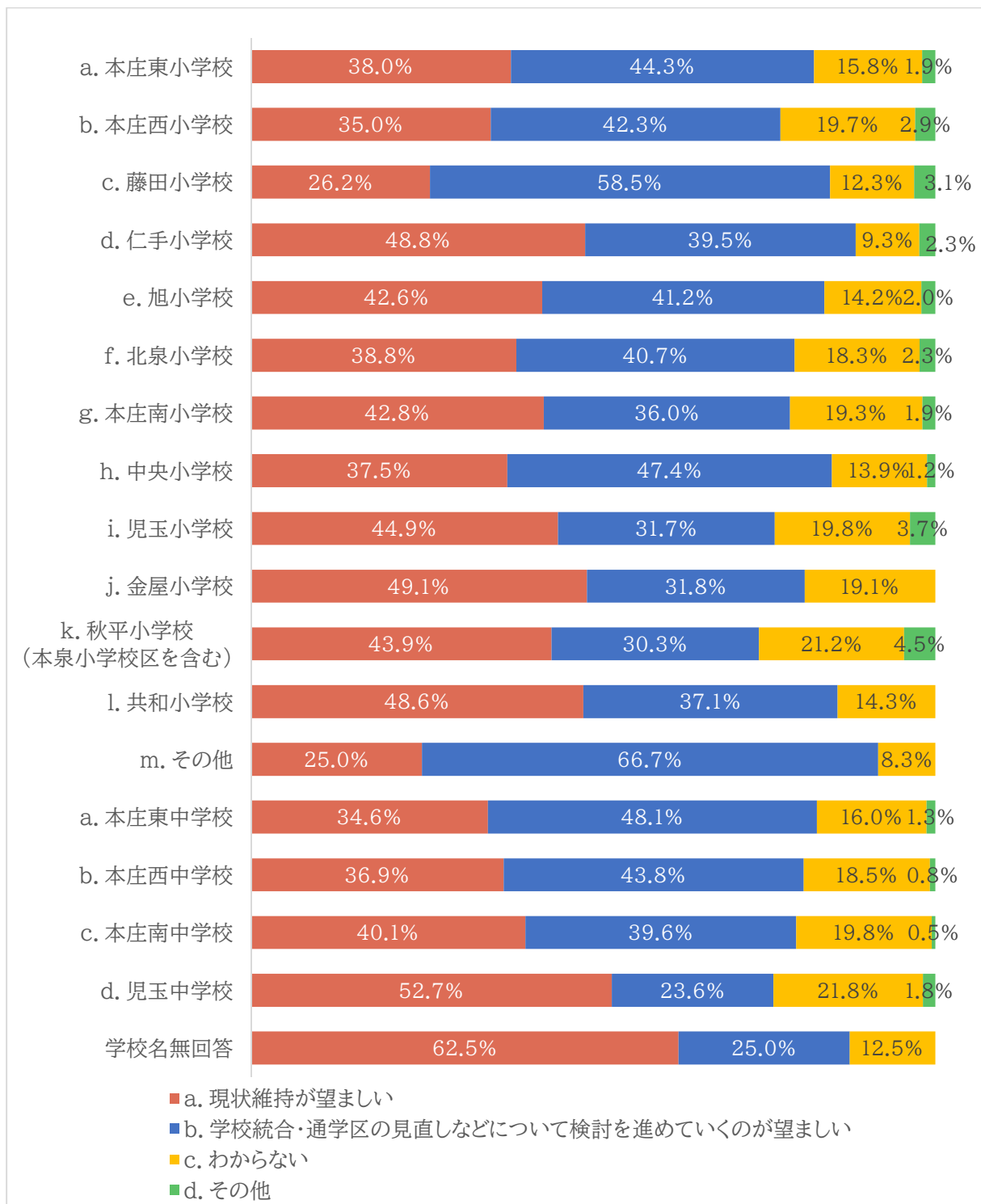
- 望ましい学級数について、学校別にみると、仁手小学校、秋平小学校、共和小学校では「1学年1学級(小学校:6学級、中学校3学級)程度」が2割を超えています。
- 中学校では「1学年4~5学級(小学校 24~30 学級、中学校 12~15 学級)程度」の割合が約4割となっていますが、本庄西中学校のみ2割を下回っています。

#### 4)望ましい学級数の選択理由



- 望ましい学級数の選択理由について、学校別にみると、本庄西中学校以外の学校は「クラス替えが可能で、人間関係が広がるから」が最も多くなっています。

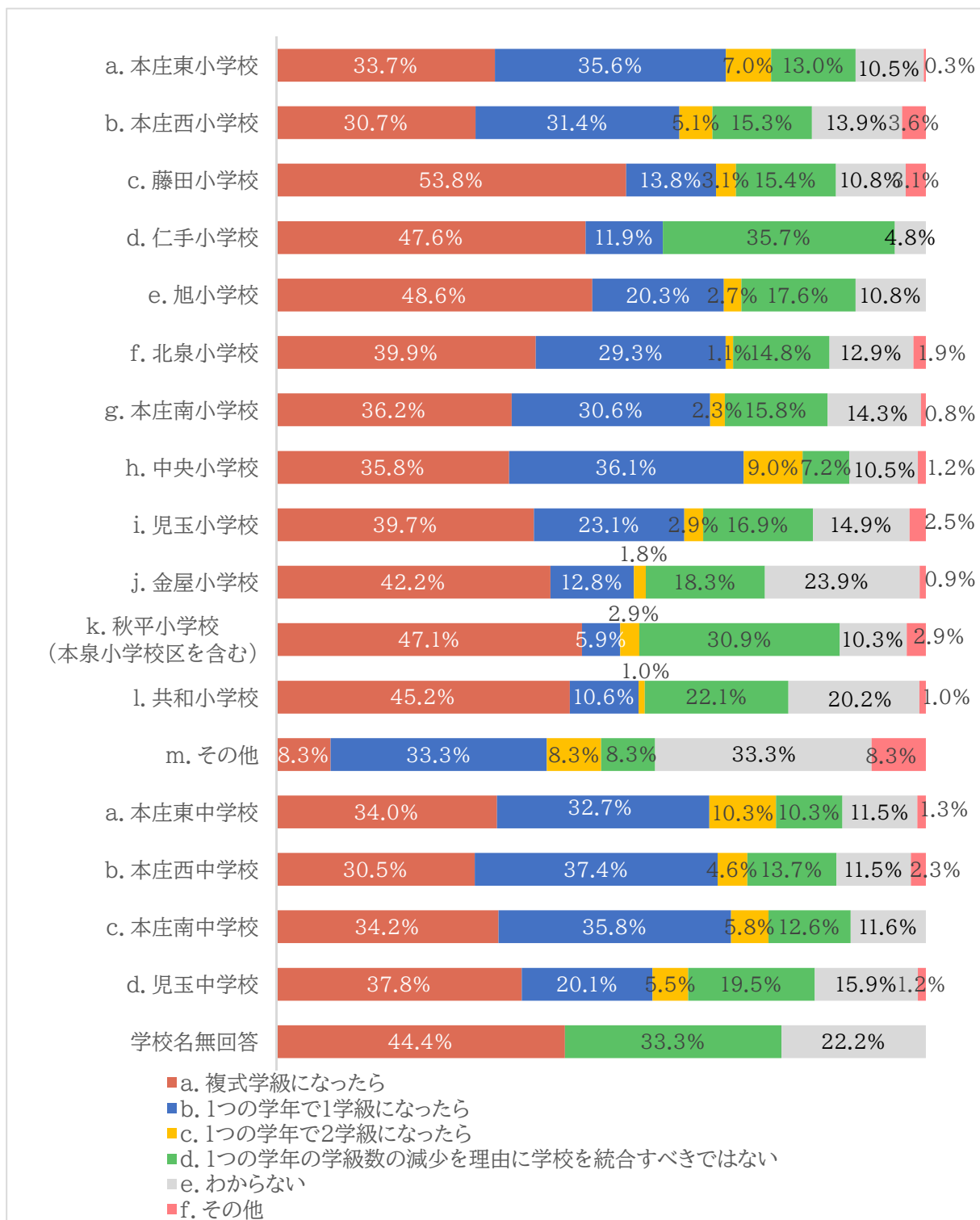
## 5)児童生徒数が減少した場合の教育環境



- 児童生徒数が減少した場合の教育環境について、学校別にみると、仁手小学校、旭小学校、本庄南小学校、児玉小学校、金屋小学校、秋平小学校、共和小学校の小学校7校と本庄南中学校、児玉中学校では「現状維持が望ましい」が最も多く、仁手小学校と金屋小学校、共和小学校、児玉中学校では5割程度となっています。
- 一方、藤田小学校では「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」が5割を超え、6割程度と高くなっています。

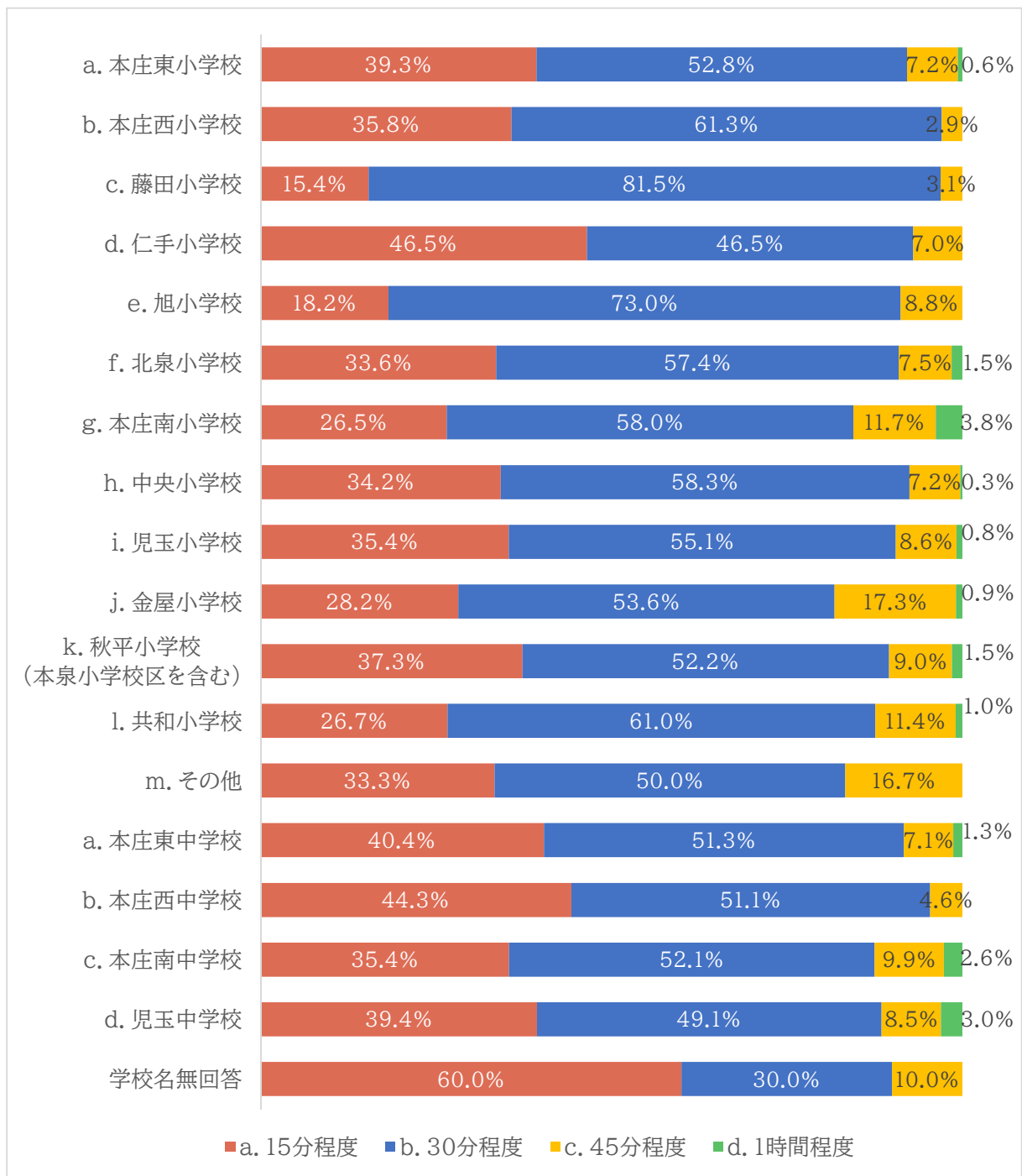


## 6)学校統合の検討



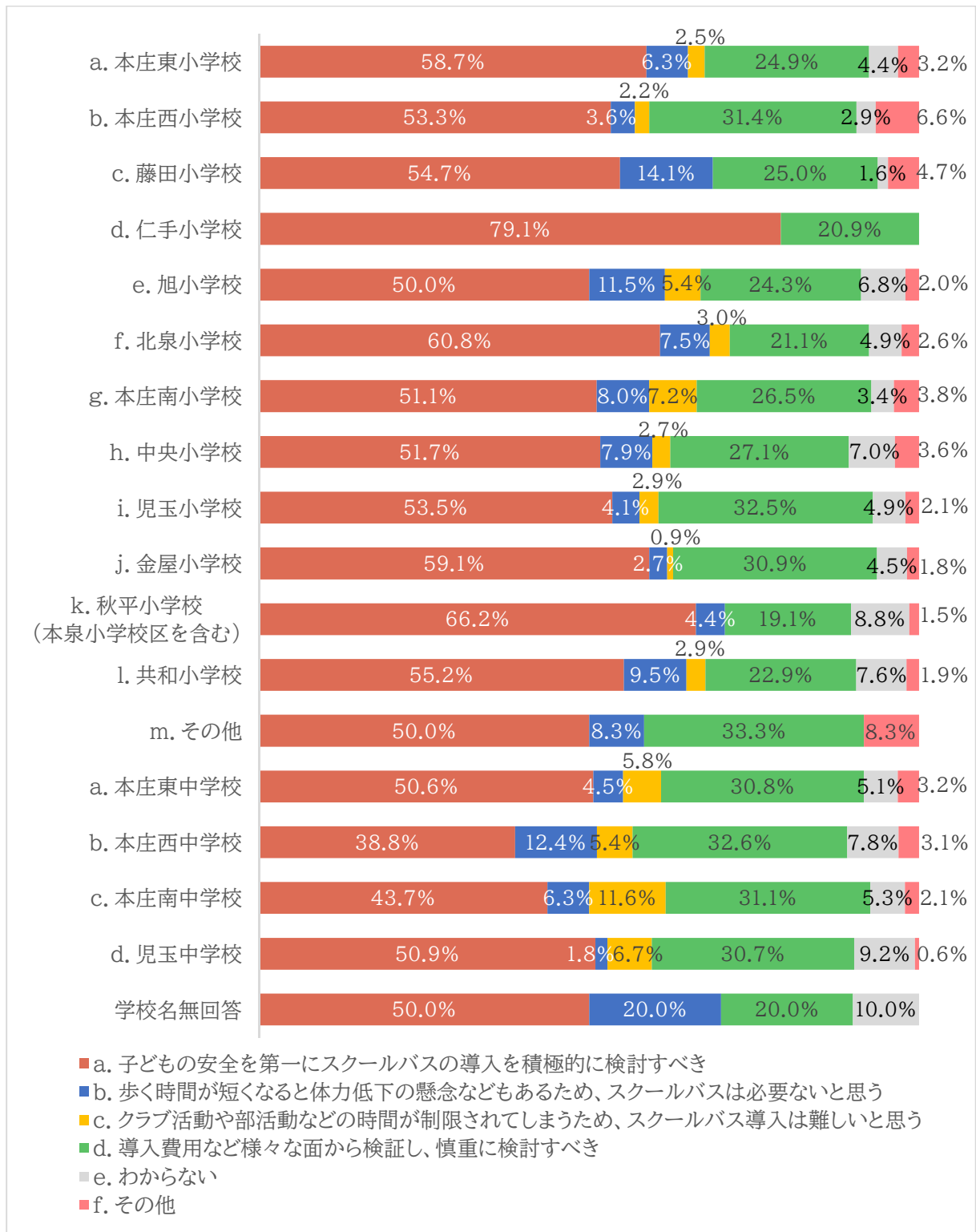
- 学校統廃合の検討について、学校別にみると、本庄東小学校、本庄西小学校、中央小学校、本庄西中学校、本庄南中学校では「1つの学年で1学級になったら」が最も多くなっています。
- なお、仁手小学校、秋平小学校では「1つの学年の学級数の減少を理由に学校を統合すべきではない」が3割を超え、共和小学校では2割を超えています。

## 7)通学時間



- 許容範囲と考える通学時間について、学校別にみると、仁手小学校では「15分程度」と「30分程度」がともに46.5%と同じ割合になっています。
- なお、「30分程度」の割合が高いのは、藤田小学校が8割、旭小学校が7割、本庄西小学校と共和小学校は6割となっています。

## 8) スクールバスの導入



- スクールバス導入について、学校別にみると、「子どもの安全を第一にスクールバスの導入を積極的に検討すべき」が仁手小学校では7割、北泉小学校と秋平小学校では6割を超えています。
- 本庄西小学校、見玉小学校、金屋小学校の小学校3校とすべての中学校では「導入費用など様々な面から検証し、慎重に検討すべき」が3割を超えています。

## 4.その他回答

### (1)教育環境で重視すべき点

#### 【保護者】

- 楽しい、行きたい、と思える
- それぞれの子供の個性、特技の尊重
- 進路(学業)と部活動を両立できる自由な環境
- 学校内での人間関係
- 一人一人にあった指導方を提供できる環境
- ひとクラスの人数。30人位が理想的
- 区域外就学の自由
- 落ち着いた授業を受けられる環境と学習する意味・目的と目標
- 宿題
- 今後の社会で必要とされる能力を身につけること。英語力、中国語を身につける、パソコン能力、投資力、道徳、世界情勢
- 教職員の指導に含む、子どもたちの人間関係、いじめ等
- 学校の設備その他すべてを網羅した、充実した教育環境。
- 子供同士の関係性 いじめや嫌がらせなどはなくなることはなく、悩んでいる子供は多いと思う
- 校則は最低限として、均一的にルールを守らせるだけの指導は改める。自分で考える力や判断力の養成、多様性の受け入れ、環境変化に柔軟に対応して自分自身を適応させる柔軟性を身につける、変化の大きな時代を生き延びるため突破力を身につけさせる、などを重視して欲しい。家庭としてはそういう教育をしています。家庭外で画一的な指導が行われると、家庭の教育方針と相反してしまうのでそのようなことが起こらないように望みます。
- 机に向う勉強などだけではなく、周りとの絆が出来る学びや上下の学年での交流を増やし教えて教えられの学びの場の環境
- 『個』を出来る限り理解し、各々に即した対応が出来る人員の配置。教員に限らず、幅広く子供達を指導、寄り添いの出来る方々に教育に携わって頂きたい。
- いじめ等のない学校
- 基礎、体験、経験、環境。
- 児童の特性に合わせた教育(強みを伸ばす教育。弱点克服ではない)。特性への理解及び配慮。
- 小さな社会に触れる場所。これから社会に出る前に、人と関わって成功も失敗も不条理も理不尽も達成感も経験する場所。そしてそれを見守ったり放っておいたりほめたりしてくれる人間関係を体験すること。その環境。
- 教育方法や運営の面において変化し続ける姿勢
- 生徒一人ひとりに合う指導環境
- 少人数制推奨
- 親の子供への関心、興味。学校教育より、親への教育がない限り改善しないでしょう
- 多様な児童生徒への対応・寄り添い

- 友達関係。人間関係
- 充実した内容の授業
- 子供の個性を知ってくれる環境。教職員の負担が少なく気持ちにゆとりが持てること
- 教育体制
- クラスの一体感、エネルギー「仲間」というものの大切さを感じられるようなクラスの雰囲気、環境、まとまり感
- いじめ等に本気で向き合ってくれる環境。
- 学校の教員だけ負担がかからないように、学校行事等は地域が保護者にもっと役割分担をして、子供の成長を見てほしいと思います。
- 子供それぞれの個性を尊重しながら本当に大切なこと(①多様性について②性教育など)を教えてもらえる教育方針。(①東小では「本気になれ、やればできる」とスローガンがありますが、努力してもできないことも正直あります。「できないことはあっても、良い所はある。」と互いを認め合える人材を育ててほしいです)(②勉強以外にも生きていくうえで大切なことも教えてほしいです。家でも努力しますが、皆で学ぶことで「恥ずかしいことじゃない」という意識が芽生えるのでは。)

#### 【教員】

- 本市の重点施策、確かな学力の育成を目指すのであれば、効果の低いことを思い切ってどんどん切り捨てるべきである。
- 学力格差
- 教職員数です。現状では現場の教職員の使命感や指導力、人間性でかろうじて成り立っています。人数を増やさずに、子どもたちの多様な指導、対応をすることは難しいと思います。
- 児童生徒の家庭環境
- 教具の充実
- 学習内容の充実・精選
- 安全安心に通える環境 車(交通量)
- 休職等欠員のまま日々やっていくのが余裕がなくなっていくと思います。

## (2)望ましい学級数の選択理由

### 1)「1学年1学級(小学校:6学級、中学校:3学級)程度」を選択

#### 【保護者】

- 先生が目が子供たちに届きやすいから。
- 学習スピード、気持ちの成長に個人差があるので、先生が余裕を持ってクラスに指導に当たれる人数が好ましい
- 一人一人に細やかな教育ができるため
- 特に理由はありません
- 設問4は当てはまるものがない。学級数のことだけで、1クラス当たりの人数が書かれていないのに、妥当と思われる判断はできない。学級数が多ければ、子供の数に関わらず教員の人材確保が大変だろう。教室の数の問題もあるだろう。学級が子供の数に比して少なければ、先生方の負担は大きいし、目が届かないところになにかあると、先生方のせいにする親が助長する。(なにかあっても子供の責任だろうに。)クラス人数が少ないのも、ケアが必要な子供が多ければもちろん望ましいと思うが、いつも先生に見られている感が強い子供もいるだろう。
- 既にある未来の形に合わせておく必要があるため
- 選択肢がなかったのでaにしたが、地域の実情に因るので、特に学級数にこだわる必要はないと思う。
- あまり多いと、勉強、人間関係が取りにくいから。
- 少ないほうが先生が目が届くから
- 子供たちがのびのび育ってくれるところならなんでもいい
- 先生が目が届きやすく、いじめや盗難対策のため、あまり多いと先生が目が届かないので何かあってからでは遅い。
- 先生が目が行き届きやすい。
- 少子化もあるので少人数制度が良いと思う。
- 我家は1クラス20人の学校(1クラスで6年生まで)ですごく良かったと思っています。先生方も手厚くご指導くださいますし、先生との距離も近くて相談見やすいためです。しかしながら人数の多い学校ではそうもいかないのかと思います。多くても2クラス3クラスまでかと思えます。
- 自分の住む地域で学べるから。
- 今の状況だと少人数の方が良い。

#### 【教員】

回答なし

## 2)「1学年2～3学級(小学校:12～18学級、中学校:6～9学級)程度」を選択

### 【保護者】

- 先生によく指導、目が行き届く
- 勉強をはじめ、日常生活においても先生の目が届きやすいから
- 学級数が多いマンモス校だとまとまりがない印象がある
- 自分自身の時に5～6クラスあり、同級生でも名前しか知らない子もいたため、もめた時にクラスが一緒にならない確率が高いが、多いからいいということも特に感じなかったため。
- 校内だけでなく、よい街が人間の形成に大きな影響があるとおもうから
- 人間関係を形成する際、その濃さと広がりバランスが重要だから
- 内気な子は大勢の中にいると萎縮してしまい質問等できなくなると思います。
- 少ない児童数の方が、先生の目が一人ひとりに届きやすいから。
- 教師の目が行き届く
- 教師の目の届き得る人数であることが最重要
- 1クラスが少人数になると先生の目が行き届きやすくなるから
- 人間なので先生、生徒同士など必ず相性があるかと思います。本来なら一つに固まらず大学のように指導教員を選択したり、相性が悪い先生や友達と絶対付き合わないといけない環境を作らない方がイジメなども防げるかと思います。うちの子供は4年生の時に担任の先生と相性が合わなかったのと、意地悪をしてくる友達、何も分からないのに注意をしてくる先生のために、心を乱し家庭で暴れはじめました。進級してからは担任の先生への信頼、意地悪をしてくる友達と離れられ心が落ち着き不思議と家庭内暴力が治まりました。子供に取っては学校は絶対の世界です。逃げ場がありません。環境を変えられるために一つにまとまるのは良くないと思いました。
- ひとクラス多くても30人程度がいいです。
- 1学級の人数を重視。40人は多いと思う。メリットもあるがデメリットも多い。
- 先生方がクラス学年関係なく子供たちの顔を覚えてくれそうな人数だから。
- 1クラスの人数が多すぎると活動しづらそうだから
- 学年の子どもの人数によってかわるのでは？1クラスの人数をもう少し少なくできたらと思います。25～28くらい
- 私自身 小学校では学年2クラス中学校では学年3クラスを過ごしてきてとても楽しく過ごせたように思います。先生方も生徒に目が届きやすいと思います。正直 人数が多い中学校には抵抗があります。
- 理由1、今の一クラスあたりの人数がちょうど良いと思う。一学年一クラスで担任ひとりだと目が行き届くか疑問が残る。理由2、クラスを増やす=教員の数を増やすことに繋がると思うが、実際難しいのではないかな。
- 社会にでる前に人間関係を学んでほしいから。単クラだと友達関係の問題ではなしたりできない。
- 少人数だと、先生との距離が近く、児童全員に目がいくから。
- 目がいき届きやすい
- 学級数ではなく、1学級の人数かと。

- 少人数、少クラス数の方が、より細部に大人の目が届きやすいと思われるため。
- 少なすぎず多すぎないから
- 勉強面のフォローがしやすいから
- 出来るだけ少人数の方が先生が生徒、児童に対応しやすく把握できると思うから
- 遠いと通うのが大変だから
- その年に入学した生徒人数により回答は異なりますが、先生の負担や1人1人子供に目が行き届くように、多くとも1クラス 30 以下が望ましいと思います。
- 1 クラスを 20 人以下にしてほしいから
- 1 学級の人数が多いと、先生の目が行き届かずに成績格差が大きい
- コロナ対策
- 教員一人あたりの担当児童が少ない方が負担が減り、目も行き届きやすくなる。学習進度別にきめ細かい授業が出来るかと思います。
- 子供の人数にもよるが、教師 1 人の負担を減らして、子供 1 人 1 人を見る時間ができる
- 担任が受け持つクラス人数が少なければ児童 1 人 1 人に目が届く。多ければ把握出来なくてもおかしくない。学校なんてそんなもの…いや、知りません存じません避けたい。
- 先生ひとりひとりに目が行き届く環境に近くなるから
- 少人数クラスのほうが先生の目が届きやすいから
- 学習の際 1 クラスに大人数だと学びに差が出る気がするので
- 2 学級以上のほうが、何かあったときの対策にあることや少ない人数のほうが先生の目が届きやすくなる点で安心
- 子供たちの人間関係も形成されやすく先生の目も行き届くので
- 多すぎず少なすぎず
- 多すぎるとろくなことがない
- 先生が一人一人にきちんと目を配ることができるから。
- クラス内に苦手な子がいたとしてもクラス替えて離れられるため。
- 1 学級あたりの人数が少ないほうが、子供のわからないをわからないままにしないで理解するまで取り組めるから
- 学級数よりクラスに何人いるかが問題だと思う。1 クラス 20 人前後がいいと思う。教室の広さも問題。
- クラス替えがあることで逃げ場ができる
- 少ない人数のほうが先生方が児童の把握がしやすく親身になりやすいのでは
- いじめが起きたときに対応できる幅が増える
- 多すぎると教職員のキャパ越えになってしまう。一人一人に目が届く環境が望ましい。
- 先生の目が届きやすそうだから
- 国の考えに近い
- 何か問題があったときに、ほかにクラスがあったほうが次の学年ではクラスを替えたり対応できるから。
- まだ現状が良く見えていません
- 1 クラス当たり余裕のある人数だと目が届きやすい。25～30 人が望ましい



- 1 学級に少人数のほうが先生の指導が行き届くと思うから
- 中学では多すぎても少なすぎても良くなく、学年全体を知るには 6 学級ぐらいでちょうど良いと思う。
- 1 学年 3 クラスあれば人数も多くなりすぎずに学べると思ったから。
- 1 学級 3～4 人で少人数で先生の目が行き届くから。
- 1 クラスの児童の人数にもよるが、先生が 1 人 1 人をよく見てくれると思うので。
- 先生の負担を少なくして生徒を見る時間に余裕を持たせる。
- 40 人では教室が狭すぎるから。
- 自分が 1 学年 6 学級の学校で先生との関係がうまくいかなかったため。
- 友達は多すぎると接する友達が限られてしまう。
- 1 学級の人数が多いと先生の目が行き届かなくなるから。
- 先生の目が届きやすいから
- 学年をまたいで先生たちが子供達の様子がわかりやすい。
- 1 クラスの人数が少ない方が先生の指導が行き届くから
- あまりに児童数が多いと手のかからない子は先生に後回しにされてしまうのでは・・・と思います。困りごとの多い子、手のかからない子、どちらにも目が届くクラス数が良いです。
- 家から通える距離
- 今現在、1 クラスのみで 36 名(支援学級児童含め)いるため、先生の目が行き届くのか疑問。今後の感染症対策のためにも 2 クラスに分けてほしい
- クラスに居場所がなくてもクラブや通学で他のクラスの子と触れ合えばその子の居場所になりそうだから。

#### 【教員】

- 中規模程度が児童生徒数、職員数の面からも把握等がしやすいと考えるから
- 学級数がどうこうというより、学級の児童数を 20 人程度の少人数学級にすることを希望します。少人数学級ならなら教員と児童と距離が近くなるし、児童理解が深まると思うからです。
- 職員数が増えれば校務分掌の担当が少なくなるから。
- 複数学級があったほうが良いと思いますが、学級が多すぎても校内の設備が足りなくなります(特別教室や体育館など)
- 学級数は文科省の望ましい学級数くらいがよいと思うが 1 学級の人数は 20 人程度がよいと思います。
- 体育館や特別教室の使用を考えると、学年 1～2 学級が良い。初任者が毎年入ってくることを考えると、2～3 学級くらいあったほうが良い。
- 単級ではいほうが、教員が相談して仕事を進めることができると思うから。
- 同じ学年を持つ担任が互いのクラスを見あえる規模だから

### 3)「1学年4～5学級(小学校:24～30学級、中学校:12～15学級)程度」を選択

#### 【保護者】

- きめ細やかな指導が受けられると思うから
- 友達を選べるから、気の合う子と友達になる可能性が高まる。たくさんの子がいれば、色々な対応を学べる。
- 生徒数によって学級数も変わるのでどのくらいが望ましいかという事よりも、1クラスの生徒数が多いと指導も手薄になってしまうと思うので、生徒1人1人に教師がしっかり対応できるようなクラス人数にしてもらえる事を望む
- 先生の目が行き届きやすく、学習面でも聞きやすくなるから。
- 教師が生徒に目が届きやすくなると思われるから
- 1学級の生徒数が少なければ細やかな教育が可能ではないか。
- 1学級の人数が減れば、先生方の目が行き届き学習の遅れが減ると思うから
- ある程度規模の大きい学校の方が、設備が充実し、質のよい指導ができる教師が増えるから
- 先生の目が届くから
- 今のままで不満はないから
- 現在一クラス38人と多いので、一クラスあたりの人数が少ない学級が理想だから。(今よりも学級を増やしてほしいから。)
- 1クラスの人数が多いと先生の目が行き届かないので、ギリギリの人数に対して先生1人より余裕を持った人数で見てもらいたい。
- 授業ペースが詰め込みで昔よりもハイスピードなので、行き届いてない感じがするため。
- 少人数数過ぎると社会性の理解が難しく、大規模過ぎると個々の埋没缶が深まるので
- 1クラスの人数が多すぎるとひとりひとりをしっかり見ることが難しくなるから
- 1クラスの人数が少ない方が、教室もそんなに広くないから、もっと広く使える。人数を少なくすることによって先生たちの負担も減るのではと考えるから。
- 先生の目が子供達によく届くと思うから
- 指導員が生徒一人ひとりに近い状態で指導ができる。生徒のいいところを伸ばす工夫ができる環境になる。
- 教師の目が子供一人一人に行き届くから
- 1学級の人数を減らし(15人ほど)先生の負担を減らしてほしい
- 先生に一人一人をしっかり見てほしいため
- 1クラス少人数の方が目が届く。
- 少人数なら子供1人ひとりよく見てもらえると思ったから。
- コロナ予防にもなる。
- 先生の担当人数を減らすことができる。
- クラスの人数を25人前後にした方が先生の指導や目が行き届くから。
- 能力別及び教科ごとに。
- 先生の目の届く人数(1クラス20人以下)で。
- 人数はある程度学校全体の学力に影響を与えるので。
- 学級数が増えても少人数制のクラスで1人1人丁寧に見てほしい。

- 子供達一人一人に先生の指導が行き渡る(クラスの人数が減り)
- 児童ひとりひとりに目が届くから。
- 1学級あたりの人数を減らすことで個々へ行き届いた教育が可能になるから。
- 1学級の人数が多すぎると授業について行けなかったり個性を出せない生徒が増えてしまうと思う。
- 少数精鋭の教育
- 1人の生徒に対し先生の関わり方が深まると思うから。
- 先生の目が行き届きやすい。教室内が窮屈にならない。
- 1学級あたりの人数が少なくなれば児童1人1人に向き合えるのではないか。担任も負担が減るのではないか。
- 少人数での学習で集中しやすそうだから。
- 1クラスの人数を少人数にし、子供への対応を重視してほしいから。

#### 【教員】

- 教員が児童一人にかけられる時間が増えるから
- 一学級あたりの人数を減らすことで、指導の充実が期待されるため
- 一人ひとりに目が行き届くから。
- 教職員がより深く生徒を理解できるから
- 教員が学年をまたいで授業をせずに済むから。

#### 4)「1学年6学級以上(小学校:36学級以上、中学校:18学級以上)」を選択

##### 【保護者】

- 一クラスの人数を減らすことで先生方の目が届きやすくより決め細やかなケアがしていただけるのではないか
- きめ細やかな指導を受けられるから
- 先生方の目が届きやすいから
- 先生の目が行き届きやすいから
- 現在の1クラスあたりの人数が多すぎる

##### 【教員】

- 人クラス41人は多すぎて教室がぎゅうぎゅうになっているため。

### (3)児童生徒数が減少した場合の教育環境

#### 【保護者】

- 状況に応じて検討
- 子供本人が適応できるのであれば、どちらでも良いと思います。
- 子どもの数や学級の数より、子どもと教員の数の割合を 25:1 程度にして頂けるのが一番お願いしたいことです。
- 1クラスの人数を減らし、クラス数は維持する。
- 通学バスありで、学校統合の検討を進めていくのが望ましい。
- 低学年で遠方の学校へは心配なので、4年生以上など一部の学年での学校統合などを検討してはどうか。
- 気持ちは b ですが学校の統合の見直しをしてくださる場合は通学の手段も一緒に検討して頂きたいです。遠くなると思うので。
- 現状維持が望ましいが、減少が著しい場合は通学区の見直し等が必要だと思う。
- 社会性が身につかないので、本当に魅力があったら…学校環境、教員の指導力など本人の為になるものがあれば現状維持で通学させると思う。
- 学校統合するなら、通学路が遠くなるので、バス通学になるのであるなら統合検討してもいい。
- 統合の必要もあるが、遠くまで通うなどの不便が生じないよう考慮する必要がある
- 学校をどうこうするのではなく、生徒何人に対して何人の先生を配置するか検討するべき。学校統合では通学距離が長くなる可能性があって危険時間が延びてしまう。生徒が減れば必然として先生を減らしましょう。担任をなくすとか
- 統合等を実施するかどうかは別として、検討を始める必要がある
- 1学級の人数を減らして学級数を維持する
- 学校の数減らし学校統合と通学区の見直しを行い、市の中央辺りに通信中心の新しい学校を1校設け、市内又は近隣からの生徒を募り、今より自由な形で自分に合った通学や勉強スタイルを選択できるようになるといいと思う。部活動は校外からも入部者を募るなどして部活動だけやりに登校もありだと思ふ。学校の生徒数やクラス数が少ないと色々な先生と出会える可能性も減るし、1クラスしかないといじめやトラブルがあった場合の逃げ場がない。人数が少ないと部活動の選択肢も狭まる。このような学校が1校あるだけでも現在学校に登校できてない、または学校数の減少で通学が困難になる家庭も新しい選択肢ができると思う。
- 藤田や仁手、南小や中央小のように近い所であれば統合し、離れている場合は通学距離も考え少人数でも良いかと思ふ。
- 減少により学校を統合するのであれば、スクールバスをだしてもらい、送迎していただきたい。又は、1校あたりの学校の人数がすくないのであれば、学童のように学校が終わってからみていただきたい。
- 人数に合わせた最適な教育法に変える。可能であれば。
- 選択制
- 安心、安全な通学手段を確保できるのであれば学校統合の検討をしても良いと思う。
- 行きたい所へ行けばよい

- 学校統合、通学区の見直しはいいが、遠方の生徒に対する配慮が重要
- 統合も視野に入りますが、少子化も考慮し、暮らすにあたり、大人ありきの生活になっている気がします。送迎・共働き・施設の使用料など…。親は、あれこれ言ってしまいますが、子がのびのびと自由な発想で積極的に情熱的に動けば何も言えません。どうか、子供がキラキラしていける環境を市全体で取り組めたらと思います。
- 少子化による統合は、学校運営のハード面に対してはプラスに思います。施設、設備の維持管理費用の削減も可能だし、管理箇所が減ればそれだけ個々を充実できるのでは。でも指導監督する側の削減、縮小は困るので、現在の児童との比率はあまり変わってほしくないです。それから、登下校に関してスクールバスの導入や、学童保育所の場所や学校と保育所間の送迎など、統合で遠距離になった場合の対策は子供第一に進めてほしいです。
- そもそも、今の日本の学校教育が世界から遅れをとっていて、もっと抜本的な改革が必要だと考える。
- 通学時間、距離を伸ばさない配慮が最も重要だと思う。その上で、見直し等をすればよいと思う。
- 人数減った分、生徒一人ひとりに合う様な教育していくべきだ。生徒一人ひとりの長ところを伸ばす教育するべきだ。
- 統合は反対します。通学区の見直しは必要だと思います
- 縦割り学級
- 家から遠くなる通学になると通学が心配になる。
- スクールバスがあるなら遠くても OK
- 統合により遠方に通わざるを得ないとすると投稿までの手段を(バスなど)市などで負担していただくなど考えてほしい。
- 少人数学級を増やし、児童一人一人の能力向上を促す
- 市内の児童数を増やす対策を考える
- 一人の先生が見る子供の数が少ないほうが、目が行き届く気がするので少人数でクラスを増やすのがいいかなと思いました。
- 教職員の育成、指導
- ある程度の人数の枠を決め選択をすることも可能にした方がよい。
- 今から様々な方法やあり方について検討を始めることが望ましい。
- 生徒が少なくなっても学級数は多くしてほしい。
- 人数が少なくなったら＝統合ではなく、少人数だから実現できる教育(地域との関わり、経験)ができたなら親としてありがたいです。
- 現在 1 クラス 40 人と多いので 3 クラスにしてほしい。
- 今が多すぎるのもっと減らすべき。校長が全校生徒の顔と名前がわかるくらい。
- 地域的に現状維持しかない。
- 最後の 1 人まで学校を行い閉鎖をするべき。
- その時の状況にもよるため統合などがあるならば必ず事前に相談やアンケートを取って意見を聞いてほしい。
- 人数は多い方が良いが学校までの距離が遠くなってしまう。

- 学校統合は望まないが通学区の見直しの検討は望ましい。
- 市単位でクラスの平均人数を平等になるよう振り分ける。
- 学校はそのまま人数の多い所から通学区の見直しをして少ない学校へ。
- 減少した場合、見直しが必要と思う部分は見直していただけるとありがたいです。
- 遠くても危険なので
- 何を行っても不安はつきもの。本庄市全体でもっと子育てしやすい街にする。

#### 【教員】

- 1クラスの人数を減らしたい。
- 地域性・それぞれの方の意見を聞くとともに、学校を維持すること(施設面等)や教員の質を維持することを鑑み、総合的に考えていただきたい。
- 1クラスの児童・生徒数の上限の見直しをし、1学級20～30人程度で編成ができるようになることが、子どもたちにとっても望ましい
- 人数の程度によるが、1学級の人数が20人を下回らないのならば、現状維持で良いと思う。
- 教員一人当たり生徒の生徒数を少なく、30人学級を実現する。
- 学級数を極端に減らしたり、教員を減らすより、一人一人きめ細やかに指導できる環境を目指すべき。
- 1学級の児童数を減らし手厚い指導をする
- 減少してきたときの社会状況がわからないので。

#### (4)学校統合の検討

##### 【保護者】

- 一クラス 10 人以下
- 小学校低学年では少人数・多学級が望ましいと思うが、高学年や中学校では少学級でも多人数が望ましいと思う。現状ではそれが叶っていないと思うので、この質問の回答は難しい。まずは小学校・中学校の学級内の状況を把握をして、学年と学級の適正数を見直し、統合について考察すべき。
- 子どもと教員の数の割合が崩れてきたら。
- 小学校 2 学級になったら、中学校は、3 学級になったら。
- 通学の安全が確保できることが前提
- 手厚さが違うことにより学校によって学力差が出るのもどうかと思う。皆平等の教育をつけて欲しい。
- 税金は限りがあるから色々考えてほしいが、子供の教育はケチらないで欲しい
- 子の減少による学校の統合 という選択しかないのでしょうか？空き教室の民間への貸出、他省庁や公的機関への貸出、高齢者の集う場の運営など、さまざまな案が出ると思います。将来の日本、この世界を託すことになる子供たちに、もっと真剣に向き合いませんか？
- 全学年各 1 クラスで、1 学級で 20 人以下になったら
- 対象となる児童、保護者、地域の意見を確認してから、検討してほしい。
- わからない、です。でも、例えば校舎の補修が必要だけど実際空き教室ばかりでありあまり意味がないとか、人数がないから、遊具を減らす、体育設備などに不備が多い、など子供達の安全が守られない環境がでたり、選択肢が限られてしまうようなら、何人だとしても統合の選択肢はあっていいのかなと思います。地方の山村部では複式学級なんて当たり前で、そこにも沢山のいい面があると思うので、一概に無しとも思えません。ただ施設の規模と児童数のバランスは少し気になります(管理維持の面、心情的な面等)。
- 秋平小は昔から少人数、今のままでいいのではないか
- 学級数が減ってから検討始めても意見調整に時間がかかるため遅いです。統合による休校候補校はあるので、あらかじめ休校予定アナウンスして、試験的に休校し、統合予定の学校へスクールバス登校運用してみてください。
- 全校生徒の人数が 20 人以下になった場合など
- 各学校の判断で必要と思うタイミングでいいと思う。各地区で子供の数の減り方は異なるだろうし。子供の数が減っていても、教育の場所の確保に動いてくださる先生方が、統合や通学区の見直しについて保護者が文句を言うのはおかしいと思う。
- 学級数によって、どのような子どもたちへの影響(学力、学校生活)があるのか、調査が必要であると感じる
- 1 学校あたりの 1 学級数が増えてきたら
- 1 学年が 20 人以下くらいになったら。
- 質問がわかりにくい。学校統合と、学年統合は分けて検討すべき
- 統合すると人数が増え競い合い(いじめ)にも発展すると思います。
- 統合はほかの施策による効果が得られたかった時の最終手段。

- 1学年の人数が10人以下になったら
- 1学級の人数が1ケタになってしまったら。
- すべての学年で1学級になったら。
- 複式学級が良いと思います。
- 本庄市全体のバランスで考えるべき。
- 今後、子供は減少することは明らかならば、今から学校統合やその他の方法について検討すべきである。
- 通うのが大変な家族もあるため一概には決められない。
- 学級数の数ではなく学年数で考えるべき。
- 「複数学級になったら」に近いが通学の距離など考慮するべきであり、人数のみで決るべきではない。
- 全学年、各学年16人以下に近い状況になった時。
- 問6と同じ、最後の1人までやるべき。
- 学級数で考えるのではなく1クラスの人数で考えるべき。
- 子供が通える距離ならいいが遠い場合かわいそうです。
- その学校に通う子供や保護者の希望が考慮されると良いと思います。

#### 【教員】

- 単学級となり、全てのクラスが20人以下になってしまう場合
- 少人数を生かした方が、学力向上につながると思います。
- 学校を運営する機能が、子どもたちにとって最適ではないと考えるとき。
- 学級数だけでなく、通学時間等も考慮する。
- 学区などの関係もあるので、その点も含めて検討していく必要がある
- すべての学年で1学級になり、今後もその状態が続くとき。
- 1つの学年の学級人数が38～40人であと3、4人増えれば学級が増えるようなときは、将来的に検討してもいいと思う。
- 統合はしないほうがいい。
- 通学区域があまりにも広範囲になってしまうようならば、無理に統合すべきではないと思います。
- 既に検討しておく事案である。他市ではすでに検討を進めている。



## (5)スクールバスの導入

### 【保護者】

- スクールバスの利用により、時間短縮や、子どもへの負担が軽減等が出来るなら、その分外部教育や体力作り、部活動などへの時間に使えるなら必要。
- 必要ならば導入したほうがよいと思います。
- 体力低下はあるかもしれないけど1時間以上等はバスを使うべき
- いまの現状を考えてもスクールバスを利用し安全に登下校してもらいたいが、その分体力の低下がないよう対応してほしい
- 学校統合によって徒歩40分以上になる小学生はスクールバスが必要だと思う。中学生は自転車のみで良い。高校生になると自転車で遠方の高校に通う子もいるので習慣付けとして。
- aとbの間 積極的にというわけではないが、子どもの体力と安全面を考えての検討が必要
- 小学校では、安全第一でスクールバスの導入を検討すべきだと考えるが、中学校では体力や判断力がついていて、自転車も利用できること、課外活動等考慮してスクールバスの導入が必要とは考えない。
- 遠い方のみスクールバス利用
- スクールバスは希望者のみでいいと思う。自家用車で送っていくのもいいかと。仕事としていくと難しいが、下校は学童のバスが安全だし助かるが、人数で落とされてしまったりする。学校の中に作るなど学童を充実してほしい。
- 質問の場合のみ積極的な利用を推奨
- 小学生はスクールバス、中学生は自転車で良いと思います
- 登校が徒歩30分以上かかる場合は、昔と違って以上な夏の猛暑、帰り道一人になる。冬など特に暗くなってしまう。結局、一番暑い時間に帰ってくる時気温が高い日は、迎えに行く事が多いです。置き勉強は、少なくランドセルは重く、月曜セット、それプラス提出物や絵の具など重なると、低学年は大変。徒歩で近くならまだしも、40分持って歩いているのは大変です。大人が持っても大変です！遠い学区の子にはスクールバスがあるといいなとずっと思っている。
- 小学生はスクールバスを導入し、中学生は自転車で良いと思う
- 小学生にはスクールバスは必要だと思うけど、中学生には部活動などの制限があって難しいと思う。けど、必要な人が利用できるように導入できるならした方が良く思う。
- 希望者のみでいいと思います。送迎をする家庭もあると思うので。
- 学校統合が本当に有効か、よく議論してもらいたい。
- 遠方からの通学には積極的に導入するのが良いが、各家庭の希望により利用可否を検討するのが望ましい
- 自家用車送迎したい
- 統合し距離が発生してしまったら小学生バスがほしい。中学生は自転車があるので無くてもと思う
- スクールバスでの登校を希望する家庭に対応していけばいいと思います。距離はあるが人通りがあり、道路が整備されていて安全性が高い場合一律にバスでの登校にしなくても良い場合もあると思います。
- 安全第一

- 現在通学距離が片道約 3.3km あります。10 月にもなると下校から自宅に到着するまでには真っ暗です。学校より近距離であれば明るいうちに帰宅でき、スクールバスの導入などは考えられないかと思いますが歩道もなくただ人ひとりが通れるかどうかの白線のみ(もちろんガードレールも無し)で街灯も乏しいなら人数が減っている事も考え、必要になるのではないかと思います。
- b に近いですが、安全を考え、班をくめないのであればスクールバスも検討。
- 遠方はスクールバスが必要だと思う。クラブ活動や部活動は行えるように運行してもらいたい。
- 安全が確保されるとは思わないため、スクールバス導入は難しいと思う。
- 日没後の帰宅時の安全確保が可能であるならば、必ずしもバスの必要性はない
- 距離によってはスクールバスは必要かと思うが、費用や本数などよく検討する必要があると思う。
- 日本のバス通学環境の整備がなされてないと感じるので前向きではない。
- 遠隔通学となる小学生にはスクールバスが必要。スクールバスだけでなく、親による送迎も同時に許可することで、家庭負担やインフラ活用の負担軽減ができると思う。ケースバイケースで例外を増やす勇気が必要。規則を作り過ぎないこと
- 積極的に検討してほしいが、子どもがバス内に取り残される事故が散見されるため人的リソースなどをしっかり考慮の上、導入してほしい。
- バスはいいが徹底した管理が必要
- バス内へ取り残される事故などが相次いでいるので心配
- スクールバスの導入は進めてほしいが、運転手の運転歴(例 10 年以上)、年齢制限(例 60 歳まで)、資質など厳しく条件をつけて欲しい。車内には防犯カメラも必要。かかる費用は補助含め保護者負担も必要と考える。
- 教科書が重く体への負担が大きいためバスか自転車通学ができると良い
- 通学距離が長くなった場合、低学年は厳しいと思うのでスクールバスを導入してもいいような気がします。しかし、歩く時間が短くなると確かに体力低下が気になるのでなんとも言えません。
- 車内に置いてけぼりになるなどのトラブルが絶対に起きないシステムが構築されてからなら有り
- 仁手、藤田小の統合なら、スクールバスがあれば保護者はありがたいと思う。中学校は、東中が統合されて西中に行くとしても(その逆でも)、通学時間は自転車で 1 時間圏内と思われるので、スクールバスは必要ないと思う。
- 小学生は、通学時間、距離により、スクールバスの利用を検討し、中学生は回答 c
- あまりにも遠いと体への負担が心配なので(荷物の重さ)場所により検討した方が良いと思う。部活動などで遅くなる場合は変質者の遭遇などが心配。ただ、放課後に友達と過ごす時間の楽しさも知っているのでなんとも言えないのが現状
- 小学校のバス導入は賛成。クラブ活動など下校時間にバラつきがあるので、朝だけの導入も検討してみてもどうか。
- スクールバスとした場合。帰りの学童までの送迎などフレキシブルな対応が必要かと思う。

- 学校統合を行わなくてもスクールバスを検討すべき。現在の環境は昔と大きく変わり、夏場では登下校時は酷暑にも関わらず、1年生の足では6年生のペースについていけず、早歩き時には小走りで毎日25分かけて登校しております。それだけでなく子供の連れ去りや交通事故で問題にもなっています。通学時間や距離に関わらず、スクールバスを導入して欲しいです。それに掛かる費用はいくらでも負担したいと考えます。
- 統合には反対なのでスクールバスは必要ないと考えています
- 私の家は通学が遠いのでとても心配なので、スクールバスはありがたいが、臨機応変にできるといいと思う。
- バス置き去りや駐車場事故なども考慮したうえであれば、検討する価値があると考えます。
- 中学は希望者自転車OKにして
- スクールバスでの安全面が明確であれば検討有。事故などの心配があります。
- スクールバスの導入も視野にいれつつ、学校ごとに柔軟に検討してほしい。
- スクールバス停を設置し、時間内に来た児童を送迎するようにすれば、歩きたい人(歩かせたい人)は歩き、安全第一であれば、乗せるなどでもいいかと思いました。範囲限定など。
- bの懸念の理由はわかります。この問題に直面したときに柔軟に対応してもらいたいです。
- 統合などで学校が遠くなるなら、スクールバスは必要だと思いますが、毎日の登校での体力作りも大切だと思うので、両方が両立できることが必要だと思う。
- aに近いのですが、積極的にというのが考えと違います。自宅から学校までの距離が遠くなるなら、検討せざるを得ないかなと思います。
- 必要な地域はあるかもしれないので、その場合は検討すべき
- 遠い子供は大変だからバスを使えるなら使えばいい
- 家から学校が近い子は体力維持なども考えて歩いて、夏場熱中症になりそうな家の距離の子はスクールバスを検討するのもよいのではないのでしょうか。
- 各家庭の意思でバス利用するか否を決められたらいい。
- スクールバスを導入したら安全に気を付けてほしい
- 30分以上かかる地域に限っては、バスはいいと思う。夏がかわいそう。
- バスの乗車、下車(バス停)の場所による。
- 必要な生徒には検討すべきだと思う。
- その時の時間に合わせれば良いと思う。
- 親の送り迎え
- スクールバスも取り残されたら危険。ただ猛暑日が増えてきたら熱中症対策にはなると思う。携帯電話を持たせればスクールバスでも取り残されても対応できる。熱中症対策で日傘を推奨すべきだ。
- AI自動運転のバスを検討してほしい。
- 通学路の安全対策を充実させるべきである。
- 人数や各家庭の状況によりあってもなくても良いと思う。
- 地球温暖化もあり昔とは比べものにならない気温になったりするのでスクールバスの導入を積極的に検討すべきだと思う。親の送迎もありにしてほしい。

- 事故などがあってからでは遅いが、そのような事に対する対応、課題がある中でもやってみないと分からないからやってみてほしい。
- dに近い考えだが市の財政を圧迫しない程度にしてほしい。
- 費用、安全性など様々な面から検証し、慎重に検討。
- 徒歩や自転車通学の許容範囲を超えた場合に限りスクールバスの利用を考慮すべき。
- 遠い場合は必要だと思います。一人で自宅まで歩くのは危ないのでは？
- スクールバスを導入したとして安全が確保される保証はありますか。
- 帰りは学童に預けているため、朝はスクールバス、帰りは乗らない等、臨機応変に対応する検討をしてほしい。その際、乗り忘れが生じない様、人数把握もきちんと取り組んでほしい。
- 暑い時期だけでもスクールバスが導入されると良いと思う。日傘だと荷物が多くなり手も塞がるので。
- 低学年の子や遠くて通学が大変な子にはスクールバスなどを導入するか、自転車での通学の選択ができると良いと思います。
- スクールバスは必要と思う。クラブ活動、部活動も制限されないよう、運用方法に工夫が必要とも思う。
- 各家庭の送迎も含めて検討したほうが良いと思う。
- ただし中学生は自転車使用するので不要。小学生も特定のポイントで降車させ一定の距離は歩くと同時配車の効率
- 地域全体で子供たちを見守るという意識が薄れてしまう気がするため。スクールバスの導入には慎重になるべき。
- スクールバスがあれば便利だが、利用することしない子の差が生じる。徒歩での通学が可能かどうかなど。

#### 【教員】

- 通学時間が片道 30 分以上かかる児童生徒が多数見られるような場合はスクールバスを積極的に導入することを検討すべき
- 部活動も考慮してスクールバスを検討すべき
- 夏場の暑い時は対応をした方が良い。それ以外は徒歩でよいのでは。
- 通学時間、安全を考慮して、要望に応じて積極導入すべき
- 低学年はバス、高学年は自転車や徒歩
- b(体力低下の懸念があるため必要ない)が大事だと思うが、状況により a(スクールバスの積極導入)も必要です。
- これについて、遠い子は指定場所でバスに乗り、近場(学区内)の子は歩いて登校にし、みんな歩くことは確保したほうが良いと思います。
- 通学路の人通りや明るさなども考えて検討すべきだと思います。
- スクールバスの導入より、隣の学校のほうが通学距離が短いこともあるので、学区や学校の選択(区域外通学など)できるといい。
- 複数便設定できるなら、スクールバスの導入もよい。
- 一律に地区でくぎるのではなく、選択制にしたり予約制にしたり柔軟性を持たせることが必要

と思います。

- スクールバスは特に小学校に導入(中学は自転車があるので)

## 5.自由意見（適正規模・適正配置に関する意見のみ一部抜粋）

### 【保護者】

#### ①本庄東小学校

- 学校の規模に関わらず、通学路も含め、子供が安全に勉強できる環境作りが大切だと思います。
- 人数が減っても、行事などはやめたりせず、おこなってほしい。細やかな指導をお願いします。
- 昔のような気候ではない事、道路環境の面、事件等の面からも通学時間に関わらず、スクールバスを導入すべきだと思う。
- 1クラスの人数についても考慮してほしい。
- 登校や下校で少人数で歩いている子が気になります。登校班は全学年一緒だけど、下校半は同じ学年のみなので。小さな子が大通り歩いていると心配です。下校も同じ時間帯に帰るなら、他の学年と一緒に集団下校の方が良いのかなと思います。それでも事故は心配ですが、下校時もシルバーの方のパトロールが増えるといいなと思います。仕事をしている親も多いと思うので。
- 限りある優秀な教員のリソースを配分する方向で進めてほしいです。学校数は過去に新設した理屈と同じく、子供の数に応じて変化することが必要と考えます。大変な作業と思いますが今のうちに計画していただきたくよろしくお願いします。
- ・学校統合に関わらず通学区の見直しはすべきではないか？中学生の先生の配属は教科だけでなく、部活のことも考慮して配属を検討して欲しい
- 子どもの安全が第一で又送迎は親の義務と思う。であるなら通学班は不要になるかと。スクールバスは全額ではなくても自己負担は必要と考えます。
- 統合を進めて、統合された施設をもっと整備すべき。建て替えた新しい施設と古い施設の差が激しすぎる(東中 vs 西中等)
- 初めて小学校に通い始める1年生は親子ともに心配な面が多いと感じた。1年生には学校のシステムに慣れるためにも親子ともに手厚い対応、配慮も初めは必要と感じるところがある。少子化とは言え、職員の仕事量が増えているから手厚い指導ができないのであれば、職員を増やす又はクラスを増やし各クラスのこどもの人数を減らすのも良いと感じた。
- 通学路の交通量が多く、距離も長いので、昨今の異常気象を鑑みても歩きでの通学に不安を感じます。
- 地域によって、児童人数にかなりの差が出てしまっていますが、各学校の特色を活かして行ければ良いと思います。市内での学区外登校も出来たらとも思います。
- 子供の安全を第一に考えて頂きたいです。
- 根本的になぜ子供が減ったのかも議論した上で、学校の統合が正しい方法なのかを議論しなければならぬと思う。
- これから通う小学校まで距離があるため、バス通学は賛成です。その際バスでの事故が起こらないようカリキュラム、マニュアル等しっかりと作成、実施していただきたいです。国道沿いを通学路として使うと聞きました。交通量があるのでできれば避けた方がいいかと思います。
- 学級数が多い学校も少ない学校もそれぞれ良さがある。学区を廃止し、学校を自由に選択出来ても良いと思う。スクールバスについては導入賛成。但し、昨今のスクールバスでの事故は

大変痛ましく残念に思う。安全性を確保した上での導入を求む。

- 学校によって1クラスの人数が違いすぎる。それに伴い学力の差が凄くある。先生の指導も多い学校少ない学校で全然違っている。人数が多い学校は1学級の生徒数を少ない学校と同じにして欲しいです。
- 少人数の学校は先生の指導が行き届きそうで羨ましく思いますが、子ども達の関係が悪化した時などはクラス替えが出来る方がいいと思います。仁手小を選ぶ事もできますが、送迎を考えると難しいです。東中学区であれば、積極的にスクールバスの検討をして藤田小、仁手小の合併は急務だと思っています。無理だとは思いますが、合併により余剰になった教諭は大規模校配置転換して頂き、30人学級になると嬉しく思います。
- 東小学校の人数が学年によっては多いと思うので、仁手小学校の学区を少し広げた方が良くと思います。選択制だと、なかなか仁手小学校を選ぶ人は少ないと思います。低学年の場合は、先生方も生徒を見るのがとても大変だと思いますし、先生が大変になると、その皺寄せが何らかの形で生徒たちに行くと思いますので…。特に1年生は、まだまだ幼く注意深く見守り必要な時にはサポートすることが必要だと思います。先生方はよく見てくださっていますが、何かを犠牲にされているのではと心配です。先生と生徒が過ごしやすい学校を作るためにも、是非ご検討をよろしく願います。
- 現実的に今の先生の能力では一クラスの人数は25以下がベストのような感じがします。30人を超えると今の子供は制御できないと思います。昔とは違いますから。来年からは4クラスを希望します。
- 学習能力や身体能力の低下などコロナ禍が続く事で心配事は増える一方ですが、まずは登下校中の安全確保が第一だと思います。交通違反車や不審者から守る為にも登下校にかかる時間は長くない方がいいと思います。
- どんな事も大人の都合ではなく、子供第一で考えて決めて欲しいです。
- 東小についてですが、人数が多い学校で1クラスの児童数が多く、1年生3クラスで35人学級です。先生の目が行き届きにくく心配です。学年が上がれば40人学級も当たり前で、体も成長しクラスぎゅうぎゅうに着席させられていて授業参観でびっくりしました。聞いた話では、例えば藤田で1クラス10人代、旭でも2クラス20人ずつ程度と、こどもたちに目が行き届きやすい環境で羨ましく思います。人数の多い学校に在籍するのは、弊害が大きく不公平感を強く感じています。
- 周囲に子供がおらず、来年度から入学予定だが、通学が心配である。また、子供が減少することによって都市部の教育格差が広がるのではないかと懸念している。学校は子供だけの場所ではないと思うため(地域のコミュニティ形成も担う場)統合(廃校)は非常に慎重になるべきである。
- 統合が進むと現在の法規では教職員の数は減る一方で負担軽減を言われている中ではさらに負担が増えると思います。この問題は本庄市にかかわらず全国的な問題でもあるので教職員の配置について法律を変更することが大きな課題の一つではないかと思います。
- 安心安全に学校へ通えるように考えていただきたい。
- 中学生になったら、自転車で通えるようにしてほしい。
- 学区が決まった当時より交通状況や道路の状況が変わってきているのに、学区は以前とかわ

らないまま自由な選択肢もないままということに疑問を持っています。1学年1クラスは先生の目が行き届いてよいという話もありますが、もしいじめなどが起きた場合に、小学校を卒業するまでその問題をかかえることになるかもしれません。今は申請を出して学区外の学校に通学させていますが、より柔軟な対応(通学時間通学距離)で通う学校を個人で決められたらいいです。

- ほかの市町村、または他国のよいところは積極的に取り入れ、子供たちのことを本当に大切と考えているなら、本庄市の行政に携わる人間が真剣に取り組むべきだと思っています。
- 東小は1クラスの人数が多く、高学年になればなるほど体も大きくなるし、窮屈そうに過ごしていると聞きます。感染症対策の為に、子供たちがのびのびと過ごせるためにも、1クラスの人数にゆとりをもって作ってほしいなあと思います。
- 子供たちが事故に巻き込まれたり、犯罪など(不審者や付きまとい等)も頻繁に起きてしまう世の中になってきているし、夏の暑さは異常です。海外(アメリカなど)では、スクールバスが当たり前ですし、親の送迎も当たり前です。子供たちの体力低下などと言っていますが、学校の体育やカリキュラムで賄えると思いますが、、子供たちの安全が第一です。
- ある程度の人数がいらないといろいろな面で偏ったり視野が狭くなる気がする。
- 学校単位ではなく、市単位にして考えるべき。クラスの数ではなく、クラス的人数が均等になるようにしてほしい。現段階でも学力の差は明らかで、学区による振り分け方には疑問を感じます。統合する前に今の1クラスあたりの人数の学校による違いを見直すべきだと思う。
- 1学年は2~3学級程度あるとよいと思いますが、1学級の人数は15~20人程度が良いと思います。
- 少子化による子供の減少による学校の統合は避けられなくなる課題だと思います。通学に時間がかかる子供達にはスクールバスなどの選択ができる環境を作ってあげる施策などを考えておくべきだと思います。また、少子化対策を、市、県、国みんなで考え、より良い施策作りを真剣に行っていくべきだと思います。子供たちは国の宝です。
- 1学年75人を超えていたら、3学級にした頂きたい思いはあります。2学級だと1学級37~38名で教室もギュウギュウだと思います。担任の先生の負担も多少あると思います。先生的人数が不足している現状も理解していますので、無理なく可能であればの希望です。
- スクールバスをもし導入する場合、家庭に費用負担が少ない形でお願いしたいです。(現在も教材やPTAの集金がある度、義務教育は無償にしてほしいと思っています)※給食費は家にいたとしても食事はするので集金はやむなしだと思います。
- 通学班で6年生についていけずおいて行かれる(50メートルぐらい)ことがあるようですので、体力のない低学年はスクールバスなど考えてもよいのではないかと思います。
- 現状の東小の配置には満足していますが、実際に対象学校となった場合、考え方もアンケートのようではなく変わっていくと思います。検討段階に入った際、保護者参加型で積極的に説明会等開いてほしいです。
- 常に、検討・議論を行うようにしたほうが良い。先生方の負荷の軽減もでき、教育に注力できる体制を望む。
- 学校の統合が考えられ、スクールバスなど検討されていても、第一に子供たちの安全が守られるよう、柔軟に対応してほしいと思います。



- 統合には賛成です。施設料などもかかるので、統合して教員の労力を分散させ、教育に時間を費やしてほしい。スクールバスがあれば問題ないと思う。
- 見守りなどの子供たちが安全安心で帰宅できるようなことがもっとあったらいいなと思います。最近マチコミメールにて不審者の情報が多い気がします。
- 1クラスの人数が多いので、もう少しゆとりがあればありがたいなと思います。
- 深谷市熊谷氏は小学校の中に学童がついているのが当たり前で本庄市は無いと深谷市、熊谷市の友人に話すととても驚かれます。子供の帰宅、学童までの歩いたりすることを考えると、本庄市の学童の取り組みはほかの市と比べてとても遅れをとっていると感じます。本庄東町学区区域の学童の受け入れの少なさもとても不満です。
- 子供の人数が減っても、子供の考える力など危険を察知する力など、低下していると思う。パソコンやプログラミングを教えるだけでは全然ダメだと思います。その足りないところをぜひ先生たちに指導をお願いしたいです。バスのことは教科書を置き勉にしてもまだまだ荷物はあるし、危険な運転の人もいるし、車社会なので必要だと思います。

## ②本庄西小学校

- 夏場の気候等、昔とだいぶ変化した。通学時にもう少し臨機応変に対応できるようにしてほしい。
- 学校統合になったら、支援学級はどのようになるのかが気になります。その事についての質問がないのも気になりますが、学校は支援学級の事をどのような意図で設置しているのか、支援学級はお荷物扱いのように感じてしまいました。同じ学校に通っていても扱いがこういったアンケートでも出てしまう事にもう少し問題視していただきたいです。むしろ、小中学校の支援学級にもっと専門知識の持った職員を配属してください。
- 統合の前に学区の見直しも考慮してもいいのかなと思う。友人は通学時間が1時間かかると言っていたので、線路を超えて近い学校も選べたらと思った。統合することによって通学時間が増えたりするのは夏の暑い日子供達には過酷すぎるので、慎重に決めて欲しいと思う。また統合することによって、運動会や参観日の行事に車で行く人が増えるので、駐車場を整備して欲しい。
- 少子化対策に取り組み、本当は児童の数を増やす方向で考えた方が良くと思います。
- 今回のアンケートは、適正規模と適正配置とのことでしたが、その解決策は学校統合しかないのでしょうか？ 県北地域で唯一住民増加している本庄市。時代は待つことなく変わっていく中で、前例慣習みたいなことで、将来の本庄市像は大丈夫ですか？
- 通学区を見直すべきではないか。低学年の子供が荷物を沢山持ちながら、30分もかけて通学するのは酷では？
- 少子化の為、子供の人数は減っているとは思いますが、安易に統合やらスクールバスの考えはどうかと思います。統合すれば、先生1人が見る生徒は増えてしまいますし、先生の負担、子供の負担が増えるように思います。
- 児童数が少なくても多くても、それぞれ良さはあると思う
- 空き教室を学童保育としての活用を検討してほしいです。
- 我が子達は30名以下の学級児童数(先生の目が届き易くて良いと思います)、徒歩通学で

20分程度の距離(子供には、妥当な距離だと思います)と、教育環境に恵まれております。後に続く子供さん達にも、出来るだけ良い教育諸環境が確保・提供される様に関係各位様には、より一層の尽力をお願いしたいと思います。

- スクールバスは前にも意見しましたが私自身の考えは、新しく統合されてきた側の子供を優先的にし、環境の変わらない子供達は今まで通りの通学でいいのではと思います。ただ、場所によっては今の通学区より替わった学校の方が近距離ということもあるかもしれません。その場合は、半径何km以内は徒歩とかはっきりとした線引きも必要かと思います。あとは通学班編成に支障がある場合等もバス利用可能な方が安心出来ます。最後にもうひとつ。廃校の場合、その生徒は基本皆同一校への統合にしてあげてほしいです。個別対応は必要でしょうが、一人だけ転校みたいなのは無いようにしてほしいです。以上、色々書いてすみませんでした。学校運営は難しい事業だと思います。親である私達も他人事でなくしっかり考え、参加しなくてはと思います。子供達をよろしく願います。
- 通学路においては、できる限りガードレールなどの設置をお願いします。また、学校内の設備老朽など環境の保全をお願いします。
- 異常気象や、不審者対策にも スクールバスは、不可欠だと思う
- 人間関係を作る上で2~3学級はあるといいと思いますが、1クラスの人数も重要かと考えます。あまり人数が多いと、個に応じた指導は難しいのだと思います。
- スクールバスはあってもよいと思う。ランドセルは昔と比べて持ち物が多くてとても重いし大変である。月曜日の持ち物が多すぎて本当にかわいそう。
- 安心安全に通学でき、相談したり質問できる人間関係が築ける環境を一番に考えております。通学に関しては時間をかけた通学は学習にも安全にもよくないと考えていますので、30分以上は中学生未満には厳しいと考えています。スクールバスは長時間徒歩、自転車の通学より良いと思っていますが、バス通学のお子さんが周りにいないのでわかりません。生き生きと自分らしく学校生活を送ってほしいと考えています。
- 1学年の学級数ではなく、先生の目の届く人数が重要だと思います。今はいろんな病気や精神疾患を持っている子も多く、また様々な環境で育っている子で心が落ち着かない子など多様な中、一人の先生で見るのは大変だと思います。補助員さんやサポート役、学習のレベルに合わせた教科別のクラス、生活面のクラスと、学習面のクラスがあってもいいのかと思いました。相談室の存在も大きいと思います。

### ③藤田小学校

- 統合するとなればスクールバス導入はやむを得ないと思いますが、運動量の低下や肥満の子どもも増える懸念があるので、この懸念を解消できるような取組も考えてほしい。
- 通学時間1時間以内と国が決めているが、夏の暑い日に1時間もヘルメットで日陰なし炎天下で歩かせて熱中症などになったら市は責任とってくれるのかってこと!!そこまで考えて統合検討して欲しい。
- 子ども達が安全に通えるよう積極的にスクールバスを導入してほしい。学校以外の子ども達の時間(遊び、習い事、自主学習)に考慮し、宿題の量を減らしたり、学校統合や交流の機会を持ってほしい。

- 小学生にとって、歩いての登下校は体力向上に一役かっていると思います。統合は仕方のないことですが、親が送迎するのは負担が大きく、スクールバスの導入は致し方のないことですが、子供達の貴重な体力向上機会も考慮してほしいです。現在、単学級の学校で、14名のクラスですが、先生が目がいきとどいている感じがして、とても安心しています。生徒の人数に比例し、教員の人数もきちんと確保してほしいです。余剰な教員を配備し、一人一人が目がいきとどき、安心して通わせられる環境を作っていただきたいです。
- 子どもたちがどうありたいかも大切だと思います。親の判断だけでなく子どもの意見も反映させてあげられたらいいです。
- 統合にあたり、使われなくなった学校は民間資本により利活用を進めるべきだと思います。そのままにしておけば、なにも生み出しませんが、民間活用で資本をつくり、いずれ学校を解体するときの費用に充てるなど、経営視点を入れて税金の使い道まで考えてほしいです。
- 1学年15人以上いれば、1学級でも仲が深まるので問題ないかなと感じています。縦の関係があるので不安はありません。ただ、10人以下になると、社会性を身につけるのが難しかったりするのかなと個人的に思っています。スポーツなど運動会を楽しむにも20人以上がいいです。
- 昔と比べると気候も変わり、暑さ寒さも厳しくなっていると思います。マスクの使用もあるので、通学や体育などは無理のないように時間や空調など考慮されていくことを願います。
- 現在藤田小学校は1学年1学級となっています。先生方も一人一人よく見てくださっており、学校行事等で一人一人の活躍の場も増えて、とても良い経験ができています。とても素敵な学校です。藤田小学校の存続を願います。1学級あたりの人数を20名程度とし、2学級に増やすことができれば、より多くの友人と競い合い、学びあうことによりさらに素敵な学びの場になるのではないかと思います。
- 少子化に伴い統合や学区整理はあったほうが良いと思います。統合などで友人が増えたり出合いが多いのもいいことだともいますが、放課後に子供たちが安心して遊べる場所(自転車などで行けて)を残してほしいと思う。特に藤田、仁手、旭地区などは、子供が集まって遊べる場所が少なすぎる。統合後も小学校の建物などはグラウンドだけでも子供が集まれる場所として残してもらえることを要望します。
- 子供の人数が少なすぎると学校行事(運動会など)が小さいものになってしまうので、小学校でしかできないことが不十分になると思います。遠足や修学旅行などの一人当たりの費用も少ない人数だとその分負担が大きいので、ある程度人数はいたほうが良いと思います。
- スクールバスを導入して学区の再編成。併せて中高一貫校の検討。教材・備品の複数校共有(教育委員会からの貸し出しなど)
- できれば、住んでいる地区の学校に通って地域になじんでいってほしい。大人になって地域の為に活動してくれたらいいなと思います。

#### ④仁手小学校

- 根本的な問題としては少子化。特に市の中心部以外の地域から若い世代が流出していく一方では、現状の学校規模を維持していくのは難しい。学級数が特に減少している学区への転居者に住居斡旋や補助金など、市外から子育て世代を積極的に呼び込むような大胆な政策を実

行することも必要なのではないでしょうか。地域の将来への投資とも考え検討して欲しい。

- 通学にかかる時間が長すぎる。通学班登校は時代遅れ。親が送れる場合なら積極的に送り迎えをするべき。いつまでも日本は安全な国だと思わないほうがいい。1クラス 20 人程であれば、先生の目も行き届く。教員の負担が多すぎる。
- 人数が減っていくのは仕方のないことかもしれないけれど、複式学級にするのには抵抗がある。どうしても学力に遅れや差が出ると思う。複式にするのであれば、主要教科は学年別の授業にするか、その学年だけ他の学校と統合するなど、とにかく学びの面をしっかりと配慮してほしい。
- 私の子供はすでに 1 学級 20 人にもならない学校に通っています。人数が少ないからこそそのメリットもありますが、やはり人間関係を学んだり人との競い合いで学ぶというのは難しいのではないかと思います。

#### ⑤旭小学校

- きれいな設備にしてほしい。
- 集団登校をしても、車で送る保護者が多いので個人登校になってしまう事がほとんどです。通学路の交通量が多い時間は横断するのが難しい事もありますので、手押し信号を付けていただけたら子供達も安心して学校に通う事が出来ると思います。またコロナ対策で行事が減ってしまっていますが、卒業してしまう学年には行事を優先してもらえると思い出にもなりますのでいいと思います。
- スクールバスについて、学校統合に伴い導入の検討していただきけるのはありがたい一方、幼稚園バスの交通事故やスクールバスを待っている間に児童が不審者に襲撃されたニュースを見ると心配になります。
- 登下校の心配は、現在でもあります。通学にかかる時間、炎天下や高温での熱中症の心配、安全面など、スクールバスの導入は、現段階でも検討していただきたいです。車での送迎を可とするなど、いまの時代にあった方法を選択出来れば、児童生徒減少があっても、選択肢が広がるかと思います。
- 少子化なので、学校統合を積極的に進めてほしい。
- 下校時の危険な交差点の誘導はボランティアの方々が行っていますが、予め予定を立てるなどして親が持ち回りで行うべきと思います。
- 主要 5 教科は少人数クラスで対応してほしい。
- 先生方の負担が多く、1学級の人数に関しては余裕を持って対応出来る人数を検討して頂きたい。
- まず、このようなアンケートの実施をしていただきありがとうございます。コロナもあり、保護者として意見を述べる機会が少なかったので有り難く思います。保護者・生徒の数だけ意見が出ます。しかし、現状維持だけはやめて頂きたいものです。時代は変化しています。これからも変化します。その中で学校のあり方や教育も変化するべきだと思います。行政や先生方のことは良くわかりませんが、子供の成長を第一優先に考えて頂いた変化であれば、親は出来るだけ理解し協力いたします。このような議論が活発に行われることは、親としても子供にとって何が良いのか、教育とは何かを考えさせられて、大変良いと感じます。ご苦勞があると思いますが、期待しています。

- 特に安全面を気にしています。世の中物騒ですので通勤距離をなるべく短くか、またはスクールバスがあると本当に安心します。
- どのような理由であれ、基本的に学校統合には賛成です。教職員数との兼ね合いで決めても良いと思います。
- 学校は、周囲に迷惑がかからないよう常に対応、対処して頭が下がります。でも、あっちもこっちも制限がついてくると雁字搦めになりますので、つまらない学校にはならないでほしいです。
- なるべく変更しないよう努力をお願いします。
- 全学年1学級になる可能性が出てきた場合には、スクールバス等活用して統合を検討する必要があると思います。
- 今通学路とても心配です。道路を広げている工事があり、先々考えると事故が起こる危険性があります。歩道をもう少し市の方で考えて頂きたい。
- 問9のスクールバスについてです。安全に通えるためもありますが、登下校中は先生や親の目がない為いじめもあると聞いています。ランドセルを駆られる、穴に落とされるなど。スクールバスになればその様なことも起きないと思います。体力がなくなるに関しては、朝、走ったり縄跳びをしたりすれば問題はないのではと思います。そもそも家が近い子は体力がないのかということそんなことはないのではないのでしょうか。
- たかが道路1本を隔てただけで小規模校と大人数の学校があります。なんでここがこの学区なの？と思う事もあります。学区の見直しをした方が良いと思います。通学時間にも差が出すぎだと思えます。
- 学校統合は人数が少ない場合希望しますが、統合すると環境も変わってくるので、子供たちのことを考え、どのタイミングがベストなのかよく考えたうえで行っていただきたい。一番は子供たちが楽しい学校生活を送っていただけることを願っています。
- 学校の今後の在り方も大事だが、それ以前の問題である少子化についての対策にもっと力を入れて考えてほしい。
- 統合すれば今より通学にかかる時間が減ったりとメリットも生まれる。学区で縛らなくてもいいと思う。夏場など、危険指数の日も多い環境の中でバス導入もいいと思う。子育てしやすい市にすれば、少子化対策になるはず。減らさないための対策。
- 子供が毎日安全に学校に通えることが一番望ましい。
- 学区内外、関係なしに学校が選べるとよい。
- 学校統合は考えていかななくてはと思いますが、既に我が家は30分を超える距離を登校しています。昨今の以上気象、また不審者への不安などから早急にスクールバス導入について活発な議論を望みます。重いランドセル、それに加えて様々な道具、子どもは毎日くたくたで疲れ切っています。
- ランドセルの中身をもう少し減らせないでしょうか。あの重さはかわいそう。それがあから問8で[A]を選んだのであって、あの重さがなければ、通学時間は30分でもいいと思う。
- なるべく家の近くの小学校に通学するのが望ましいです。もし統合するなら長期でお知らせは必要だと思います。本庄市の中でさえ、それぞれの地域で若干でも考え方は異なります。旭小の児童と、西小の児童が本庄西中学校で出会ってからなじむまでには、一定期間かかるとい

う話は自分自身もそうだったと記憶しているし、現在も同じようだと聞いたことがあります。居住は子供の意思ではないし、親が小規模の学校の近くがいいと思い住んでいることもあるので、単純に人数がすくなくなってきたから、多いところと一緒にしてしまおうと考えるほうがいいです。

- 学校統合に限らず、登下校の見守りが難しくなっている現状(親の共働きなど)で昔ながらの対応は早急に見直し、検討していただきたい。場合によっては、スクールバスの導入は積極的に検討して頂きたいと思う。生活様式がだいぶ変わったのに学校の PTA 活動などは昔ながらでは、ずれが生じてしまうと考えます。
- 通学路などの事故(犯罪)のニュースが増えています。できるだけ子供だけで歩く距離は短いほうが心配がなくてよいです。新しい 17 号の工事などが心配です(通学路なので…)

#### ⑥北泉小学校

- 我が子の通う学校は特にそのような心配が今のところ少ないので、具体的に考えたことはありませんでした。北小は学区が広いように思うので、周りとのバランスを見ながら近々見直しが必要なのでは、と感じています。
- 人数が多くて教室がぎゅうぎゅう詰めになっている現状を懸念している。仁手小学校の少人数学級の取り組みは、子供が嫌がる(友達と離れるのが嫌)ので、その選択はない。
- 先生方の多忙さを感じます。教職員数を増やすなどして、改善を図ってほしいです。望ましい学級数については、小学校と中学校では違うと思います。小学校なら3学級程度が望ましいですが、中学校なら、学習面、部活動面の切磋琢磨も考え、4 学級以上あった方がよいと思います。
- 先生方が子どもを指導しやすい環境を整える結果が、統合や現状維持ならば、賛成です。
- 1 クラスの生徒が多く、教室が狭くなっている状況がありますので、1 クラスの生徒数をもう少し少なくしていただけると良いと思います。
- 子供が楽しく安全に通えれば良いと思う。
- 我が家から学校まで2キロ以上あります。マチコミでの不審者情報やゲリラ豪雨、気温が高い日は、下校に不安なことが多く感じられます。子供の対応能力も心配です。スクールバスの検討も必要ですが、下校時の見回りも増やして欲しい。ただ、仕事をしている家庭も多く、家庭への負担も多い。
- 児童生徒数が減った場合、統合ではなく、少人数で教育できる環境を整えた方がよいと思います。
- 少子化の中でも、子供の数が増えている学校もあります。中学年になると学級数が減らされ、1 クラスの人数が増えます。教室は手狭で、学用品を置くスペースもないです。1 クラスの人数を減らし、一人一人に行き届いた教育を実施して欲しいです。
- 通学路の安全性の見直しをしてほしい。
- 教育行政について、このアンケートのように積極的に保護者の意見をきいて検討していただきたいです。
- 学校のことも大切だと思いますが、放課後に通う学童の充実を希望します。すべての学校は難しくても、人数が増えている学校には、公立の学童が必要だと考えます。

- 安心できて通学できる環境が、第一優先であるべき。と考えます。効率を考えて統合した場合、遠い地域のケアは、セットで検討をお願いします
- 複式学級は、低学年のうちは問題ないかもしれませんが、高学年では厳しいような気がします。(受験する子も出てきますし)徒歩による通学も、低学年と高学年では身体的な負担が違いますし、小学生をひとまとめに考えずにもう少しきめ細やかな配慮がなされると良いのかと思います。
- 時代が変われば、学習の方法が変わるとともに、学校という場も変わって当然だと思う。慎重に検討し、長く定着出来るような形が見つかることを願っております。
- 学校まで2キロ近く離れたところに住んでいます。登校はまだ、人数がいるのでいいのですが、下校は最後1人になってしまい安全ではありません。また、夏は暑い上にヘルメットを被っており熱中症が心配です。スクールバス賛成です。ですが、最近のニュースでバスの中に子供を置き去りにする事故があったと報道がありました。運転手は年齢制限をかけて欲しいです。
- 子供にとって環境の変化は大きく、大事な事だと思います。大人の事情もあるかと思いますが、子供の意見をよく聞き、考えていくのがこれからも大切であるかと思っています。
- なにより子供の安全を重視してほしい。今の規定では1学級の人数が多く感じる。
- 少子化が進んだとしても外部から見ても魅力的な教育や子どもへの支援を充実させて欲しい。そしてまずは少子化への対策も積極的に行って欲しい。
- スクールバスの導入希望。
- 児童が安全にまた安心して通える環境を整えていきたい。現状はできていると思いますので、継続して頂けたら幸いです。
- 統合のこともそうですが、クラス全体規定人数も見直す必要があるのではないのでしょうか。人数が多いクラス、少ないクラスにより学力に差が出てしまわないかと思っています。そちらも、どうしていくべきかを考えていただけたらと思います。統合する事には、反対ではないですが少なくなってしまった地域の人の意見は尊重して進めて行って欲しいと思います。安易に、人数が少ないからという観点で決めないで欲しいと思います。
- 統合の言葉のイメージが、他県から子供のために移住先を探している人からは不安な印象しか持たれないです。統合したとしても小中一貫校にするとか、斬新な取り組みをして、人口増やすためにも他県から移住したいと思わせる取り組みが必要かと思う。統合して教育の質が向上したとかユニークかつポジティブな面をうまく情宣しないと、人口減少に歯止めがかからないと思う。教育委員会だけで考えるのではなく、もっと他の移住関連を担当されている部署や外部コンサルタントなど、横ぐしを刺した連携がマストではと考えます。市民にとっても人口増加はありがたいことだと思います。統合とバスという狭い質問だけでしたが、もっと多角的な面から見た質問を作成いただけるといいのにとと思います。
- 少人数だからこそ出来る教育や個性の伸ばし方があると思うので、建物維持に必要以上に経費がかかる等の大きなマイナス面が無いのなら一概に”少人数=統合”でなくても良いと思う。
- 通学のスクールバスは希望がある家とない家があると思うので、意見を聞きながら試すこともよいと思う。やってみないとわからないし、本庄に住みだしてから本庄は事件も多いので、子供を持つ親としては心配になる。昔と違いフルタイムで仕事をしている家や子供も少ないので

一人の下校となる日は気になってしまう(安全性)。

- スクールバスの導入に好いて、通学距離や時間のみでなく、通学路の車の交通量が多い点や歩道にガードレールがない点なども考慮していただきたいです。
- 過疎地域に住む子供が充実した学校生活を送れるように環境(通学、学習、統合的に考えて)を整えることが大切。
- 中学の通学範囲で、徒歩と自転車の境目辺りに住んでいる場合、どちらで通学するか選択できるように許容範囲を広げてほしいと思います。
- 先生方は本当に子供たちのことを考えてご指導に当たってくださっています。どうか先生方のご負担がこれ以上増えないようにこれからの本庄市の学校の在り方をご検討願います。先生方が元気で楽しく働ける環境が子供たちにとって最善の教育環境だと思っております。
- 学区が昔から変更していないため、交通量の増加や道路の開発に対し、安全性の確保ができていないのか不安である。子供の安全を第一に、変えるべきものは変えていくべきと思う。
- 夏場の徒歩での通学(主に下校)が熱中症になってしまうと思います。何かあってからでは遅い。今と昔では気温が全然違います。スクールバスなど検討すべきだと思います。
- 少人数になったとしても、できるだけ地域の学校に通えたらいいなあと思います。徒歩や自転車で地域の人に見守られて通うことで、地元への愛着も増すような気がします。少人数により学びが十分に行えない場合は仕方がないと思いますが、ベテランの先生に来ていただくなどできるだけ学校は残してほしいと希望します。
- 夏は暑いので、スクールバス(遠い子)はいいと思う。1クラスの人数は少ないほうが、目が行き届くと思う。最近は手のかかる子が多いと思うので。

#### ⑦本庄南小学校

- 不審者対策も踏まえて、全生徒を自転車通学を検討していただきたいです。様々な家庭環境もあると思うので、あくまでも希望者のみとしてですが。
- 現状を客観的に捉えて統合を進めてほしい。
- 一クラスあたりの生徒の数が多いと思います。一年生になった時は先生の目の届かなさにヒヤヒヤしました。親が介入出来ない分一クラスの人数を減らし対応してほしいです
- 我が家は本庄市の端っこの方で自宅の敷地の横の道は上里です。自宅から学校まで45分以上かかります。班も一班しかなく、人数が少なく、行きより学年下校での下校の方が不審者などが心配です。自宅方面に帰る同級生居ません。自治体の方のパトロールなどもっともっと協力があると助かります。
- 趣旨からそれるかもしれませんが、現在、子供のクラスは41人です。先生の目が行き届きにくいことを懸念しております。何年もクラス人数が多い状態で他学年との不公平も感じています。年度途中で転入により多くなることを想定してクラス数決定時に35人予定ならクラス数を増やす、等ご検討いただきたいです。
- 通学で暑い日の徒歩は熱中症等で危ないのと、不審者の遭遇回避のためにもスクールバス検討をお願いします。
- 少子化が進んでいる以上、学校環境や状況が変化していくことは仕方ないと思うが、本庄市での子育て環境がもっと良くなれば、子育て世代が市内に集まり、学校環境も維持できるので



はないかと思う。

- 色々な課題があると思いますが、子供と教職員にとって1番良いと考える結果となるよう、県一体となって活動頂ければと思っております。
- 大きな課題だと思いますが、子供や先生方がより良い方向で進んでもらえると幸いです。
- 1クラスの人数が多すぎる(ギリギリ分けられない人数)と教室はパンパンで先生も目が行き届かない。
- 通学班はそもそも必要か？
- 1クラスの人数を減らしてもいいのではと思います。
- スクールバスはぜひ導入してほしい！せめて6月から9月末まででいいので運行していただきたい！近年、気温が高い時期に徒歩での通学は熱中症リスクが高すぎて危険だと思っていました。その他、下校班等で帰宅させても結局学校を出れば好き勝手バラバラに帰ってくる子供達がほとんどで下校班の意味もない(習い事で急いで一人で帰る子や、それで置いていかれて一人でとぼとぼ歩いている子や、道端で座っておしゃべりしている子など教職者が思っている以上にバラバラです！)不審者情報なども度々ありますので家が近くても子供達みんなの通学の安全を考えてぜひスクールバス導入してほしいです！
- 現在も学校から2キロの距離ですが遠く感じますし、夏場は高温注意報なども発令されるので熱中症なども心配です。小学生の場合は学校がさらに遠くなる場合は親の送迎を許可するかスクールバスの運行をお願いしたいです。また中学校も自宅が遠くなれば帰宅時間も遅くなります。少し暗くなった時間に長距離を自転車で下校するとなると変質者に遭遇する確率が上がるのではないかと心配です。(実際に私が帰宅時間が遅くなった時に自転車走行中に何度も変質者に遭遇しがちでした。バスで下校時は一度も変質者に遭遇した事はありません。)特に帰りの時間のスクールバスは大切だと思います。統合時は安全面を考えて検討して頂きたいなと思います。またクラス数が増えるとうちでも先生の目が行き届かないと思います。(小学生の時は5クラス38人学級でした)統合する場合は、クラスを少人数にして頂けると親にとっても先生とのコミュニケーションも取りやすく学習面においても取り残される心配が少なくなるので安心に感じます。また3クラス以上の場合補助の先生を増やすなどのご対応をして頂けるとより安心です。
- 住む場所に関わらず学校を選べるようになってほしい。
- 今現在1クラス40人近い人数です。低学年の時は法律で少人数のため3クラスでしたが、今は2クラスです。ちょうど1クラスの上限になるくらいの人数のためそうになっていますが、低学年以外も30人程度のクラスが望ましいと思います。また低学年は担任以外の補佐的な先生がついてくださいますが、現在は学年が上がると人数は増え担任の先生のみで見えているので大変だと思います。小学校35人学級の法案が閣議決定されています。本庄市も早急に対応していただきたいです。また出来る事なら中学校も35人学級を目指してほしいです。うちは下の子が来年中学に入学なので、子育て支援の対象から卒業する時期が見えてきましたが、本庄市の人口を増やすためにも色々努力はされていると思いますが、さらに明石市のような子育て支援を積極的に進めていただきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- このアンケートが不思議です。設問4の学級数が云々よりもその事に縛られ、コロナ禍の現在

でもひとクラスが40人超え。教室を見ても座席の間隔が座れるのかと思うほど狭いです。視点が違うのではないですか？

- 統合ばかり考えないで、人口を増やす事は考えないのでしょうか？
- 有事の際にも対応出来るよう、徒歩・自転車等で通学して、子供たちも土地勘をしっかりと養って欲しいと思う。
- こどもたちが安全、安心して過ごせることを第一に考えて頂きたい。
- 本庄市の気候では夏の下校時刻の気温は40℃、子供の歩くアスファルト道路の高さではさらに高温になります。この中を重いランドセルを背負い1時間も歩くのは命の危険を感じます。今現在でも30～40分歩いて、帰宅後は軽い熱中症の症状がある事が多々あります。また通学路に歩道が確保されておらず、交通事故や治安の面でも不安が大きいです。国の通学時間の目安1時間にとらわれず、本庄市の現状を考え、地域に見合った、子供の安全を最優先した上での学校統合の検討をぜひお願いいたします。
- 本庄南小は1クラスの人数が多く、机椅子がぎゅうぎゅうのため、クラス内で教師が机の間をスムーズに行き来できません。1クラスあたりの人数制限があるのはわかりますが、1クラスあたりの人数を減らしてクラスを増やしてほしいです。
- 小学生は子供ではありますが、私達保護者が思っているより考え方等かなり大人です。保護者にアンケートをとる事も大事ですが、実際に通っている子供達自身にもっと聞いてみて欲しいです。
- 区域外就学について、現在は6年生で転居など住所が変更になった場合卒業まで転居前の学校に通えますが、5年生までの学年は学期末まで転居前の学校に通える事となっております。全学年卒業まで通えるようにしてほしい。学校選択制にしてほしい。
- 友達や先生方と楽しく学校生活を送れるように学級数や登校方法を検討して頂きたいと思います。
- 交通量の激しい道だと車と児童がすれ違うのに危険と感じる事があります。中学では自転車もいいのですが自転車事故が増えています。スクールバスを導入していただけるのであれば是非スクールバスをお願いします。
- 児玉の小学校や仁手小学校地区は子供の数が減り、スクールバス導入での本庄地区の小学校への通学も今後考えなくてはなのかもしれないです。かといって、1クラスの人数を増やして欲しくなく、30人くらいを1クラスでやって欲しいです。
- 時代の変化に応じてフレキシブルに方針やルール、カリキュラムなど対応して欲しい。こどもを町、市全体で大切に育てていける様に教員の待遇なども変革して欲しいです。
- 学区の廃止。
- 子供が安全に、また楽しめ、成長できる学校生活を送れるように、ご配慮いただきたいです。痛ましい事件などが起きないように、お力添えいただきたいです。
- 少人数でも先生の目が届くのは生活面、勉強面で良い事だと思う。毎日通うのにあまりに通学に時間がかかるのは安全面を考えると良くないのではと思う。中学校では、体育祭等でクラスの団結力が強まったりするので2クラス以上あった方が良いなどは思う。
- 中～高学年でもクラス人数は20人程度が望ましい。授業参観などを見ている、先生が生徒一人ひとりをしっかり見るのは難しいように思えた。

- 家が遠く、通学に30分以上かかります。暑い日、寒くて風の強い日、大雨の日、まだ10歳にも満たない子供が無理して歩いていっている姿を見るのは胸が痛みます。スクールバス導入は賛成ですが、保護者としては事件事故がなく安全であり、また学校行事やクラブなどに支障が出ないことが前提で、尚且つ料金は格安もしくは無料で、利用する人、しない人を毎日しっかり管理できないと難しいと思っている。これを叶えるのは大変だと思っているけど、そうでなければ利用する人は少なくなりバスを走らせる意味がなくなりそう。難しいですね。
- 小学校に付随する学童も検討すべきでは？
- 学校が統合されてしまうと家から遠くなり、通学の距離が長くなり、事故にあう確率が上がってしまうと思う。また、遠くなってしまうことで学校に行きたくなくなってしまう子もいると思う。重いランドセルを背負って1時間歩くのは酷すぎると思う。特に低学年は無理がある。
- わが子を通わせる学校は、1学年2学級以上で毎年クラス替えができる規模であってほしいと思っています。人間関係に変化のない環境に不安を感じるためです。たとえ児童数が少なくても1つの学校を維持し運営していくためには多額の費用が掛かると思うので、複式学級になる学校に関しては、統合も進めていくべきだと思います。児童にとっても2学年合同で学習するよりも、同学年のお友達がより多くいる中で学べる環境のほうが望ましいのではないかと感じます。
- 1学級あたりの人数が多く(30人以上)教室は密になり一人一人への配慮が行き届かないと感じる。1学級29人以下にしてほしい(そのためには、学校の教員数を増やす必要性。) WITH コロナの意識で感染対策をしっかりしつつ、学校行事を行えるように体制を整えてほしい。
- 酷暑が今後ひどくなるようであれば、希望者にスクールバス導入を検討してほしいと思います。学童などを利用する家庭も多く、家が遠い子は一人で下校する距離が長いのも心配があります。
- 学校を1校維持していくためには、職員の配置、適的(最適?快適?)な設備管理など非常に多額の費用がかかります。それをスクールバスの導入で補えるのであれば、複式学級となる学校は統合を進めていくべきと考えます。
- 通学時の危険性が昔に比べて増していると思われる。特に連れ去りなどの被害を考えると、家にいない家庭が多いと思うので、人の目が届きにくく不安がある。防犯カメラの設置やスクールバスの導入は、必要になっていると切に思う。
- 1学年1が学級になった場合、1学級に何名集まるのかによって、統合する、しないの判断をしていただきたい。ぎゅうぎゅうの人数で1学級にするのであれば、1学級人数を通常より少なくし、2学級で取り組んでいていただきたい。
- バスの中に置き去りのニュースを見て胸が張り裂けそうでした。基本的に親の送り迎え。それができない人はバスの利用。(バスの窓はいつも少し開けておく。車内に防犯カメラを設置(職員室からチェックできる))等の対策をする。送り迎え用のロータリーを作る。校庭の一部を使うとか。

#### ⑧中央小学校

- 住んでいる場所によっては、本来通う小学校より近い場所に別の小学校があります。そのよう

な場所に住んでいる人は、小学校をどちらか選べるようにしたら良いと思います。

- 子どもの人数減少に伴い、音楽や体育、運動会などを他の近隣学校と合同で行うなどの柔軟に対応していてもいいのではないかと思う。
- 1クラスあたりの人数を減らして、先生が子供達と授業以外にも会話したり、コミュニケーションを取れるようにして欲しい。教科を教えて生活指導をして集団下校では、子供と話す機会がなく本当にそれぞれの子供の考え方を知れる機会がない。子供も先生って色々知っていて凄いなとか人間性を知る事でより授業に協力したい気持ちも芽生えクラスの団結力に繋がると思う。先生の力量により現在のシステムでもできる先生はできるが、もっと余裕を持たせる事で活かされる先生方も沢山いらっしゃると思う。
- 学級の人数が決まっているため仕方ないことだとは思いますが、40人の学級と27人の学級では、教室の密度や担任教師の負担感などにも差が出てくるように思います。決まっていることなので仕方ないとは思いますが、人数が多くなってしまった学年には可能ならば、補助の先生がつくなどの対応を考えてほしい。
- 少子化に伴って、学校統合などの必要性は出てくると思います。どうか子供達が大きな混乱や、メンタル面なども含めて負担にならないように改革していただきたいと思います。
- 大人の都合ではなく、子どもにとって最適な方法で学校運営、教育環境を整えてほしい。
- 学区を廃止してほしい。
- 毎日の通学を考えたら、家から学校までは近いに越した事はないと思います
- 子供達のことを一番に考えていただければ安心して、毎日送り出せます。
- 1学級の児童数の上限を見直し、少人数学級を実現してほしいと思います。
- 本庄市の税金でスクールバスを検討するなら、1部地域だけなら不公平に思えます。今現在の通学路を考えて欲しい(車の通りが多すぎ、狭い、街灯が少ないなど)。不審者情報がメールで届く度にヒヤヒヤします。書面だけではなく、子ども達と朝、通学路を通れば、見えない物も見えてくると思います。
- 親と教員のストレスが少ない施策を望む。教師の過重労働は教育の質の低下に繋がると考える。
- 現状、通学地域が予め決められてしまっている為に、自宅からもっと近くに小学校があるのに、40分以上かけて遠い学校に通わなければならない。遠ければその分、集団で下校する事も難しくなり、1人で危険な目に遭う可能性も高くなってしまいます。区切りが難しいとは思いますが、学校から遠い家庭に関しては、どこに通わせるかの選択が出来るようにして頂きたいです。
- 1学級の人数が多すぎる。教員不足なのは否めないが、北欧諸国のように1学級の人数を減らし、個性を重んじたきめ細やかな指導をしていただきたい。
- 学区が入り乱れている地域があったり、より近い小学校があるのになぜか遠い小学校に行かされるのが不思議。児童数の調整も大事だが、児童の安全を考慮するのであればこの小学校に行くかは希望選択制でも良いのではないか。
- 統合基準学級数にも書きましたが、将来統合により休校、廃校となる学校は既にあるはずなので、市民へアナウンスして下さい。休校、廃校にたくない場合はその校区に移住した小中学生子育て世帯の小中学校の諸経費、教育費を卒業まで永年無料とすれば市内、市外県外か

らの移住により、生徒数増加、人口増を見込めるかもしれません。

- 通学班が存在しているが、集合時間が守られておらず、結果歩行スピードが早くなり、低学年への負担が大きくなっている。ゆくゆくは当事者間のトラブルが起きる可能性も高い。にも関わらず、そのことに対して学校は関与することに消極的で、通学班変更やスクールバス導入も検討していない模様。通学班による集団登校は強制されるものの、その必要性や効果はないと感じる。
- 通学路の安全管理に見落とされている所が多いと感じる。また、それを感じていてもどこに伝えていいのかすぐに行動できなくて時間がかかる。実際に学校に伝えても伝えたり進展がない。学校によって、通学路の安全管理に差がある。学期初めなど、アンケートでもいいので年に数回訴える機会を設けて欲しい。そしてそれを無駄にせず動いて欲しい。
- 児童が減少しないために児童、育児に対しての手当てなどを手厚くして欲しいです。少なくともお金がかかるのは事実なので手当てがあることによって安心が生まれ子供が増えて住む人も増えます。
- 統合の場合は、通学手段としてスクールバスの導入が必要。
- 住んでいる場所で、教育環境に不利な事が起こらないよう、課外活動、部活など取り組めるように配慮して欲しい。
- 先ほど記述した通り、通学時間や距離に関わらず、スクールバスを導入して欲しいと思っております。
- 廃校などになるのであれば、私立に売却するか市営のフリースクールや別の公共施設に転換するのも有りかと思えます。貸出等の検討も良いかと思えます。全盛期と比べ格段に子供は少なくなっているため学校が減ることは仕方のないことですが有効活用できるといいと思います。特にフリースクールは本庄市に無いのでいいかと思えます。
- 保護者自身の小学校が廃校予定と聞いたとき、そんなにショックではなかったです。子供達が成長するために何が必要か、優先順位を決めて、納得できる理由なら統合となっても大丈夫だと思います。徒歩 20 分でも、新小学生にとっては遠いと思い心配なので、30 分圏内でもスクールバスがあると安心ではあります。ランドセルがかさばるので、将来統合となり遠いお子さんが多かったら、バス導入の際に課題になりそうと思いました。
- すぐにでもスクールバス導入すべき。
- 1 学級 25 人程度までが良いと思う。(特に低学年)1 学級 40 人程度もいると 1 人の先生では目が行き届かず、また先生の負担も多いと思います。(海外でも 20 人程度が多いと聞きます)せめて 30 人までになると良いなと思います。
- 事件事故の両面から、統合以前にスクールバスの導入を検討してほしい。
- 私立の少人数生徒は異なり、義務教育がベースの人数減少なので、税金の支出を抑え友好的に使うためにも、人、もの、金の集中は必要なことだと考えます。削減できた分を「こう使います」と未来を見せてくれたら納得しやすいです。ただ削りますでは不満が残ります。子供たちの大事な9年間を過ごす場所ですので、慎重であることはもちろんですが、早め早めの決断(思い切った)でほかとは違う本庄市、一步先行く本庄市であってほしいです。とても住みやすい街です。大好きです。
- 学校統合は現時点ではあまり現実的ではないと思います。子供たちの学習面などを考えると、

少しでも手厚い対応をしていただきたいと思います。

- 学校に行く時間、安全に行ければいいので交通整備をよろしくお願いします。
- 我が家は通学に 30 分以上かかるので、行くこと自体を嫌がることが多いので、スクールバスの導入は賛成いたします。
- 少子化問題は本庄市だけの問題ではないので、どこでも直面する課題なのだと思います。同時に 1 人、2 人子供がいる家庭があと一人産み育てられる支援をしてくれると個人的には嬉しいです。
- 通学で子供の体力をつけようと思わないでほしい。片道 20 分以上も通学にかけるなら、その分遊びや学びに時間を使ってもらいたい。田舎こそ、少子化時代こそ、通信業界とうまく提携して教育 ICT や AI を町に導入し、ネガティブなシーンをカバーしてもらいたい。いくらでも方法はあるのに、本庄市はなぜ活用しないのか不思議ですね。
- 登下校時はボランティア頼りでなく、行政が人を雇い子供を守る取り組みがほしい。先生の残業なしの対策もしてほしいです。朝の早くから夜遅くまでを思うと申し訳ない気持ちになります。スクールバスはすぐにでも導入してほしいと思っています。
- 子供の安全が一番なので、体力低下を理由にバスを×とはならないと思う。朝マラソンや学校での運動で補えます。
- 都心のほうでは、5～6学級の学校も多く、小学校も新設されたりしている。本庄市のような町は、自然も多く良い環境だと思う。本庄の良さ(自然環境、住宅環境、水のおいしさ)をアピールして他の市から移住者が増えてほしいと思う。休校や廃坑は悲しいので。仁手小なら例えば『自校休職』を入れて売りにするなど考えるといいと思う。
- 少子化で学校が統合されるときは説明をきちんとしてほしい。また、今問題なのは通学路で危険な場所がある。ガードレールなどの設置をお願いしたい。
- ニュースなどで学校プールの老朽化が今後進んだ場合、各学校での維持が困難と聞きます。複数の学校で共同でプールを使用するには、移動手段が必要となるため、もし統合によりスクールバスが市に導入されるのであれば、登下校のみではなく他校のプール授業時にも利用できるのではないかと思います。実際は時間割調整が難しいと想像しています。
- 通学路に危険なところがあるように思われる。そのあたりも考え検討していただきたいと思います。
- 小学生までは距離に関係なくスクールバスがあったほうが良いと思う。
- 今娘が通う中央小まで徒歩 25 分、南小までは徒歩 12～13 分で着きます。私自身中央小まで(今の家から)通っていましたが、子供の減少などで近くに同学年が少ない状況です。30 年以上前から現在まで学区が変わっていないことに驚きました。中央小には不満はありませんが、行きかえりが不安です。どちらの学校も同じくらいの時間で行けるなら意見はないのですが、とても近い小学校があるのに、遠い学校に行くのはな、、、と思いました。少子化でしょうがないことなのかもしれませんが。
- 日々環境が変化するなかで、過去の成功や経験にしばられることなく、積極的に既存のルールや取り組みを改善していただき、大人が管理しやすいためのルールではなく、子供がのびのびと新しいことに取り組めるようなルールを構築していただきたいと思います。
- 設問 9 について、安全を第一にではなく効率的に考えて。学校の維持資金は有限なので、限

りあるお金で最大の効果を期待しています。

- 今の小学生は荷物が多く、学校から近い子と遠い子で負担が大きく変わり、大変そうという印象を受けています。昔と変わり、家も増えたのに学区は昔のままで、こっちの学校のほうが近いのに、、、ということもあるので、危ないところは大人が見守るなどして変えていくのもアリと思います。
- 小学生は年々教材が厚くなり、重くなってきています。学校統合などで通学に距離がある場合、学校に通うだけで疲労してしまうので、慎重に検討すべきだと思います。
- 家から中学校までの距離が遠い子供は自転車で登校、下校を希望。スクールバスの案はいいと思います。
- 通学路以外でも不審者や事故防止の徹底。(登下校時、友達と放課後に遊ぶなど、子供目線のパトロールの強化)
- 中央小学校区ですが、見福1丁目2丁目は子供が多いにも関わらず街灯がとても少ないです。住宅街の為道が狭く暗いとなると、一人で歩かせるのは怖いです。街灯を増やしていただきたいです。
- うちの子供は私と同じ通学路を通っています。私が子供のころから何でほかに近い学校があるのに、うちはこんな遠い小学校なんだ！(学区の為)不満もありましたが、今は学校帰りに友達と遊びながら帰ったことなど良い思い出です。なので、うちの子も同じ不満を言いますが、いつかいい思い出になるし、忍耐力も付くと思わせています。ただ、私のころと違って夏の暑さ、持ち物の多さがはるかに違い、低学年には大変だと思います。もう少し学校において行ったりできるとよいです。(必要な日は持ち帰るとか)特に月曜日、金曜日はかわいそうです。置き勉すると紛失する可能性や色々また問題点はあるのかもしれませんが、何か工夫していただけたらと思います。この調査に関係ないかもしれませんが、通学距離のアンケートがあったので、書かせてもらいました。

#### ⑨児玉小学校

- 遅かれ早かれ休校になる学校は増えてくると思う。休校になってしまう学校区にも、子どもはいる訳なので、その子たちはその中でも近くの学校へ行かざるを得ない。急にそうなる前に、今から学校ごとの交流を再開するべきではないか？ 昔は、学校対抗の競技会などもあり、他校とも関わる機会があった。
- 大人数、多学級が望ましい。通学は安全第一。
- 通学路の心配があります。歩道橋が古く心配です。地震などでブロック塀や回収業者の鉄板の高い壁など倒れないか心配です。通学路の変更などを検討できないかと思います。
- 少子化で学校数が減るのは理解できる、徒歩の通学も熱中症、事件、事故等リスクがバス通学も前向きに検討していただきたい。無駄遣いはしなくてもいいけど、教育にはきちんとお金をかけて下さい。日本の未来を育てているわけですから。
- 子供たちが安全に個性を尊重し、のびのびと先生も一緒に学べる環境や教育内容を目指していただきたいと思います。
- 教員不足がニュースでも取り上げられています。子供を産むためにお休みされた先生の代わりが来ないとも聞きます。親としてとても心配です。市としてもっと対応を考え、学校現場がゆ

とりをもって経営されるようにしてほしいです。

- 前の質問でその他に回答した通り、生徒数で学校統合を検討する方針を改めて欲しい。
- 子供の減少による統合も考えるべきだが学力低下・格差を食い止める為、教員の負担軽減の為にも一学級当たりの人数を 25～30 人程度とし落ち着いた環境で学力してほしい。
- 登下校時の見守りパトロールを強化して欲しい。
- 小学校は1学年2クラス以上、中学校は、4クラス以上が望ましいです。先の設問では、小中でクラス数を一括選択だったので、答えにくかったです。
- 色々考えて頂き、またアンケートをとって保護者の意見も考慮して頂き、ありがとうございます。様々な面から検討して子供達にとって最善な学校教育になることを願っています。
- 少子化、教員不足、授業量過多、昔より色々な問題が増えてきている中、昔のやり方に固執せず、柔軟な対応をしてもらえると良いなと思います。
- スクールバス導入してほしいです。道が危ないのに整備されていないのと地域の見守りの方も毎日いません。夏は特に危険だと思いました。
- スクールバスは良し悪しかなど…交通事故の心配もあり…かと言って、徒歩や自転車も同じように交通事故の心配はあります。気にしていたら何も前に進めないのも分かるし…様々な事を考慮し慎重に決めていくしかないのではと思います。
- 小学校 1, 2 年生は、クラスの人数が 20 人以内であるべき。
- 本泉小は休校で、仁手小が無理やり休校にしないための他区市町村から受け入れをしているのはおかしい。藤田小とすぐにでも統合すべき。エアコンを設置しても使わなければ、意味がないのでは。電気代を考えているのではないか。
- 学校によっては、使用していない教室もあるのだから、3 クラスあるところを無理に 2 クラスとかにしなくてもいいのではないかと思います。
- 児童数減少に関わらず、生徒数を少なく(1 クラス)し、先生の目が完璧に行き届くような 1 クラスが希望です。1 クラス 30 人以上となると担任の先生の負担も多くなると思いますし、何より一人一人を把握できていないと思います。少人数を希望します。
- 現在、見玉地区では放課後子供同士が交流を持てる公園が少なく学校も解放されていない。ある程度の学年になったとき、子供同士の交流ができ、体を動かして発散できる環境を整えてほしい。
- 少子化に伴って学校数や生徒数が減少しても教育環境を見直すべきだと思っていました。すでに休校している学校も長い間そのままの状態なのであれば、廃校として次の有効活用方法を考えるべきだと思います。今現在学校に通わせている立場からすると、校内外の整備や補修をしてほしいと思います。開校からの歴史深さがあると言われればそれまでですが、時代とともに学校も変化すべきだと思うからです。
- 学級数は問題視していない。1 学級の児童・生徒の人数を小人数にして担任の目が子供たちに細かく行き届くようにしてほしい。
- このアンケートを実施する際に市内の小中学校の現在の状況、クラス数や 1 クラス当たりの人数を知りたいと思いました。ほかの学校の状況がわからないので、回答に困る部分もありました。
- これから子供が減少していくことは明らかであるならば、今から今後の在り方について市民や



保護者教員を含め、検討を進めていく必要があると思います。学校統合だけでなく、様々なありかたについて考えていく必要があると思います。

- 個人的には1クラス20人程度が望ましいと思っています。一人一人の先生の負担を少なくして、生徒と向き合える環境を！あと君が代を歌わないのは日本人としておかしいと思います。
- 群馬県のように通学班制をなくしてもいいと思う。登下校で親がついているのは過保護すぎる。
- 児玉町に住む子は、金屋、秋平、児玉に通っている子がいますが、必ずしも近い学校ではなく、希望しても願ひかなわず遠くの学校に通っている子もいるようです。もっと自由に選べたらよい。小学2年生から6時間があるので、下校に時間がかかると心配で、冬は4時半までに帰宅してほしい。夏は熱中症のリスクもあるので、学校は近いところしか考えられません。
- 少子化もそれに伴う統合なども、必要であれば仕方がないが、基本的な教育が変わらずにあってほしいと思います。

#### ⑩金屋小学校

- 子どもは入学当初から学年1クラスなので、友人と6年間共にすごし深い友人関係が築けるのでは、という期待と、友人トラブルがあっても環境を変えにくいこと、中学校になると5校が集まり急に大きな集団になり子どもはついていけないのか、などに不安は少し感じています。しかし少人数の小学校ならではの温かみも感じているので、大人数、少人数それぞれの良さがあると感じています。
- 1クラスの人数を25人程度で、先生が一人一人をちゃんとみれるようにしていただきたい。
- 1学年あたりの学級数を、小学校と中学校で同じに考えるのはおかしい。質問に対しての回答の選択肢が間違っている。
- 金屋小学科では1クラス40名もあると聞きました。さすがに多すぎだと思うので、1クラス30名以下になるよう、2クラスに分けるなど、検討いただきたいです。
- その時にその状況になってみないとわからないです。基本的に子供が困らないよう対応していきたいと思います。
- 通学とは別の話になってしまいますが、我が家では共働きのため、なかなか習い事に通うことができません。放課後に習い事に送ってってくれるスクールバスなどがあつたらいいなと思います。
- 2クラスから1クラスになった時に授業参観で感じた事ですが、先生の話聞いていない子が複数、居たような気がしました。学力にも少しずつ差が出るような気もします。学校、学級、統合は慎重に検討して頂きたいです。
- 本庄市の学校に通わせたい→引っ越してくる→町が活性化する。そのために学校の特徴や特性、教師の資質を考慮し積極的な学校改革が必要。
- 小学校と中学校で統一見解ではなく、分類して考えるべきところもあるのではないのでしょうか。また、複数の選択肢を選べる仕組みがあつていいと感じる。
- 2クラスに分けて20人以下になつても1クラスに30人を上限にして欲しい。狭い教室にギュウギュウなうえに、低学年は収集ついてないし、先生が大変そうです。教室は余っているし。

- 児玉高校の跡地を利用し、新児玉小学校の設立。児玉中学校、同様に、児玉の小学生は、一つの小学校へ通う。
- 一学級の人数も考えて欲しい。基本的には、小学校は歩いていける、中学校は自転車で行けるのが良いと思うが、人数が減った場合は、スクールバスの導入もやむを得ないかなとは思いう。少子化対策にも力を入れてほしい。子供が増えている他県の地域もあります。本庄市に頑張ってもらいたい。
- 学級数は多いほうが良いと思うが、1学級あたりの人数はもう少し減らすべきだと思う。
- 現代では、少子化に伴い複数人での下校が難しい状況にある。子供たちが少人数もしくは一人で長距離歩いて通学するのは、危険が多すぎる。そのため、学校統合関係なく徒歩30分以上の通学を要する地域にはスクールバスを導入してほしい。
- 統合により閉校になる校舎も出てくると思いますが、そういった学校設備を民間でも活用できるようになれたらいいなと思います。

#### ⑪秋平小学校

- 親の働き方も考慮した対応。校内に学童併設。兄弟と帰宅できる様な環境を要検討お願いします。
- 人数の事ばかりだが、いじめなどの無いクラス環境なら何人クラスで1学年何学級でも良いと思う。
- 昨今、大きい市では市立の小中一貫校が増えている。差があり過ぎるのならば、スクールバスなども出し、1つにまとめるのも良いのではないのでしょうか。この先子供が増えることもないと思います。
- 少人数の学校には、それなりの良さもあるので、人数が減ったからといってすぐ統合という考えは避けたい。通学区を検討したり、特徴ある教育を生かし、他地域からの転入なども検討してみてもどうか。
- 私は小学校まで徒歩45分くらいでしたが、遠くてバスが良いと思っていました。通学に徒歩や自転車で多くの時間を使うのは無駄だと思います。みんなバスでも良いと考えます。小学校の人数が多いほうが良いとは全く思いません。少人数で良いと思います。
- このアンケートの意味は、秋平小みたいに少人数だから統合をしたほうが良いと考えるから、このようなアンケートをしているのか？子供にこの用紙を渡す際、子供がこの紙の意味がわかるように渡してほしい。ただ渡すな。渡さないでほしい。以上。このアンケート意味あるの？アンケートやっても意見通ります？
- 減少した地区の学校を統合してなくすことはあまり望みません。
- 秋平小も今後、統合の対象になるのではないかと不安に感じています。先生、身内の子供のリモート授業に数日たちあう機会があり、1学年2～3クラス(30人以下)のクラスを見させていただきました。秋平小(わが子のクラス20人以下)の先生は、リモート時に一人一人に目が行き届いていてリモート中も一人一人に声をかけていました。30人以下の他校の先生はやはりとても大変そうでしたし、私は「ああ、わが子は秋平の少人数学校でよかった」と。別の見方では、クラス替えや多人数ならより多くの人や児童と関われるかもしれませんが、それは中学校からでも良いと思いました。また多人数の学校から少人数の学校へ個別性に応じて選択でき

たらもっと良いと思いました。

- 安易に統合すべきとは思いません。必要に応じて検討が大切だと思います。

## ⑫共和小学校

- 人数が多いのも少ないのも両方良いところはあると思うが、小中学で人間関係の構築に大切な時期に偏りがあっても良くないと思う。
- いつも子供達の為にご尽力くださいまして誠にありがとうございます。通学路に関してですが、我が家は学校から2キロの距離にあります。通学路は40キロ道路にも関わらず、猛スピードで走る車がほとんどです。それもダンプやコンクリートミキサー車、大型トラックも頻繁に行き交い道幅いっぱいには走っています。更に、歩道もなく横断歩道もなく通学路を示す注意表記や看板も何一つありません。子供は歩いて通学しますが、とても歩かせるわけにも行かず安全な登校班の集合場所まで毎日車で送迎しています。本来であれば私が付き添い歩いていければいいのですが、持病がありそれも困難な状況です。学校にも報告していますし、警察に相談したこともあります。改善は見られません。うちの周辺から通っている子は2名だけなので予算の関係もあるのでしょうか？どの子も分け隔てなく安心して通えることが理想だと思うのですが残念でなりません。また、路駐の多い外国人が経営する会社や交通ルール無視の運転がマナーが非常に悪いコンクリート屋、ゴルフ場の木々が多く昼間でも薄暗い雰囲気なのこともあり治安の面でも不安を感じています。街灯もとても少ないので中学生になり、下校が遅くなった時のことを考えると今から心配で仕方ありません。こういったことから、スクールバスの導入を心からお願いしたい次第です。乗り合いタクシーのようなものでも有り難いです。予算の関係・人材の手配などもあると思いますが、安全に安心して通える環境の確保を望みます。長々と申し訳ございません。最後までご一読くださりありがとうございます。
- 子供がきちんと教育を受けられる環境があることが第一です。
- 夏の暑さ 冬の寒さ 子供の1人下校は危険だと思えます
- 現在兄弟が登校している学校が単学級ですが、異学年との関わりも多く、担任の先生以外にも、多くの先生方の温かい眼差しの下、安心して登校できている印象です。単学級ならではの地域との関わりもあり、親子共々その雰囲気が好きです。また、子どもの安全を考えて学校のそばに家を購入した方も多いのではないのでしょうか。我が家もそうですので、統合によって学校が遠くなってしまうのでは、子どもの安全面で大変心配です。子どもの学びの質、安全面を第一に考慮していただきたいです。
- 私が子供の頃は多少の天候の悪さでも歩いて登校すべきだったかも知れませんが、今は臨機応変に対応すべきだと思います。また下校に1人には不安を感じます。人数の多い学校、少ない学校、それぞれの良さがありますので難しいですね。ただ人間関係が上手くいかなくなったときなどはクラス替えがあったり転校できるような環境もあつたら良いなあと思います。
- この先、少子化などで学校統合はやむを得ないと思います。スクールバスも必要だと思います。
- 文科省が、望ましい学級数を挙げていますが、どのような根拠でその学級数なのかなどと思います。我が子が通う小学校派一学年1クラスですが、クラス替えも無いし6年間で同級生と親密になれるのではないかと感じています。

- 出来れば現状維持が一番望ましいと思います。ただ、人数が減っていく一方なので今から少しずつ意見をだしあい検討もしていかなければならないのかもしれませんが。
- 単学級では友達とトラブルがあった際、厳しいです。そもそもの子供の人数が少なくても、複数クラスが望ましいです。先生の日も届くと思います。授業で使う道具や設備も行き届きやすいと思います。
- いくら学校が防犯対策をしても、1年生が一人で下校するようでは意味がないと思います。息子は通学に45分ほどかかり、帰りは一人になってしまう日があるため、学童に通わせています。
- 子供の安全のためスクールバス導入を進めてほしいです。その場合夏期の学校なども通学しやすいかと思います。
- 給食室があって学校で作っているのはこれからも残してほしいです。
- 設問4に対しCと答えたが、現状には大変満足している。
- 夏に徒歩でアスファルトの歩道を歩くのはかなり危険です。日陰もないし具合が悪くても助けを求められる家もない通学路。班長や高学年が一緒だとしても、その子たちに責任を押し付けるのはおかしいと思います。せめて遠い児童だけでもスクールバスを早急に検討して下さい。大人だって少し外に出るだけで具合悪くなります。
- 1学年1クラスはいいこともあるが、クラス替えなどの楽しみも味わってほしい。1番近い小学校に行けるのが一番だが、スクールバスなど安全や防犯に気を付けてもらって整備しているのなら、合併もあり得ると思う。でも、バスの事故もあるし、人数が多くなるとコロナの可能性も高まるので慎重に考えたいと思う。
- 学校(特に小学校)は地域に根差したものであることが大切だと思っています。「どこの誰かはわからないけど〇〇小の子」という地域の方々からの温かく時に厳しい目は、今の子供たちにとって必要なものであると思っているため、よほどのことがない限りは学校統合はしないしてほしいです。ただ、子供たちにとってはクラス替えができるくらいの人数がいて、切磋琢磨しながら様々な価値観に触れられるほうが、大きく成長できると思います。なので、姉妹校のようなものを作って、普段はオンラインで交流し、運動会や音楽会等の行事は、合同で行えればいいのになと思っています。難しいと思いますが、本庄市の学校にぜひ通いたい、通わせたいと思われるような魅力ある学校づくりをぜひお願いします。
- 子供たちが安心して遊べる環境、公園などが少ないので、もう少し増えればと思います。

### ⑬その他の小学校

- 小、中学校の年代は、人格形成など大切な時期だと考えております。現在の教育環境では、本庄市内の公立小学校に通わせるのは難しいため、私立の小学校を選びました。スクールバスの検討や教育環境の充実なども考慮していただきたいです。
- 子供は今後の日本を担う存在なので子供の1人1人の明るい未来の為の環境作りに積極的に資金を投じるべきだと考えます。
- 少人数で、先生の日が行き届く方がいいと思います。本庄市も少子化が進んでいます。子連れでも住みたいと思うような町づくり頑張ってください。

#### ⑭本庄東中学校

- なんだか学校を統合するための地盤づくりのようなアンケートな気がしてなりません。少子化が進む中、検討する必要はあるのでしょうか個人的には統合には反対です。
- 今後のバスについて、中学生なら通っていた小学校から中学までの運行とし、帰りの本数を複数とし部活などへの対応は出来ないでしょうか。学校近隣の高校や商業施設と共同運行などの検討。
- 核家族化が進む現代、小・中学生のうちから、色々な人々と触れ合い多様性を身につけ、柔軟な考えをもった心の強い大人になってほしいです。少子化に伴った学校の統合なども大きな選択肢かとも思います。
- 通学区は統合に関わらず見直した方が良くと思います。明らかに近い学校があるのに遠い学校の方に行っている子がいる。
- 子供の人数に応じて教員数も決まるため、ある程度子供の人数の確保が必要であると考えます。統合の有無について慎重に検討するとともに、小中一貫校にするのか義務教育学校にするのか、またその違いやそれぞれの利点、欠点は何かについて、丁寧な説明が必要だと思います。
- 仁手、藤田は統合した方がよい。
- 生徒数の多い学校、少ない学校は、それぞれに長所、短所があるかと思います。慎重に検討をお願いいたします。
- スクールバスだけでなく、タクシー会社と提携するのもありかもしれません。
- ひとクラスの人数をもう少し減らしてもよいかと思う。コロナ禍や、先生の目が届きやすいと思う。
- 何か変えていく必要が出てきたときには、子供たちの意見を聞いてみてもいいのではないかと思います。
- いつもお世話になってます。環境に変化なく、無理ない範囲でよろしく願いできたらと思います。
- 学校の統合は、地域住民の意見も十分に聞いたうえでの対応が望ましいです。また、学校がなくなることで、地域の衰退に繋がらないような施策が必要と考えます。(若い世代の流出や利活用など)
- 前例にとらわれず、これからの子供たちのためにどうすることがより良い方法なのかという視点で、検討をしていただきたいと思います。
- 中学生は帰りも遅く荷物も重いので、距離に関係なく自転車通学を導入してほしい。
- 子供が減っているのは事実。複式になろうが、学校統合になろうが、子供達に必要な教育の環境を維持しようと動いてくださる先生方がいて、苦肉の策だったり断腸の思いだったりの結果。引っ越しはしない、でも統合は受け入れないなんて保護者のワガママは許容されないと思う。また、現実にはできること、できないことを度外視して、親の希望だけ聞くようなアンケートには意味がないと思う。
- 今後の少子化における学校統合はやむを得ない検討課題になると思います。第一に子供たちにとって何が一番いい方法かを見据えながら考えていくことが大切だと感じております。今までと同じやり方ではうまくいかないということは確かなことです。人はやはり人によって育つも

のです。設備や湯具がどんなに優れていても無機質なものに頼っている人は人としての大切なものを見失ってしまうのかなど。地域としても一緒に取り組んでいく市民全体で考えていく機会とし、良い方向へ進めることを願います。

- 1学級は2～3学級が望ましいと思いますが、1学級は15人～20人程度が良いと思います。
- スクールバスを学校で出発とかにすれば、学校まで歩くので体力低下も防げるし、時間も学校に行くのをそこまで変わらずに行けるのかなあとと思います。

#### ⑮本庄西中学校

- 児童数の減少に伴い、ピーク時と同じ学校のあり方とは違う教育環境を考えていかないといけないと思います。昭和世代の沢山の生徒がいた頃の逞しく人間関係の築いていくよきを残していけるような環境づくりができればよいと思います。
- 児童数が減少するから学校統合し経費も削減していくではなく、統合を機に今後の児童数を増やすために現代に合った個性や特色のある学校造りをしてほしいと考えます。新幹線駅や周辺の地域開発と同じレベルで通いたくなる学校開発をしてほしいです。
- 慎重な対応をお願いします。
- 学級数も大事ですが、1クラスあたりの人数も検討していただきたいです。1クラス40人では正直先生の目が行き届かないところがあると思います。
- 子どもにとって安心安全に通える事が第一。無理なく健やかに過ごせる環境が大切だと思う。
- 統合よりも通学区の見直し。
- 部活動の数が少なすぎてやりたくて入ったというより、これしか無かったという選択の仕方でした。子供の数も少なくなっているのが現状ですが、部活動自体を見直した方が良いかと思いません。
- 小学生のお子さんが一人で帰宅する姿を見ると心配になります。一人で帰宅しないように考えていただきたいです。
- 時代は変わり、生活も変わってきている。その時代に合わせる柔軟な頭が必要だと思います。
- 西中は人数が少ないので、40数年前の学区に戻してもいいのでは。人数が少ないことにより、部活も少なく残念だ。
- 学校も通学も安全に子供たちが安心して通えるように検討をお願いします。

#### ⑯本庄南中学校

- 今現在、うちの子が通っている学校は人数も多いし、統合するとか無くなるとかいう心配はないので、こういった問題はいまいち実感がわからないけど、子どもだけで通学するには、なるべく近い方が親的には安心。
- 小学校は1学級30人、中学校は1学級35人を目指してほしい。それに対応できるよう教員数も考え増員し、先生方が余裕をもって教育活動ができる体制を目指してほしい。
- 中学生に関しては距離に構わず、自転車か徒歩での通学を選択にして欲しい
- 生徒数だけでなく、防災、地域共助等、小学校、中学校の地域に果たす役割も十二分に考慮して下さい。
- 防犯上から中学校は自転車通学許可一律。但しヘルメット着用率が低いので、違反した場合

は乗入れ許可停止など、しっかり規則遵守する姿勢をするべき。小学生は徒歩1時間は防犯、自然災害など観点から厳しいが、対策は難しいと感じる。規則を守る、当たり前なのが恥ずかしい、ダサいなどになっている感性を少しずつ変えていけるとよい。少子化が進む地域は、親は子供の進学を考えて余計に住居決めに慎重になる。敬遠すれば尚更減少するため、市や地域で移住を決め手とできる魅力があれば…と思います。

- 住む場所に関わらず学校を選べるようになってほしい。
- 統合等ありきではなく、それぞれのメリット、デメリットを比較して、一部の利害関係者でなく、一般市民も含めたオープンな場所で議論されるべき問題だと考える。
- 統合について、メリットデメリットが明確でないのでこのアンケートの意図することがわからない。
- 児童数の減少を懸念して統合だのバスなど検討するより、市内に若い世帯を誘致したり、子どもを増やすことに注力すべきだと思います。少子化対策よりも子どもを増やすことに力を注いでほしい。
- 1校の人数が少なすぎた場合、行事を行った場合に、やる競技に制限があり過ぎる。それから、人数が少ないと、仲は深まると思うけど、中学卒業後の高校に進学した場合、生徒数の違いに戸惑い圧倒されてしまう可能性があるのでは、統合した方が良いと思う。
- 例えば、一駅前後ならその子自身で、選択可能などは？？電車、車使用ok(学校が、減ることについてです)
- 指導者の性格や確保により適した学級数で良いかと思います。勉強範囲が増えてしまい指導者の負担が大きくなりすぎる為、工夫が必要かと思っています。
- 学校については少子化という事も有り、生徒数が減少していると思います。また、教員数もまた減っていて先生方への勤務時間も問題視されている状況です。理想な教育は有ると思いますが、難しいように見え現状の教育内容で理解しています。また、学校統合した場合は学校の環境、設備維持等の費用の面など色々問題は有るのではないかと思います。
- 家が遠く、当り前の通学が天候によっては地獄になる。そこまでして行かなくてはならないのかと思う事もしばしば。荷物も多いので、スクールバスがあったらかなり楽。余計な心配がなくなり、学校での時間に集中できそう。
- 現在の通学路は直面していること(運転マナーが悪い、老朽化、不審者対策、安全対策)に対応できていない。すべてにおいて後手対応。安全対策委員会に現役の小中学生を参加させるべき。
- 小学生の時、毎日7キロのランドセルを背負い、2.4キロ登校していました。本当に辛そうでした。変質者も多く、気を付けたくても重くて走れず写真も撮られました。置き勉(学校に荷物)も置かせてくれず大変でした。矛盾だらけだと思います。気を付けられない状態ですよ。
- 人口減少に合わせ、適切な学校再編はすべきです。現状維持にこだわるべきではないと思います。

#### ⑰児玉中学校

- 子どもの活動に於いて、集団といえる程度の人数は必要だと思います。
- 人数でクラスを決めるより、より良い学習が出来る形の方が良い。40人満員でやるより、教

科によって人数を変えるとか。一人一人確認できないと思う。あと、通学路を整備してもらいたい。舗装や除草など、子供たち優先には思えない。学校の駐車場が狭いため、行事に参加する際は、大変。中学校は、セルデイより役場の駐車場を貸してもらいたい。その方が近い。統合したからって、子供たちが不利。もっと良い考えの人が居ないのかな。現場をよく見て欲しい。書類しか見てない。

- 中学校は、特別な理由がなくても、学区ではなく距離(通学時間)で学校を選べるようにしてほしい。
- 既に回答したが、通学時間、距離を考慮して、再編等を検討するべきと思う。
- スクールバスの代替えとして、公共交通機関の利用も視野に入れるのはどうでしょうか。
- 少人数になりましたら、クラスの少なくなり先生方も生徒たちに目が届くと思っております。今の状況では1クラスに先生が1人というのは少ないです。勉強のほうは全く力が入っていないと感じております。適正規模、配置については教育機関が考えることだと思っています。
- 1クラス30人以下のほうが、先生の指導も目も行き届くのではないかと思います。
- スクールバスの運営がとても大変なうえに高額で広域である。シルバー向きのシャトルも小・中・高も利用できるように、学割バスの券を販売してください。



## 【教員】

### ①小学校

- 児童・生徒の上限を減らすことで(30人以下/クラス)、職員の負担が減り、より児童・生徒と向き合う時間が作れると思います。子どもたちにとって良い教育ができると思います。
- 児童数確保が懸念される一方で、人数が多い学校では机も大きくなり、教室が狭くなって教育活動に支障が出ることもあります。適正な人数の検討をお願いできると幸いです。
- これまで学校は、地域に開かれた学校づくりを目指してきており、現在ではそれぞれの学校はそれぞれの地域とともにあります。基本的な考え方の作成に当たっては、期限にとらわれることなく、慎重に作成されるようお願いいたします。
- 少子化を生かして、少人数学級を基本にし、きめ細やかな学級経営を行えるように環境を整えて欲しいです。
- 話し合いを重ね、実情に合わせた対応が必要だと思います。
- 学校は地域の宝である、と保護者や見守りボランティアの方と接していて痛感しています。拙速な統合はコミュニティスクールの考え方と相反します。新旧の地域住民の声をよく聞いてくださるようお願いいたします。
- 複式のクラス数が多くなる場合は統合も必要かもしれませんが、送迎等、保護者負担があまりにも大きくなる場合は好ましくないと考えます。
- 1学級の人数は多すぎないほうが良いと思う。
- 特に現状ではありませんが、児童数の減少に関しては、将来的に心配ではあります。
- クラス替えをすることで、人間関係がリセットできる。いじめもなくなることもある。クラス替えができた方がよいと思う。
- 子どもたち一人一人が、輝くことができる学校となるようお願いいたします。
- 支援が必要な児童が増えているため、人数が減少しているから学級数を減らしたり、教員を減らす考えは慎重にすべき。その学年によって対応を変えるべき。現場の声を聞いてほしい。
- どんな環境になっても、子どもたちのことを第一に考え、学習が進められる教育環境になることを希望します。
- 児童生徒数が減少してしまった場合は、どうしていいかわかりませんが、原因は調べたり話し合う必要があると思います。
- 新しい取り組み、新しい教育方法を勧めていくこともいいが、学校の仕事について精査してほしい。
- 学級数だけで考えるのではなく、1学級当たりの児童数が重要だと感じます。
- 小学校は進学する中学校区や地域の方々の深い思いをしっかりと向き合って統合を決めるべきであると思います。勤務する教員は長くて10年程度だが、地域の方にとっては3世代以上にわたる大問題です。慎重な審議が必要です。
- 統合とともにそれぞれの学校の特色を出せていけたらと思います。
- 熊谷市でも統合が進んでいる現状がある中で、地域の方の理解など難しいところもあると思うが、適正化のためには統合は進めていくべきであると考えます。
- 地域の考えも重要だが、今、通学している子供たちにとって何がどうあることが、その子供たちにとってよいのかという点で考えていくことが一番、重要であると考えます。

- 1学級あたりの児童数が学校によって違うので、平準化していただきたい。
- 子供たちが充実した学校生活、満足できる学習の機会を提供できるようにしたいです。
- 学級減になってきた学校は統合なども慎重に考えていく必要があるのではないかな。
- 小規模での指導においても個別の指導などが実施しやすいなどの利点もあるが、人間関係や多様な考え方にふれるなどの点ではデメリットの方が大きいと考える。市内における通学範囲の改定などでまずは児童生徒人数を確保し、それでも難しい場合は統合を考えるなどの段階的な対応が望ましい
- 統合にあたって新設校の設置も含めてご検討ください。
- 1年生のうちは、35人学級だと学力格差が生まれやすいため、ギリギリの学年は2学級にしてほしいです。
- 学校は地域文化の拠点です。文化の発信地です。地域に学校がなくなるということは、文化の衰退を促進することにもなるということを念頭に、地域の理解、また負となる面の補いを十分に考慮した行政を切望します。
- 地域の方々の要望で現在本泉小学校が休校となっていますが、子どもの今後の数を考えると現実的な処置ではないように思います。
- 2点あります。12年前の本泉小の休校を受け入れ校(秋平小)として経験しました。地域の学校がなくなることはその地域にとってかなりマイナスになると思います。アンケートで想定されている統合されと思われる学校は地域に根ざした学校がほとんど。統合で子どもたちが通わなくなったとしても地域の集いの場としての活用法もセットで考えるべきだと思います。また、規模の大きさに関わらず、教職員数が足りません。多様な子どもたちへの対応は現状の職員数では対応しきれません。
- 本泉小学校を古民家カフェにしたら地域活性につながるのではないかと思います。
- 単学級の学校であっても、複式に近い状況の学校やある程度の児童はいる学校と、状況はさまざま違うと思う。特に、小学校では地域の繋がりや生活圏等の関係もあり、単学級になったら統合を進めるという機械的な判断は地域からの理解を得るのはなかなか難しいのではないかなと思っている。今後統合の議論が始まることになると、保護者や地域の方にもいろいろな考えがあり、かなり調整が難しいのではないかなと思う。統合を進めるのであれば、新しい学校は、ただ学校を統合するのではなく、例えば、新しく先進的な取り組みができる魅力ある学校(施設設備面・教育課程面等)として新設するのも一案だと思っている。
- 一学年の学級数を検討する前に、一学級あたりの児童数を検討してほしい。法律上では35人以内となっているが、特別支援学級の児童は含まれていないし、35人学級では個を見取ることは不可能です。
- 地域で子どもたちを育むという観点から、可能な限り学校統合はしないほうが良いと思いますが、人数によっては統合もやむを得ないと思います。

## ②中学校

- 少子化が加速しているので、学校統合はせざるをえないと思う。通学に関しては、スクールバスの導入を検討すべきだと思う。
- 通学距離や学区にとらわれず、学校の特色により子供と保護者が学校選択をできるとさらによ

いと思います。

- 児童生徒数があまりにも少ない場合、今後の児童生徒数の減少も予想されている中で、学校の適正規模、適正配置について検討することはやむを得ないと感じています。
- 中学校の1学級の人数を30人程度にした方が生徒一人一人に手厚い支援が出来るのではと考えております。
- 教育環境(設備の整った校舎、机、椅子、教具等が整っていることが望ましい。)
- 生徒の人とのかかわりを考えると統合すべきであると思うが、通学時間やスクールバスなどを導入した場合、時間に制限がかかってしまうならそうでないほうがいいと思います。
- 教員の働き方改革も考慮し、検討をお願いします。
- 中学校区は従来の形が根強いので、新たに見直す場合には、生徒・保護者、教職員だけでなく、広く地域の住民にもその趣旨の理解を求めていく必要があるのではないかと思います。
- ほかに先駆けて30人学級(教員数を増やして)を実施できるような教育委員会であってほしい。意見が反映されない調査やアンケートに時間をとられるのは無駄。
- 学校の統合には、何よりも地域の思いを受け入れ、丁寧に理解を求めることが大切だと思います。いきなりのアンケートでは、小規模校に勤務している先生方は、大変な思いをしてしまうのではないのでしょうか。
- 学校区の再編成等も考慮して、できるだけ現状維持ができるようしていただきたい
- 少子化に伴う柔軟な対応は必要かと思えます。しかしながら、教職員数の増減については、学校の実態に応じて慎重に判断していただきたいと思えます。併せて、特別支援学級の児童生徒数の増加への対応もなにかしら必要かと思えます。
- クラス担任制度撤廃。学年担任制度はどうでしょうか？
- 本庄市は学級数に固執することなく学級に在籍する児童生徒数の望ましい在籍数にも検討し、要望を国にも届けてほしい。学級数よりもきめ細かく指導するためには、少人数学級の実現を求めたい(現場で働く側として)
- 1クラス40人はコロナ対策や支援員も含めた机間指導上支障がある。
- 小学校は1学年2～3学級、中学校は1学年4～5学級が望ましい。